



**ビブリオバトル普及委員会  
2014年度活動報告書**

# まえがき



ビブリオバトル普及委員会代表 / 立命館大学 谷口忠大

2015年度に入りました。ビブリオバトル普及委員会を立ち上げたのが2010年ですので、遂に5年の歳月がたったのかと感慨深く思えます。最初10人に満たないメンバーで立ち上げたビブリオバトル普及委員会も、どんどん新しい人々が入ってきて運営体制も試行錯誤で変化してきたと思います。ビブリオバトル自体があまり「お金」にならないこともあり、運営のための原資や旅費を確保できないこともあり、地域でのコミュニティ形成に加えて、遠方の人とのコミュニケーションに関してはインターネットや他のコンテンツを積極的に利用してきたところがあります。

今回、対外的な要請もあり「普及委員」という名称利用を「積極的に活動中の人」に限定することにする通称・普及委員名称利用制度を導入しました。名称利用というと、なんだか敷居が高くてもっと良いネーミングはないものかと思っはいますが、「最近、ビブリオバトル活動できてないけど、ちょっと一休みします。」というメンバーが「普及委員」のバッジを外し「会員」として気楽に残れる仕組みとでも思っただければと思います。また、普及委員会の会員も200名を超えまして、「他の地域の人のことがサッパリわからない」という声もよく聞かえてきます。そこで、普及委員の皆さんに「報告書」という形で近況報告をしていただくことを試みとして行うことにしました。ご協力いただきました、ビブリオバトル普及委員の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。そして出来上がったこの「報告書」が皆さんを何らかの形で「繋ぐ」きっかけになれば幸いです。

ビブリオバトル普及委員会はメンバーがネット越しに遠隔地に分散しているボランティア団体であるという、実に近代的な集団です。こんな集団は2000年代前半では成立不可能だったでしょう。しかし、遠隔地に皆が居ながらビブリオバトルという実にローカルな活動を展開する。このことから生じる難しさもあります。経営学の大家であるバーナードは組織の3要素を①共通目的、②貢献意欲、③コミュニケーション、だと言います。ビブリオバトル普及委員会がその構造から抱える問題は、メンバー間のコミュニケーションが取りにくいという点にあります。これは普及委員会が持つ諸条件から必然的に生まれるもので、この問題を緩和することはビブリオバトル普及委員会が楽しく広がりある活動をしていくために重要な要素となります。

これまで、遠隔でのコミュニケーションにはメーリングリスト、Facebookグループ、Twitterなどを利用してきました。これに加え、2014年度には「ビブリオバトルシンポジウム2014」（実行委員長：木村修平先生@立命館大学）を初めて開催し、また、「ビブリオバトルハンドブック」（担当理事：粕谷亮美さま）を出版できました。これらのことはビブリオバトル普及委員会内のコミュニケーションの意味でも大変意義深いものだったと考えています。両名を筆頭に貢献いただいた多くの普及委員会メンバーに深く御礼申し上げます。



皆様のビブリオバトル普及に関する日頃の活動に敬意を払い、感謝を述べるとともに、本報告書が、みなさんがこの一年を振り返りつつ、遠くにいるビブリオバトル普及委員会メンバーと繋がるためのツールになればと思います。

では、初の試みということで、報告書の形式も各メンバーで様々ですが、そんなところも含めて味わっていただければとおもいます。



# 北海道地区



## 須藤秀紹

北海道地区代表

### ●主な活動団体（普及委員会関係）

- ・ビブリオバトル北海道
- ・ビブリオバトル室蘭
- ・さっぽろビブル
- ・北海道教育大学岩見沢校  
ビブリオバトルサークル
- ・札幌学生ビブリオサークル リーブル
- ・拓殖大学北海道短期大学

## 2014年度 活動報告書

須藤秀紹(北海道地区)  
<http://bibliobattle-hokkaido.jp.org>



### 主な活動

- ビブリオバトル北海道 代表
- ビブリオバトル世界大会実行委員長
- 紙上書評合戦コーディネーター  
(北海道新聞 夕刊 毎月第4金曜日連載)

### 主催・協力イベント 一覧

生きる力をはぐくむ子どもの読書活動ネットワークフォーラム 講師 (北海道教育委員会主催)

日時：2014年1月25日(土) 15:10~16:00  
場所：ホテルライフオーツ札幌 (札幌市)

ビブリオバトル入門ワークショップ 講師 (登別市立図書館主催)

日時：2014年5月31日(土) 13:00-15:00  
会場：登別市立図書館

北海道高等学校文化連盟 第36回全道高等学校図書研究大会 第4分科会「ビブリオバトル」講師

日時：2014年10月9日(木) 10:20~15:30  
場所：札幌市教育文化会館

全国大学ビブリオバトル2014 北海道地区決戦A [室蘭] (主催)

日時：平成26年10月25日(土) 13:00-14:00  
会場：中島商店会コンソーシアム (室蘭市)

ビブリオバトル世界大会 決勝 (主催)

日時：2014年10月25日(土) 15:00~17:00  
場所：中島商店会コンソーシアム (室蘭市)

ビブリオバトル入門ワークショップ 講師 (空知管内図書館協議会主催)

日時：平成26年11月14日(金) 10:30-12:30  
会場：岩見沢市立図書館

第3回ビブリオバトル室蘭工業大学大会(学長杯) (主催)

日時：2015年1月31日(土) 14:00~15:30  
場所：室蘭工業大学VRシアター

ビブリオバトル・カフェ (市民サークル いぶりびぶりぶ♪主催)

年間 8回開催  
場所：中島商店会コンソーシアム (室蘭市), マグカフェ JINYA (室蘭市)

### 研究発表

生命ソフトウェアシンポジウム2014, Dec. 6-7 (発表:12/6), 2014 (北見工業大学)

馬場康輔, 横井聖宏, 須藤秀紹 「ビブリオバトル発表者の発表中の間の取り方と聴衆の支持との関係」生命ソフトウェアシンポジウム2014 講演論文集(電子形式), G2-2 2014.  
「全国大学生ビブリオバトル大会」決勝, 準決勝のデータを使った研究

計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会2014, Nov. 21-23 (発表:11/21), 2014 (岡山大学津島キャンパス)

江世澎, 横井聖宏, 須藤秀紹 「ビブリオバトルを媒介としたコミュニケーションを支援するための情報共有システムの提案」計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会論文集(電子形式), SS12-4, 2014.

産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業 北海道・東北ブロック 学生発表会2014, Mar. 6, 2014 (秋田大学)

外崎智己, 太田哲平 「読書を通じたコミュニケーション 書評ゲーム「ビブリオバトル」への取り組み」準優秀賞受賞

### 卒業研究指導

馬場康輔, ビブリオバトル発表者の発話中の間の取り方と聴衆の支持との関係

以上

「ビブリオバトル普及委員」名称利用申請 2014年度活動報告書(2/2)

「ビブリオバトル普及委員」名称利用申請 2014年度活動報告書(1/2)

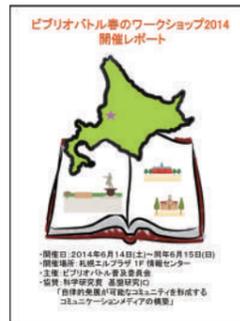
安部 尚登(あべ なおと:北海道地区)

ビブリオバトル北海道  
<http://bibliobattle-hokkaido.jp/>  
 フィジカル・コミュニケーション・デザイン協会  
<http://www.p-cd.org/>

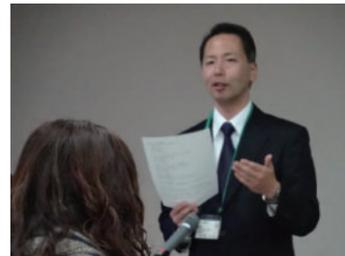


【2014年度 活動実績】

- ・2014年6月: ビブリオバトル春のワークショップ2014 現地責任者として企画運営に携わる  
<http://www.bibliobattle.jp/bibliobattle-official-spring-workshop-2014>



- ・2014年10月: 上川教育研修センター「社会教育」研修講座で、ビブリオバトルの講義と演習を実施



- ・2014年11月: 小樽市内で、市民団体向けに、ビブリオバトルの講義と演習を実施



【2014年度 活動実績の続き】

- ・2014年11月: 全国大学ビブリオバトル2014京都決戦北海道Bブロック地区決戦の企画運営に携わる

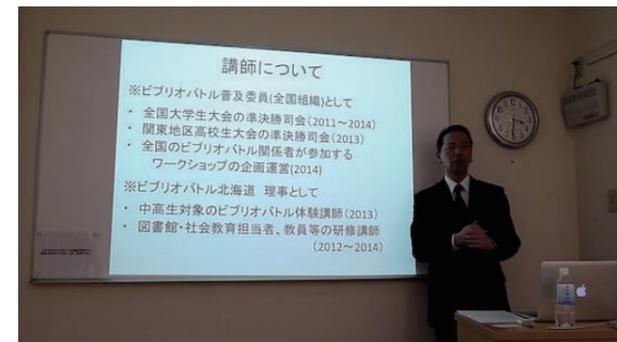


- ・2014年12月: ビブリオバトル・シンポジウム2014にポスター発表で参加  
 ポスター発表抄録(ポスター⑦) <http://goo.gl/AiA8lK>



- ・2014年12月: 全国大学ビブリオバトル2014京都決戦 準決勝の司会進行を担当

- ・2015年2月: 札幌市内で、ビブリオバトル模擬講習会を開催し、動画を公開  
 「2015/02/16 ビブリオバトル模擬講習 安部尚登」[http://youtu.be/g\\_V7fG8vfh4](http://youtu.be/g_V7fG8vfh4)



- ・2015年3月: 札幌市内で、一般市民向けに、ビブリオバトル体験講座を実施予定

以上

小北 麻記子 (北海道地区)  
okita.makiko@i.hokkyodai.ac.jp

折登大輔 (北海道地区)  
[gustnotch6880jp@gmail.com](mailto:gustnotch6880jp@gmail.com)

## 1. 地域連携としてのビブリオバトル — 岩見沢市立図書館での開催



11月29日に岩見沢市立図書館にて開催された「図書館フェスティバル」内プログラムで、教育大生によるビブリオバトルを行いました。

出場者はデザイン研究室2年の関沢さん、中村さん、埴さんの3人。

それぞれ「力の抜きどころ(古川武士著)」「ゴロツキはいつも食卓を襲う フード理論とステレオタイプフード50(福田里香著)」「ピクトさんの本(内海慶一著)」を紹介しました。チャンプ本に選ばれたのは埴さんが紹介した「ピクトさんの本」で、注意喚起の看板等に用いられるピクトグラムに登場する人物「ピクトさん」に焦点をあてた内容。「これを読んでピクトさんをもっと労りましょう」というメッセージが観客の心に響いたようです。

私たちはこれまで、ビブリオバトルを行うのは、大学構内等、学生に向けて行う場面が多かったため、今回の図書館フェスティバルの利用層のような、子供を持つ親の世代からの反応がとても新鮮でした。(記：北海道教育大学デザイン研究室 2年 永岑はるか)

## 2. 学内交流の場としてのビブリオバトル — 全学ビブリオバトル

本学には5キャンパス(札幌、旭川、釧路、函館、岩見沢)があり、各キャンパスが離れているために、他キャンパスの学生同士が交流する機会は殆どありません。そのなかで、「全学ビブリオバトル」は貴重な全キャンパスが参加するイベントです。各キャンパスで予選を行い、選ばれた代表学生が、テレビ会議システムを使って対決します。2014年度は12月16日に開催され、岩見沢校代表の永岑はるかさんが全学チャンプとなりました。

ほか、北海道教育大学では、図書館運営を手伝う学生や、サークルなどでビブリオバトルが随時開催されています。本学の特性上教員になる学生も多いことから、将来の学校現場での活用のきっかけとなることも期待されているところです。 以上

## 2014年度の普及委員としての活動内容

- ビブリオバトルサークル「さっぽろビブル」主催  
(内容詳細)月に一回の定期開催(札幌市内:今年2月の開催で2周年)  
三省堂書店での開催  
(札幌店:1月、4月と2回開催・・・紀伊国屋書店以外での初の札幌市での大型書店での開催)  
(留萌店での開催:10月開催。留萌市での初のビブリオバトル開催。  
加えて、留萌市民有志の要望によって開店した店舗での開催)

具体的な内容については、さっぽろビブルのHPも参照願います。

[「http://p.tl/b16V」](http://p.tl/b16V)

- ビブリオバトル北海道所属  
普及活動を主に行う団体で、スタッフとして活動。

## 2014 年度活動報告書

小林 秀高 (北海道地区)  
kobayashi@takushoku-hc.ac.jp



2014 年よりビブリオバトル普及委員になりました。主に大学のゼミを中心に活動しています。大学内でのビブリオバトルの開催と普及が主な活動で、関心を持った学生は学外のイベント型などへの参加を後押ししています。今後の目標は、地域でのビブリオバトルを開催したいと考えています。

### 1. 個人での活動など

- ビブリオバトル春のワークショップ 2014 参加 (主催: ビブリオバトル普及委員会)
  - 日時: 6月14日~15日
  - 場所: 札幌エルプラザ情報センター (北海道札幌市北区北8条西3丁目エルプラザ)
- 上富良野町子ども読書推進委員研修会講師 (主催: 上富良野町教育委員会)
  - 日時: 2月5日
  - 場所: 上富良野町公民館 (北海道空知郡上富良野町富町1丁目3番25号)

### 2. 拓殖大学北海道短期大学ビブリオバトル

学内でビブリオバトルを実施する目的は、学生間の読書体験の共有です。あまり教育効果等は求めていません。主にゼミ主催で実施しています。

日時	内容	チャンプ本等
4月17日	第1回ビブリオバトル	バトラー: 8名 吉田 戦車『おかげネコ』
7月17日	第2回ビブリオバトル	バトラー: 8名 尾木 直樹『「学び」という希望』
9月18日	第3回ビブリオバトル	バトラー: 9名 ヨシノ サツキ『ばらかもん』
10月16日	第4回ビブリオバトル	バトラー: 3名 井上 雄彦『バガボンド』
11月6日	第5回ビブリオバトル 全国大学ビブリオバトル予選会	バトラー: 4名 長谷部 誠『心を整える。』
	● バトラーは公募 ● ギャラリー: 49名	
12月14日	第6回ビブリオバトル	バトラー: 3名 流石 景『ドメスティックな彼女』

### 3. 大学外でのビブリオバトル

主にゼミ生で関心を持った学生たちと、学外の大会等に参加しています。参加はイベント型などに関心を持った学生が中心ですが、ギャラリーに他のゼミ生などと一緒に参加します。知的な分野での活動の楽しさを知ってもらいたいと思い参加しています。

日時	内容
10月19日	ビブリオバトル in 留萌ブックセンター <ul style="list-style-type: none"><li>● バトラーおよびギャラリーに7名で参加</li><li>● ダニエル・キイス『アルジャーノンに花束を』(参加本)</li></ul>
11月16日	全国大学ビブリオバトル北海道地区決戦 B <ul style="list-style-type: none"><li>● バトラーおよびギャラリーに6名で参加</li><li>● 井上 雄彦『バガボンド』(参加本)</li></ul>
1月31日	ビブリオバトル室蘭工業大学大会 (学長杯) <ul style="list-style-type: none"><li>● バトラーおよびギャラリーに5名で参加</li><li>● O・ヘンリー『賢者の贈り物』(参加本)</li></ul>

### 4. その他・連絡先

- 大学のゼミを通じた活動内容は、大学のホームページ「最新情報」で適時報告しています。よろしければご覧下さい (<http://www.takushoku-hc.ac.jp/>)。)
- お問い合わせ
  - 074-8585 北海道深川市メム 4558 拓殖大学北海道短期大学
  - phone: 0164-23-4111 (285 内線) e-mail: kobayashi@takushoku-hc.ac.jp

## 2014年度 活動報告

勝田 翔太 (北海道地区)

### 連絡先

勝田 翔太

Email:mikehaya4645@gmail.com

学生ビブリオバトルサークルリーブル

Email:biblio.sapporo@gmail.com



ツイッターやフェイスブックでのビブリオバトル関連の投稿を定期的に行うことで本に興味のない層にもビブリオバトルという名称を広めている。効果としては私の SNS を読んでくれている同じ大学の人にはビブリオバトルという名称が広まりつつあり、ビブリオバトルの話題を友達から持ち出されることもある。

勝田の Twitter アカウント→



### 2014年度の活動

#### 1. 学生サークル「リーブル」運営

札幌近郊の学生が集まりビブリオバトルを行える場としてリーブルを創設、運営を行った。現在くすみ書房さんのスペースをお借りし「ビブリオバトル in くすみ書房」というイベントを一か月に一回の頻度で行っている。その時のよってばらつきがあるが 15~30 人ほどの集客率となっている。



#### 今後の挑戦

学生という身分はなくなるがこれからのビブリオバトルを担っていくことになるであろう学生が参加しやすいようなビブリオバトルを行う空間を創出する。

(リーブルは学生限定としているため勝田は脱退する。)

ビブリオバトルをやったことがない人にも魅力を知っていただけるように札幌市内で新しく開催し、希望者が多ければワークショップなども行っていきたい。

#### 2. 札幌市内でのビブリオバトルへの参加



札幌市で行われている様々な場所でバトラーや観客として参加しながら運営のお手伝いや観客とのコミュニケーションを図っている。

左の写真は「全国大学ビブリオバトル 2014～京都決戦～北大予選会」にバトラーとして参加した時のもの。

**札幌でビブリオバトルを行うときはぜひ勝田へ！！**

## 【2014年度ビブリオバトル活動報告】

永野 舞子(北海道地区)  
連絡先: drftgy-myco@mail.goo.ne.jp  
090-3779-8557  
さっぽろビブル: <http://p.tl/b16V>



### ◆2014年度 主な活動内容◆

- 2014年4月 札幌三省堂書店にてビブリオバトル開催
- 2014年6月 「ビブリオバトル春のワークショップ2014」参加  
ビブリオバトル普及委員会入会
- 2014年10月 留萌三省堂書店ビブリオバトル実施
- 2014年12月 藤女子大学にてビブリオバトル体験会を実施

ほか、社会人サークル「さっぽろビブル」として月1回程度ビブリオバトルを開催。

### ◆個人での活動について◆

～出版物～

図①勤め先の社内報の社員紹介ページにて、プライベートな取り組みとしてビブリオバトルの普及活動を紹介。(2014年12月配布。発行部数約5500部)

図②母校・藤女子大学 日本語・日本文学科発行の会報 No.99号にて、卒業生の取り組みとしてビブリオバトルの活動とサークルを紹介。(2015年1月発行)

### ◆さっぽろビブルについて◆

2013年12月活動開始のビブリオバトルサークルです。以前、同名のビブリオバトルサークルがありましたが、前代表に許可をもらいその名前を引き継ぐような形で、現在折登大輔代表を中心に活動しています。所属人数メンバーは4名。

「ビブリオバトルを知ってもらいたい!」と思いながらも、一般企業の勤めの社会人が“個人名”で活動するには難しい部分もあり、このような“サークル”としての形態で活動することになりました。所属条件は、①ビブリオバトルを主催できること、②いろいろなビブリオバトルの形にチャレンジしていきたいと思う心がある事です。メンバーが個々に持っているネットワークを活かし、メンバー4人と参加者の皆さんに協力していただきながら活動しています。

### ◆活動所感と今後について◆

今年度は、さっぽろビブルにとって大きな1年でした。

「さっぽろ」の枠を超え、約100キロ離れた留萌市でのイベント開催は、本サークル設立時からの目標でした。(ご存じの方も多いと思いますが、留萌市では一時期市内から書店が撤退しています。市民の声を受けて三省堂が来店。現在は、市民ボランティアの方とともにお店の運営がされています)また、さっぽろビブルのイベントに参加された方の中から、個人でビブリオバトルを主催される方が誕生したり、ほかの読書系イベントを企画される方もいらっしゃったりと、札幌市での読書活動の輪が大きく広がった年でもあると思います。

今後は、「ビブリオバトルをもっと面白くするためには」を課題に、サークルメンバーと案を出し合って活動していきたいと思っています。

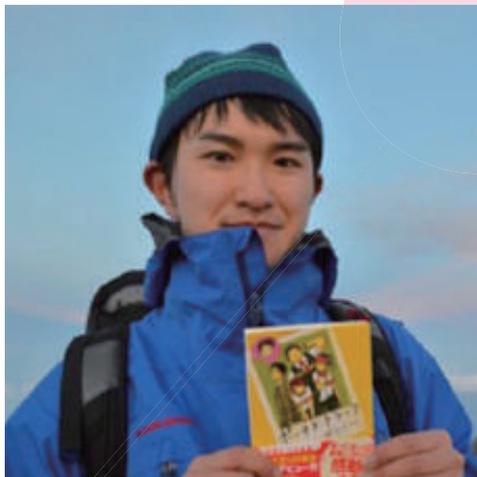
図①



図②



# 東北地区



貝森義仁

東北地区代表

庄子隆弘

副代表

●主な活動団体（普及委員会関係）

・みちのく図書館員連合（MULU）

・東北芸術工科大学

・宮城教育大学

ビブリオバトルサークル BIBLion

## 平成 26 年度活動報告



ビブリオバトル東北地区代表  
気仙沼市立鹿折中学校 教諭 貝森義仁

みちのく図書館員連合 (MULU) 幹事  
ビブリオバトル東北チーム代表  
庄子隆弘 (東北地区)  
連絡先: 1112yunbo@gmail.com



### 1. 春のビブリオバトルワークショップへの参加

6月に札幌で行われた春のワークショップに参加。中学校現場でのビブリオバトルについて実践報告を行った。

### 2. 宮城県高等学校図書館司書研修会での講師

宮城県高校司書を対象とした研修会で、講師を務めた。学校現場で楽しめるビブリオバトルの工夫について講話を行った。

### 3. 全国ビブリオバトルシンポジウムパネリスト参加, 大学生全国大会観覧

全国シンポジウム教育セッションにパネリストとして参加。学校現場での実践例を失敗した事例も取り上げながら発表した。翌日の全国大会も観覧した。

### 4. ビブリオバトルワークショップ I N仙台主催

12月23日に仙台市でビブリオバトルワークショップを主催した。教育現場のみならず、公共図書館職員、大学生等、幅広く集まり、ビブリオバトルを楽しむ場となった。また、実践報告や、ワークショップを取り入れ、今後の東北地区での顔の見えるつながりをテーマにイベントを行った。

### 5. ビブリオバトルハンドブック (開催例「中学校」「登山×ビブリオバトル」執筆)

4月上旬に発売予定となっている、ビブリオバトルハンドブックの一部を担当させていただいた。

### 1. 概況

私が主に活動している仙台地区では、年を追ってビブリオバトルに対する問合せが多くなっている。公共図書館、学校図書館、大学図書館と広い範囲でビブリオバトルへの関心が高まっていることが伺える。初の試みとして開催した「ビブリオバトルワークショップ」において、一般参加者と話す機会があり、社会人向けビブリオバトルの可能性を感じた。こうした現在の需要の高まりに比べ、対応できる人材が不足していることが今後の課題である。

### 2. 運営

- ① 東北文化学園大学ビブリオバトル: 企画・準備・運営
- ② 全国大学ビブリオバトル 2014~京都決戦~予選: 準備・運営
- ③ 全国大学ビブリオバトル 2014~京都決戦~地区決戦: 準備・運営
- ④ 全国大学ビブリオバトル 2014~京都決戦~: レポート作成
- ⑤ としょかん・メディアテークフェスティバル 2014@ビブリオバトル: 企画・運営
- ⑥ 仙台市泉図書館主催「中高生ビブリオバトル」: アドバイス
- ⑦ ビブリオバトルワークショップ 2014@仙台: 準備・運営

### 3. 講演

- ① トーハンセミナー「本と人をつなげるビブリオバトルを開催してみよう!」: 研修講師
- ② ビブリオバトルの教育現場での活用について~楽しいビブリオバトルの普及を目指して~: 準備・調整 ※講演は貝森東北地区代表のみ

### 4. メディア

- ① 河北新報社: 東北文化学園大学図書館でのビブリオバトル取材対応
- ② NHK 仙台「てれまさむね」: 全国大学ビブリオバトルの取材対応
- ③ 『ビブリオバトルハンドブック』: 「河原でビブリオバトル」部分の執筆

以上

※上記の項目について、詳細については報告書等にまとめている。

## 2014年 活動報告書

東北地区 地区担当  
仙台市立長命ヶ丘中学校  
教諭 後藤 俊

今年度の主な活動としては、以下のようなものである。

### 1 学校でのビブリオバトルの実践

国語科の授業や、図書委員会、昼休みなどに、ミニ・ビブリオバトルを中心に実施してきた。回を重ねるごとに、生徒の選書や、プレゼンテーションの質が上がってきたように感じている。生徒たちがビブリオバトルを、「楽しいゲーム」として捉えてくれている実感を得ている。

### 2 教育現場での普及活動

夏には仙台市の小中学校の先生方を対象に、図書館教育研修の場でビブリオバトルの演習と実践報告をさせていただいた。

### 3 ビブリオバトルシンポジウムへの参加

教育セッションにおいて、遠隔参加ではあるが、加えていただいた。

### 4 ビブリオバトル京都決選・東北地区予選の運営

東北地区担当として、ビブリオバトル京都決選・東北地区予選の運営に司会として参加させていただいた。

### 5 ビブリオバトルワークショップ（東北）への参加

東北地区代表、貝森君が主催した、ビブリオバトルワークショップ（東北）で教育現場での実践報告をさせていただいた。

## 2014年度 活動報告書

川西蘭（東北地区）  
東北芸術工科大学 芸術学部 文芸学科  
990-9530 山形市上桜田 3-4-5  
023-627-2028

学内を中心に活動を行った。以下、列挙する。

通年で不定期にチュートリアル「ビブリオバトル戦略会議」を開催。チュートリアルは学内で実施されている課外活動で学年を問わず自由に参加できる。「ビブリオバトル戦略会議」は、ビブリオバトルで勝利するための戦略を実戦から解析することを目的としている。

10月初旬。1年生の必修演習科目「日本語表現 2」でビブリオバトルを実施した。学生48人全員がバトラーを体験するため2ラウンド制にした。第1ラウンドは6班にわかれ、各班でバトルを実施（オーディエンスはなし）。第2ラウンドは、各班から選出されたチャンプ本同士でバトル（発表者以外はオーディエンス）し、全体のチャンプ本を決定した。

口頭で本の紹介を行うビブリオバトルと対比するため、同じ本の書評を書くという課題を出している。口頭と記述の差異とそれぞれの特性を確認することが目的。

10月下旬。全国大学ビブリオバトル京都決戦の地区予選会を本学図書館で開催した。学内外にバトラーを募り、6名（うち1名は学外・県外から）の参加を得た。バトラーの数を揃えるのに苦労するのが本学の現状である。文芸学科生以外の参加が少ないのも悩み。定例化することでバトラーとしての参加への心理的障壁を下げたいと考えている。

学外生は宮城の大学のビブリオバトルサークルに所属する学生で、サークル活動の一環として本学開催の予選会に参加した。活発な活動やビブリオバトルの内容構成に大変に刺激を受けた。他大学、サークルとの交流は必要不可欠と痛感した。

11月下旬。全国大学ビブリオバトル京都決戦の地区決戦大会（仙台市）に参加。東北地方の各予選会のチャンプ本紹介者の発表を聞く。さまざまな発表スタイルは大変に勉強になった。戦略の策定にも今後役立てていきたい。ビブリオバトルはそれぞれの地域やサークルで独自の発展をしているのが興味深い。画一化されるよりも個性的な多くのスタイルがある方が面白いし、全国大会を実施する意味もあるだろう。残念ながら、山形地区予選会のチャンプ本紹介者は地区決戦を勝ち抜けなかった。

11月。NHK山形のローカルニュース枠でビブリオバトルが紹介された。番組制作のために取材協力した。一般的な認知を広めるうえで効果があったのではないかと思う。

新年度は、学内チュートリアル活動の活性化とビブリオバトルの定期開催を目指す。また、積極的に高校生や中学生への浸透、社会人への普及をはかりたい。

以上。

# 関東地区



## 粕谷 亮美

関東地区代表

## 瀬部 貴行

副代表

### ●主な活動団体（普及委員会関係）

- ・ Tokyo Biblio
- ・ 若手ビブリオバトル
- ・ ビブリオバトル LOD プロジェクト
- ・ 紀伊國屋書店ビブリオバトル推進チーム
- ・ 文教大学ビブリオバトルサークル（Biblio 文教）
- ・ ビブリオバトル in 有隣堂
- ・ SF 文学振興会
- ・ 着物でビブリオバトル
- ・ 関内まちづくり振興会
- ・ BiblioEi8ht
- ・ 一般社団法人ビブリオポルトス
- ・ 活字文化推進会議
- ・ 東京都練馬区立南田中図書館
- ・ サンタポスト
- ・ brisa libreria
- ・ NPO 法人新座子育てネットワーク
- ・ 東京ビブリオバトル・バイリンガル
- ・ 鷺沼 Book 倶楽部
- ・ ビブリオバトル in 越谷
- ・ ビブリオバトル in ほんどん
- ・ 小金井市立図書館貫井北分室

## ひとりとみんなでやってみる。～ひとり普及委員の活動例～

作成者 宮本皐（花岡猫子）（関東地区）  
連絡先 [okanekoko@gmail.com](mailto:okanekoko@gmail.com)  
Twitter @okanekoko

### 目次

- ・自己紹介
- ・2014年度（2014年4月～2015年3月）の活動
- ①若人ビブリオバトルat新宿
- ②居酒屋ビブリオバトルat町田
- ③居酒屋ビブリオバトルat新宿
- ④町田市立中央図書館でのビブリオバトルの司会
- ・今後の活動予定

### \*自己紹介\*

こんにちは、私は花岡猫子（はなおか ねここ）といます。関東地区の普及委員です。

私は普段から、書店や公共図書館、知り合いが開催するビブリオバトルに参加しています。ですが時々、自分からビブリオバトルが好きな友人や知り合いに声をかけ、日取りや時間を決めて、10人前後で行うこともあります。

この報告書では、2014年度の私の活動をまとめました。「**人数が少ないビブリオバトルの様子が気になる**」「**自分で開催してみたいけれど、どうやったらいいかわからない**」という方には参考になると思います。なお、目次の④は、この報告書の提出後の活動となります。ご了承ください。

### ・2014年度の活動

ここでは、私個人の2014年度における活動を報告します。

自分で主催したものが3回、他の主催に参加したものが8回でした。そのうち、主催したものを報告いたします。（紹介された本リストは、★がついているものがそのゲームのチャンプ本となります）

#### ①若人ビブリオバトルat新宿 開催日：2014年2月2日

〈開催のきっかけ〉

これは、「10代、20代の若手」にビブリオバトルを広めていく活動を行っている「若手ビブリオバトル（Twitter:@theYouth\_Biblio）」という団体との開催でした。2010～2013年のビブリオバトル首都決戦開催時に知り合った首都圏の学生の多くが大学卒業を迎える前に、一度集まってビブリオバトルをすることが目的でした。当日は社会人となったメンバーも参加し、大いに盛り上がりました。以下、紹介された本です。

### 第一ゲーム

1. 『クトゥルフ神話TRPG（ログインテーブルトークRPGシリーズ）』 著：サンディ・ピーターセン、リン・ウィリス 訳：中山てい子、坂本雅之（KADOKAWA/エンターブレイン）
2. 『新装版 ロボットポンコツ グレイテスト編（上）』 漫画：タモリはタル、原作：下田淳&レッド・エンタテインメント（講談社）
3. 『チャタレイ夫人の恋人』 著：D・H・ロレンス 訳：伊藤整 補訳：伊藤礼（新潮文庫）
4. 『吼えるペン』 島本和彦（小学館）
5. ★『恋愛カースト』 峰なゆか・犬山紙子（宝島社）

### 第二ゲーム

1. 『大笑点<Vol.1>「北か朝鮮、待ってたホイ」の巻』 立川談志（竹書房）
2. 『夢中になる江戸の数学』 桜井進（集英社文庫）
3. ★『萌える名作文学ヒロインコレクション』 萌える名作文学製作委員会（コアマガジン）
4. 『四畳半神話体系』 森見登美彦（角川文庫）
5. 『Aventura』 翠川しん（講談社）
6. 『なめこでわかる文学全集 なめこでわかる名作文学』 小嶋まり（幻冬舎）

### 第三ゲーム

1. 『「若者の現在」 労働』 編集：小谷敏、土井隆義、芳賀学、浅野智彦（日本図書センター）
2. ★『equus エクウス』 えすとえむ（祥伝社）
3. 『新世界より』 貴志祐介（講談社）
4. 『図書館戦争』 有川浩（角川文庫）

今回の場では、参加者の年齢が近いことから気軽に話しやすく、さらにお互いの共通の趣味を見つけやすい雰囲気でした。本について話すことで「それ、私も/僕も好きです」と自分のことを話し、交流が深まった印象があります。

#### ②居酒屋ビブリオバトルat町田 開催日：2014年7月11日

〈開催のきっかけ〉

2014年5月6日、有隣堂アトレ八王子店でビブリオバトルが開催されました。このビブリオバトルに私がバトラー（紹介者）として参加し、その後の懇親会でほかの参加者と意気投合。どなたかの「飲みながらビブリオバトルがしたい」というコメントから企画に至りました。

場所は参加者のみなさんが集まりやすい町田にしました。以下、紹介された本のリストです。

### 第一ゲーム

1. 『成長から成熟へ—さよなら経済大国』 天野祐吉（集英社新書）
2. 『泣く大人』 江國香織（角川文庫）
3. 『時計じかけのシズク』 海野螢（OKS COMIX）

- 『東スポ伝説—一面見出し、そこは一行の劇場だ』東スポ探検隊（ピンポイント）
- ★『ただしいブスのほめ方—「また会いたい」と思わせる35の社交辞令』トキオ・ナレッジ（宝島社）

## 第二ゲーム

- 『くちぶえカタログ』杉浦弥太郎（静山社）
- 『変態』藤本ひとみ（文芸春秋）
- ★『戦争を平和に変える法—“紛争解決入門”の巻』著：ルイズ・アームストロング、訳：筑紫哲也（河出書房新社）
- 『まんだらけLIVE(Vol.1)』編集：まんだらけ出版部（まんだらけ出版部）
- 『友情』武者小路実篤（新潮文庫）



この回はドレスコードが浴衣でした。（着てこれる人が着てくる、というもので、強制ではありません。）時期も7月上旬で、七夕や暑気払いになぞらえてこのようになりました。

開催する時期や場所に合わせてドレスコードを指定すると、いつもと雰囲気が変わって面白くなります。

## ③居酒屋ビブリオバトルat新宿 開催日：2014年11月27日

〈開催のきっかけ〉

2014年10月ごろから、「飲みながらビブリオバトルがしたい」と私や友人同士で話が弾み、企画に至りました。

## 第一ゲーム

- 『くらやみの速さはどれくらい』エリザベス・ムーン：作、小尾芙佐：訳（ハヤカワ文庫SF）
- ★『刻刻』堀尾省太（講談社）
- 『邪悪な植物—リンカーンの母殺し！植物の様々な蛮行』エイミー・スチュワート：著（朝日出版社）

## 第二ゲーム

- 『紀元二千六百年 消費と観光のナショナリズム』ケネス・ルオフ：著、木村剛久：訳（朝日新聞出版）
- 『詩のむこうで、僕らはそっと手をつなぐ。—萌詩アンソロジー』川口晴美：編集（ふらんす堂）
- ★『大東京トイボックス』うめ（幻冬舎コミックス）
- 『そなんじゃねえよ』和泉かねよし（小学館）

## 第三ゲーム

- 『ZOOKEEPER』青木幸子（講談社）
- 『蜜の味』壇蜜
- 『きょうのおことば』いがらしみきお（Bbmfマガジン）
- ★『夜の写本師』乾石智子（東京創元社）
- 『ゾンビ・サバイバルガイド』マックス・ブルックス：著、森瀬繚：翻訳監修（エンターブレイン）

これは新宿の居酒屋にて行ったものです。社会人から学生まで、ビブリオバトルが好きな人々が集まり3ゲーム目まで盛り上がりました。今回の特徴は、本を持ってこれなかった人がタブレットを借りて書影を検索し、それを表示しながらバトルに臨んだことです。ビブリオバトルで電子版、もしくは本の書影を使うことは、単純に「持ってくるのを忘れた」といった場合だけではなく、「冊数が多くて持ってきてにくい」という本にも対応できると実感しました。

## ④町田市立中央図書館でのビブリオバトルの司会

これは、この報告書提出後に予定されているビブリオバトルです。僭越ながら私が司会を担当させていただきます。

開催日時：2015年3月29日（日）

13時30分から15時30分

（ひき続き、「おわりの会」～16時30分終了予定）

場所：町田市立中央図書館 6階ホール

主催：まちだとしょかん子どもまつり実行委員会・町田の図書館活動をすすめる会

共催：町田市立図書館

「まちだとしょかん子どもまつり」という、町田市内の公共図書館が行うイベントの中で開催されます。このイベントでは中央間・分館ともに様々な催し物を行います。ビブリオバトルは最終日を飾る予定です。お近くの方、よろしければお気軽にお越しください。

## ・今後の活動

2015年度も、個人で参加、友人や知り合いを通じての開催を続けていきます。私はビブリオバトルで、「こんな本があったんだ」というだけではなく、参加する人が「こんなビブリオバトルもあるんだ！」と新鮮な発見ができる場になることが理想だと考えています。今後もそのために、力を尽くしていきます。

私の個人ブログ「みどりいろのそうめん (<http://view-books226.jugem.jp/>)」においても、過去の参加記録を追加してゆく予定です。

## 2014 年度活動報告書



Tokyo Biblio 代表 亀山綾乃 (関東地区)  
MAIL:Tokyo\_biblio@yahoo.co.jp  
HP:http://tokyo-biblio.com/

### <活動内容>

2011 年より亀山綾乃と鳥潟雄一を中心に、「Tokyo Biblio」として主に東京都内にてビブリオバトルを開催してきました。現在、高畑亜紗美、新藤祐一を含めた 4 名のメンバーで活動しています。

ビブリオバトルを定期的に開催しているほか、ビブリオバトル開催のプロデュースやコンサルティング、ビブリオバトルに関する講演会やワークショップの講師、各メディアからの取材対応などの活動を行っています。

### <2014 年度の活動実績>

#### ■ 主催したビブリオバトル - 9 回

ブックカフェ 6 次元と蕎麦カフェさねすけでは Tokyo Biblio の主催で定期的にビブリオバトルを開催しています。また、2014 年度は神田神保町で毎年開催されている「東京名物 神田古本まつり」の連携イベントとしてビブリオバトルが開催され、その予選会を Tokyo Biblio が主催しました。さらに、ライブハウスの阿佐ヶ谷ロフト A では「珍書」をテーマとして、編集者やライター、古書店主などのゲストをお招きしたユニークなビブリオバトルを開催しました。

- ・2014 年 4 月 12 日 ビブリオバトル at 6 次元 vol. 4
- ・2014 年 8 月 30 日 ビブリオバトル at 蕎麦カフェさねすけ Vol. 2
- ・2014 年 9 月 13 日 ビブリオバトル in 神田古本まつり三省堂書店予選会
- ・2014 年 9 月 20 日 ビブリオバトル at 6 次元 vol. 5
- ・2014 年 10 月 10 日 ビブリオバトル in 神田古本まつり千代田図書館予選会
- ・2014 年 10 月 12 日 ビブリオバトル in 西荻
- ・2014 年 11 月 15 日 ビブリオバトル at 蕎麦カフェさねすけ vol. 3
- ・2015 年 2 月 7 日 珍書ビブリオバトル
- ・2015 年 2 月 28 日 ビブリオバトル at 蕎麦カフェさねすけ vol. 4

#### ■ 開催協力したビブリオバトル - 12 回

「妖怪ビブリオバトル」は定期開催も 12 回を数えますが、当初から運営アドバイスをしています。また、2014 年度は八重洲ブックセンターと協力して、店舗のある東京駅周辺のビジネスパーソンをターゲットに、「ビジネス書」がテーマのビブリオバトルを開催しました。さらに、ライブハウスの東京カルチャーカルチャーからイベントプロデュースの依頼をいただき、昨年度に引き続き 2 回目となる「社会人大会」を開催しました。東京ステーションギャラリーからも東京駅開業百周年を記念したイベントを開催したいという依頼があり、「駅」をテーマにしたビブリオバトルを開催しました。

- ・2014 年 4 月 18 日 ビブリオバトル at 八重洲ブックセンター本店 (主催: 八重洲ブックセンター)
- ・2014 年 5 月 17 日 第 2 回ビブリオバトル社会人大会決勝戦! at 東京カルチャーカルチャー (主催: TOKYO CULTURE CULTURE by NIFTY)
- ・2014 年 6 月 18 日 第 1 回ビジネス書ビブリオバトル at 八重洲ブックセンター本店 (主催: 八重洲ブックセンター)
- ・2014 年 8 月 2 日 深川怪談 2014 「怪談カフェ×怪談ビブリオバトル」 (主催: 深川怪談実行委員会)
- ・2014 年 8 月 10 日 第拾回妖怪ビブリオバトル (主催: 妖怪ビブリオバトル実行委員会)
- ・2014 年 8 月 27 日 第 2 回ビジネス書ビブリオバトル at 八重洲ブックセンター本店 (主催: 八重洲ブックセンター)
- ・2014 年 9 月 19 日 働く女性のためのビジネス書ビブリオバトル (主催: 八重洲ブックセンター)
- ・2014 年 10 月 24 日 第拾壱回妖怪ビブリオバトル (主催: 妖怪ビブリオバトル実行委員会)
- ・2014 年 11 月 1 日 ビブリオバトル in 神田古本まつり (主催: 神田古書店連盟)
- ・2014 年 11 月 29 日 東京駅開業百年記念 スペシャル・オープン・ウィーク「美術館でビブリオバトル!?～『駅』をテーマに書評合戦!」 (主催: 東京ステーションギャラリー)
- ・2014 年 12 月 28 日 ダメ人間ビブリオバトル (主催: 新藤祐一)
- ・2015 年 2 月 21 日 第拾貳回妖怪ビブリオバトル (主催: 妖怪ビブリオバトル実行委員会)

#### ■ 講師 - 7 回

2014 年度は東京都内だけでなく、石川県や栃木県へも講師として招かれ、ビブリオバトルの活用方法について講演を行いました。また、講演会とワークショップや公開質問会を組み合わせることで、より深くビブリオバトルを理解していただけるよう、工夫を重ねました。

- ・2014 年 7 月 20 日 金沢ナイトミュージアム 2014 泉鏡花記念館 書物の可能性を信じる - プロフェッショナルたちのメッセージ「人を通して本を知る、本を通して人を知る」/ 泉

鏡花 de ビブリオバトル！」

- ・2014年7月12日 平成26年度栃木県高校生読書活動推進事業 読書コンシェルジュ育成講座「ビブリオバトル入門講座」
- ・2014年10月23日 千代田区立日比谷図書文化館 日比谷カレッジ「もっと活用したい人のための ビブリオバトル実践講座—中級編—&公開質問会」
- ・2014年11月15日 栃木県野木町 ビブリオタウン野木「第1回ビブリオバトル大会事前準備会」
- ・2014年11月28日 千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会研究部実務研修会「やってみよう！ビブリオバトル」
- ・2014年12月14日 栃木県野木町 ビブリオタウン野木「第1回知的書評合戦ビブリオバトル」
- ・2015年1月28日 明星大学「楽しもう、やってみよう、ビブリオバトル 講演会+ワークショップ」

#### ■ メディア掲載—17回

2014年度はイベント開催時にプレスリリースの発信を行ったことで、新聞の地方紙や地域情報サイトへの掲載に加えて、出版関係の専門誌にビブリオバトルの情報を掲載していただけました。

- ・2014年6月10日『日経ウーマンオンライン』に「第2回ビブリオバトル社会人大会決勝戦！ at 東京カルチャーカルチャー」の様子が紹介されました。  
<http://wol.nikkeibp.co.jp/article/trend/20140528/182001/>
- ・2014年7月21日『北國新聞』に「人を通して本を知る、本を通して人を知る／泉鏡花 de ビブリオバトル！」の様子が掲載されました。  
<http://www.hokkoku.co.jp/subpage/H20140721103.htm>
- ・2014年7月27日の『下野新聞』に「ビブリオバトル入門講座」の様子が掲載されました。  
<http://bibliobattle.sakura.ne.jp/img/20140727simotsuke.JPG>
- ・2014年10月号『東京人』の「読書をシェアする、さまざまなカタチ」に「怪談カフェ×怪談ビブリオバトル」の様子が掲載されました。  
[http://www.toshishuppan.co.jp/tokyojin\\_shousai.php](http://www.toshishuppan.co.jp/tokyojin_shousai.php)
- ・神田神保町の公式ウェブサイト「ナビブラ神保町」の10月特集に「ビブリオバトル in 神田古本まつり」についての紹介が掲載されました。  
<http://www.navi-bura.com/special/1410furuonfes.php>
- ・神田神保町のポータルサイト『BOOKTOWN じんぼう』に「ビブリオバトル in 神田古本まつり」についての紹介が掲載されました。  
<http://jimbou.info/news/140901.html>
- ・2014年10月14日『銀座経済新聞』に「もっと活用したい人のための ビブリオバトル

実践講座—中級編—&公開質問会」についての紹介が掲載されました。

<http://ginza.keizai.biz/headline/2630/>

- ・2014年10月23日『マイナビニュース』に「ビブリオバトル in 神田古本まつり」についての紹介が掲載されました。  
<http://news.mynavi.jp/news/2014/10/23/018/>
  - ・2014年10月26日『産経ニュース』に「ビブリオバトル in 神田古本まつり」についての紹介が掲載されました。  
<http://www.sankei.com/life/news/141026/lif1410260022-n1.html>
  - ・2014年9月12日『週刊読書人 3056号』に「ビブリオバトル in 神田古本まつり」についての紹介が掲載されました。
  - ・2014年10月24日『BOOK 在月 book2』にトークイベント「ビブリオバトル×ブック交換×一箱古本市 本を使ったコミュニケーションの可能性」についての記事が掲載されました。
  - ・2014年12月12日『YOMIURI ONLINE』にビブリオタウン野木「第1回ビブリオバトル大会」についての紹介が掲載されました。  
<http://www.yomiuri.co.jp/local/tochigi/event/etc/20141213-OYTBT50010.html>
  - ・2014年12月20日『図書新聞新年特大号』に「珍書ビブリオバトル」についての紹介が掲載されました。
  - ・2015年1月21日『出版ニュース 2015年1月下旬号』に「珍書ビブリオバトル」についての紹介が掲載されました。
  - ・2015年2月15日『産経新聞』に「珍書ビブリオバトル」についての記事が掲載されました。  
<http://www.sankei.com/life/news/150215/lif1502150031-n1.html>
  - ・2015年2月21日『朝日新聞』に「珍書ビブリオバトル」についての記事が掲載されました。
  - ・2015年3月3日WEBマガジン『月に吠える通信』で「珍書ビブリオバトル」のようすが紹介されました。  
(前編) <http://magazine.moonbark.net/news/chinsyo1/>  
(後編) <http://magazine.moonbark.net/news/chinsyo2/>
- #### ■ その他
- ・動画でみるビジネス書の書評サイト『Business Book Review』に八重洲ブックセンターでのビブリオバトルの様子が紹介されました。  
<http://businessbookreview.jp/pg213.html>
  - ・千代田区読書振興センターが運営する「ちよびたブログ」に「ビブリオバトル in 神田古本まつり」についての紹介が掲載されました。  
<http://chiyoda-dokusho.jp/blog/2014/09/in.html>  
<http://chiyoda-dokusho.jp/blog/2014/11/post-219.html>

・2014年12月15日ライターで編集者の空犬太郎さんのブログ『空犬通信』に「珍書ビブリオバトル」についての紹介が掲載されました。

<http://sorainutsushin.blog60.fc2.com/blog-entry-2363.html>

・2015年2月5日編集者のハマザキカクさんのブログに「珍書ビブリオバトル」についての紹介が掲載されました。

<http://hamazakikaku.blog136.fc2.com/blog-entry-404.html>

・2015年2月19日ライターのとみさわ昭仁さんのブログに「珍書ビブリオバトル」に出場した様子が掲載されました。<http://d.hatena.ne.jp/pontenna/>



2014年9月13日 ビブリオバトル in 神田古本まつり三省堂書店予選会



2014年5月17日 第2回ビブリオバトル社会人大会決勝戦！ at 東京カルチャーカルチャー

# 2014年度 ビブリオバトル活動報告書

関東地区担当 山口真由

本年度は新座ビブリオ、山梨県立図書館、社内ビブリオなど多岐に活動させていただきましたが、今回は高校生と教育機関を介さないプライベートな交流を可能にした「若手ビブリオバトル」の事例をご紹介します。

## ・開催概要

「若手ビブリオバトル@Cafe&Dining SUN」

日時:2014.9.27 12:00~15:00

住所:埼玉県戸田市元町 5-12-30

参加者:12名(発表8名、観覧4名)

年代:高校生~社会人

## ・紹介本一覧

第一ゲーム(一般の部)

1:『宇宙戦艦ヤマト 2199』むらかわみちお

2:『虐殺器官』伊藤計劃

3:『遊びと人間』ロジェ カイヨフ

4:『運命の女の子』ヤマシタトモコ

チャンプ本:『遊びと人間』ロジェ カイヨフ

第二ゲーム(全国大学ビブリオバトル 2014 予選会)

1:『原くくる処女戯曲集 六本木少女地獄』原くくる

2:『ハーモニー』伊藤計劃

3:『わたしのいもうと』松谷みよ子

4:『階段途中のビッグ・ノイズ』越谷オサム

チャンプ本:『原くくる処女戯曲集 六本木少女地獄』原くくる



## ・感想

高校生は観覧1名、発表1名でしたが、本を介して会話も弾み、その後別のビブリオバトルにも参加してくれるようになりました。交流促進として年代の隔てなくビブリオバトルが機能した事例になったと考えます。

## 研究所ビブリオバトルの開催および ビブリオバトル LOD プロジェクトの活動

常川真央（関東地区）  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
アジア経済研究所 図書館  
Twitter ID: @kunimiya



### 1. ビブリオバトルとしての活動

ビブリオバトルの発表者としての参加実績は以下のとおりです。

開催日時	イベント名
06月14日	ビブリオバトル春のワークショップ 2014
07月中旬	第0回 アジ研ビブリオバトル
07月25日	常川真央博士号取得記念筑波ビブリオバトル
07月31日	第1回 アジ研ビブリオバトル
08月24日	第19回 ビブリオバトル in 有隣堂
08月29日	第2回 アジ研ビブリオバトル
09月27日	若手ビブリオバトル@Café&Dining SUN
11月23日	若手ビブリオバトル at 喫茶へそまがり
11月28日	第5回 アジ研ビブリオバトル
12月14日	全国大学ビブリオバトル 2014 京都決戦 懇親会ビブリオバトル
01月31日	ビブリオバトル at 八王子北野 vol.3

紹介本や勝敗結果についての詳細情報は以下のウェブページをごらんください。

常川真央.”ビブリオバトル戦歴”. 状況に埋め込まれたブログ.

<http://www.kunimiya.info/profile/bibliobattle>

### 2. アジ研ビブリオバトルの開催

勤務先であるアジア経済研究所にて、職員同士の交流を深めることを目的としたビブリオバトルを定期的に開催しました。開催団体は職員4名からなる有志によって構成されています。会場は研究所図書館のスペースを使用しており、月末の休館日に開催しています。2014年7月より開催を実施し、これまでに6回開催し、回平均30名前後の職員が参加しています。

また、アジア経済研究所の発行する雑誌『アジ研・ワールドトレンド』誌上に、「場としてのアジ研図書館」を執筆し、アジ研ビブリオバトルの概要について紹介しました。

常川真央. 場としてのアジ研図書館. アジ研・ワールドトレンド. 2015, vol.3, p.66. [http://d-arch.ide.go.jp/idedp/ZWT/ZWT201502\\_019.pdf](http://d-arch.ide.go.jp/idedp/ZWT/ZWT201502_019.pdf)

### 3. ビブリオバトル LOD プロジェクトの推進

ビブリオバトルの参加・開催以外の活動として、ビブリオバトル LOD プロジェクトの企画・推進があります。ビブリオバトル LOD プロジェクトとは、ウェブ上に存在するビブリオバトル開催情報を体系的に整理し、学術研究やシステム開発へ活用可能なデータセットを作成・公開するプロジェクトです。

現在、ウェブ上には大量のビブリオバトル開催情報が存在していますが、その多くは同一のバトルについて記述している他のデータと関連付けられていません。例えば、Facebook に投稿されたイベント情報と YouTube に投稿された発表動画があるにもかかわらず、関連付けられていないといったケースです。

ビブリオバトル LOD プロジェクトの現在の活動として、以下の3つの活動を推進しています。

#### (1) データセットの作成・公開

ウェブ上に公開されている情報をもとにビブリオバトル開催情報を体系化したデータを、以下のデータ共有サイトに掲載しています。

ビブリオバトル LOD プロジェクト. “ビブリオバトル LOD”. オープンデータ共有 & ダウンロード | LinkData. <http://linkdata.org/work/rdf1s1923i>

データの規格については公式サイト上の解説ページをご覧ください。

ビブリオバトル LOD プロジェクト. “データ仕様”. ビブリオバトル LOD プロジェクト公式サイト.

<https://sites.google.com/site/bibliobattlelod/data-schema>

(2) データセット活用・作成支援のためのデータベースサイトの構築

既に作成したデータセットの利用と、データセットの作成支援を目的としたビブリオバトル情報のデータベースサイト「Bibliobattle Records」を現在構築中です。これによって、ビブリオバトル開催団体が体系的にビブリオバトル開催情報をウェブ上に提供することを支援します。また、データベースサイトにはビブリオバトルの「戦績」を登録し、プロフィールページを公開する機能を提供することで、ビブリオバトルの交流サイトとしても使われるようなサイト構築を目指しています。

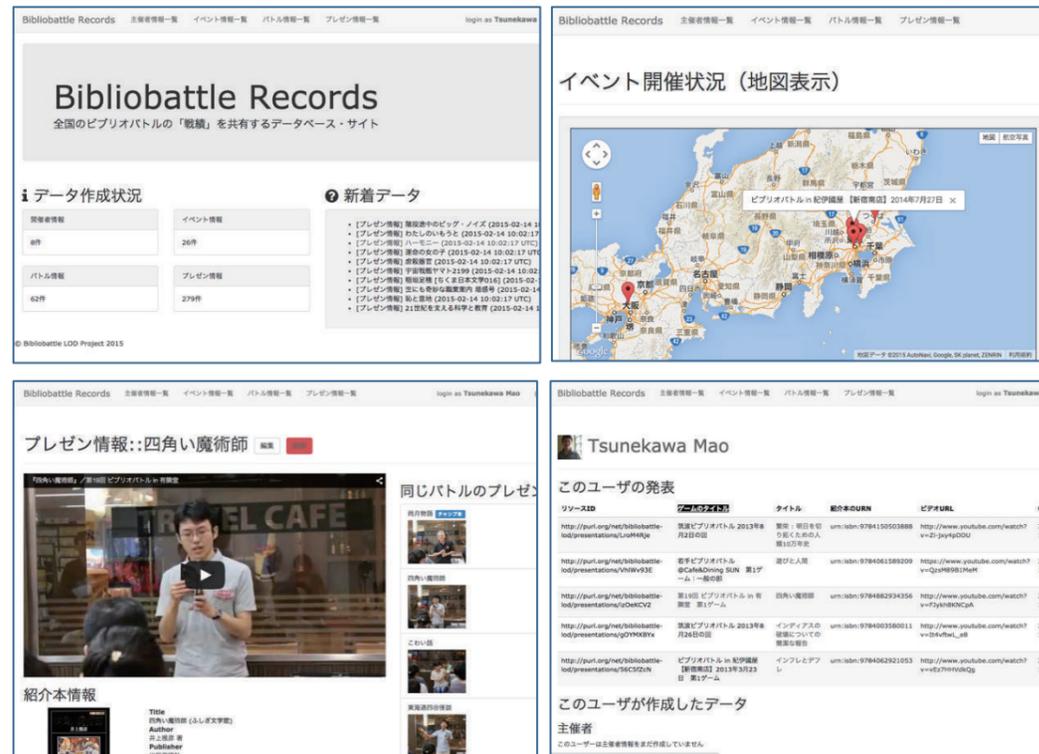


図 1 開発中の画面

(3) ポスター発表、執筆活動

プロジェクトの広報活動として、「ビブリオバトルシンポジウム 2014」にてポスター発表を実施しました。また、ビブリオバトル普及委員会公式サイト上にて、以下のとおりビブリオバトル LOD プロジェクトの紹介記事を寄稿しました。

常川真央, “ビブリオバトル LOD プロジェクトのご紹介”. ビブリオバトル普及委員会公式サイト.

4. ビブリオバトルに関する執筆・講演活動

その他、単発の執筆・講演活動として以下の活動を実施しました。

(1) 情報管理「この本！紹介します」コーナーへの寄稿

情報管理の「この本！紹介します」コーナーにて、『「本を通じた人とのつながり」を設計する』というタイトルで『ビブリオバトル』を含む書評を執筆し、読書活動の研究におけるビブリオバトルの位置付けを考察しました。

常川真央, 「本を通じた人とのつながり」を設計する. 情報管理. 2014, vol.57, no.8, p.596-599.  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/57/8/57\\_596/\\_html/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/57/8/57_596/_html/-char/ja/)

(2) 「ビブリオバトルシンポジウム 2014」学校セッション

「ビブリオバトルシンポジウム 2014」の学校セッションにおいて、コーディネーターを小野永貴氏と共同で務めました。

(3) 「ビブリオバトル春のワークショップ 2014」事例報告

「ビブリオバトル春のワークショップ 2014」の事例報告セッションにおいて、「筑波大学雙峰祭におけるビブリオバトル活動について」という題で発表を行い、筑波大学在学時のビブリオバトル活動について紹介しました。

## 活動報告書

平正人（関東地区）

[taira@koshigaya.bunkyo.ac.jp](mailto:taira@koshigaya.bunkyo.ac.jp)



活動母体：

A 平正人（ビブリオバトル普及委員）

B 文教大学学生サークル《Biblo 文教》（顧問：平正人、学生数 3・4 年生 20 人）

C 教育学部「基礎演習Ⅱ」（担当：平正人、学生数 2 年生 24 人）

講演・実演講座・研修会（活動主体 A・B・C を先頭に表記）

[A・B] 《ビブリオバトル実演講座》(埼玉県立春日部女子高等学校、2014 年 3 月 14 日)

[A] 《普及データからみるビブリオバトル》(埼玉県高等学校進学力パートナーシップ推進事業思考力向上プログラム分科会:埼玉県教育委員会、埼玉会館、2014 年 4 月 30 日)

[A・B] 《ビブリオバトル実演講座》(埼玉県立越ヶ谷高等学校、2014 年 6 月 25 日)

[A・B] 《埼玉県春日部地区高等学校学校司書ビブリオバトル研修会》(文教大学、2014 年 7 月 25 日、参加校:春日部高校、春日部女子高校、春日部東高校、春日部工業高校、庄和高校、杉戸高校、杉戸農業高校、宮代高校、蓮田松韻高校、白岡高校)

[A] 《彩の国 高校生ビブリオバトル 2014 参加校研究会》(埼玉会館 5B 会議室、2014 年 9 月 22 日)

[A] 《ビブリオバトル公式ルール 「簡潔さ」の哲学》(埼玉県高等学校図書館研究会司書部会研究集会・分科会、さいたま文学館、2014 年 10 月 31 日)

運営サポート（活動主体 A・B・C を先頭に表記）

[B] 《第 1 回 ビブリオバトル・ひまわり杯》(埼玉県立春日部女子高等学校、2014 年 4 月 9 日-10 日[予選会]、6 月 21 日)

[B] 《彩の国 高校生ビブリオバトル 2014》(埼玉県立越ヶ谷高等学校、2014 年 9 月 11 日[クラス予選会]・18 日[学年代表決定戦])

[B] 《彩の国 高校生ビブリオバトル 2014》(さいたま文学館・桶川市民ホール、2014 年 10 月 4 日)

[B] 《緑っ子ビブリオバトル》(福島県郡山市立緑ヶ丘第一小学校、2014 年 11 月 19 日-20 日)

[B] 《全国高校ビブリオバトル 2014 関東甲信越大会》(よみうり大手町ホール、2014 年 11 月 23 日)

[C] 《ビブリオバトルで交流しよう》(平成 26 年度越谷市大袋公民館・文教大学共催事業、大袋公民館、2015 年 1 月 31 日)

取材記事【資料1】

『かすかべファミリー新聞』(2014 年 4 月 24 日) \*《第 1 回 ビブリオバトル・ひまわり杯》紹介  
『本を選ぶ 高校図書館版』(第 57 号、ライブラリー・アド・サービス、2014 年 5 月 10 日、4-5 頁)

\* 大学での取り組みを紹介

『朝日新聞』(2014 年 5 月 24 日) \* 大学での取り組みを紹介

『福島民報』(2014 年 11 月 21 日) \*《緑っ子ビブリオバトル》紹介

『福島民友』(2014 年 11 月 23 日) \*《緑っ子ビブリオバトル》紹介

『朝日新聞』(2015 年 2 月 1 日) \*《ビブリオバトルで交流しよう》紹介

『東武よみうり新聞』(2015 年) \*《ビブリオバトルで交流しよう》紹介

活動記録

「もうひとつのビブリオバトル」『SALA 会報』第 22 号、埼玉県大学・短期大学図書館協議会、2014 年 3 月 31 日、2-3 頁。

「ビブリオバトル公式ルール 『簡潔さ』の哲学」『ぶっくふれんど』第 40 号、埼玉県高等学校図書館研究会司書部会、2015 年 1 月、10-14 頁。



## 2014年度 ビブリオバトル活動報告



市川紀子（関東地区）  
ビブリオバトル in 有隣堂  
古民家×ビブリオバトル  
yurinbiblio@yurindo.co.jp

### <自己紹介>

神奈川県在住。勤務先の書店・(株)有隣堂主催「ビブリオバトル in 有隣堂」を定期開催するとともに、普及委員として講師や開催支援活動を行っています。

福岡県の仲間と「古民家×ビブリオバトル」に携わるなど、旅好きお酒好きが高じ、神奈川県にとどまらず、各地のグルメや名所を訪れ湯につかり地元の人たちと大いに楽しんでいます。ビブリオバトルには懇親会こそが命。のんびり本や作家、そこから派生するあらゆる話題を心ゆくまで楽しむのが知的大人遊戯。ビブリオバトルそのものにこだわるより、本を通し出逢うご縁、そこから深まり広がる知的文化発掘ムーブメントに可能性を見出しています。

### <ビブリオバトル略歴>

2012年 身内グループでのビブリオバトル開始。「古民家×ビブリオバトル」結成  
ビブリオバトル普及委員会入会

2013年 「ビブリオバトル in 有隣堂」開始。ラジオや地元TV等メディアで紹介される

2014年 各地での講師活動が増加。横浜市「読書活動推進に関する条例」施行を受け神奈川県や横浜市との協働活動を本格化。新企画のチャレンジ年

2015年 「ゆうりんタイムズ」創刊。次なる野望へ



### <2014年度の主な活動> ※明細別紙

#### 1：有隣堂主催

神奈川県教育委員会後援。店舗所在地を会場とするベーシックなビブリオバトルの定期開催を続ける一方、異素材との組合せや地元企業ご当地モノに焦点を当て地域交流促進・経済活性化への貢献を目的とした新企画を開発・実施中。

◆最新の開催情報→ <http://www.yurindo.co.jp/storeguide/24993?cat=event>



#### 2：有隣堂協力開催

横浜市教育委員会や市内の各図書館、学校からの依頼を受け協力事業を行う。

朝日おかあさん新聞コラボ「ビブリオバトル in 朝小サマースクール」が大好評



#### 3：普及委員個人

主に図書館におけるワークショップ講師として活動中。

活動報告書

【2014 年度活動明細】 2014.4 月～2015.3 月

有隣堂主催		協力開催 ★=講師 ●=司会 ◇補助	
月日	テーマ・【特別企画】	月日	内容
4/20	親心を感じる本・こども心を感じる本	6/1	◇横浜開港祭 主催：横浜青年会議所
5/6	読むと元気が湧いてくる本	8/21	●お母さんのためのビブリオバトル 「10年経っても大好きな本」 朝日おかあさん新聞10周年記念 主催：朝日おかあさん新聞
7/6	熱いぜ！スポーツ		
8/24	真夏の夜に読みたい怪談 【第2部 加門七海&東雅夫ミニトーク】	9/23	★初心者向け体験ワークショップ 主催：横浜市山内図書館
9/28	お洒落なカフェで読みたい本 【カフェ ハーバーズムーン ケーキ付】	9/29	★小田原小中学校司書研修 主催：有隣堂
10/18	モノがたり～本に登場する文房具 【第2部 おすすめ新作文房具プレゼンバトル／東京カルチャーカルチャー】	11/2	★横浜読書百貨展 パシフィコ横浜 図書館総合展フォーラム 主催：横浜市教育委員会
11/18	小田原を訪れるなら読んでおきたい本 【第2部 小田原ご当地自慢】	11/4	★図書館×まちの未来を語ろう 図書館総合展@神奈川県立図書館
11/29	全国大学・関東E地区決戦	11/18	●読書活動推進月間 主催：戸塚区役所
12/17	まち【第2部 未来の図書館対談 @山内図書館】	11/25	★中区教育研究会 主催：図書館教育研究部主任会
2/15	町の本屋さんで買った掘り出し本 【第2部 「本屋会議」刊行記念 やっぱり、町には本屋さんが必要で談義】	12/13	ビブリオバトル・シンポジウム2014 主催：ビブリオバトル普及委員会 【パネル司会・コーディネート】
3/15	YBC杯2014 炎のグランドチャンピオンバトル	2/21	●栄区青少年読書推進フォーラム 主催：栄区役所
3/22	YBC杯2014 怒濤のグランドチャンピオンバトル		

普及委員個人扱い 講師活動

- 8/8 初心者向けビブリオバトルワークショップ 主催：大和市立図書館
- 10/29 もっと活用したい人のためのビブリオバトル 中級講座 主催：日比谷図書館文化館  
・講師：亀山綾乃さん、瀬部貴行さん、市川
- 1/17 ビブリオバトル&本棚編集ワークショップ 主催：幕別町図書館  
・講師：太田剛さん（本棚編集）、市川（ビブリオバトル）
- 1/19 ビブリオバトル体験講座 主催：帯広市図書館

以上

滝直哉（関東地区）  
SF 文学振興会 ([www.201sfstart.jp](http://www.201sfstart.jp))



サマリー

2014 年の活動のメインは、月例ビブリオバトル SF 大会での企画実施でした。

子どもに SF を読んでもらいたい、ということで活動している SF 文学振興会ですが、当初行ってきた、「SF の本を贈る」という活動から、「ビブリオバトルを通じて SF の面白さを知ってもらおう」という活動に中心を移してきています。行っているビブリオバトルは、月例のビブリオバトルと、SF 関係イベントでのビブリオバトルという 2 本柱。まずは、ビブリオバトルを楽しんでもらい、そこで紹介された SF に親しんでもらおう、という活動は道半ばどころか、まだ踏み出したばかり、ですが、とにかく地道に続けていくことが大事、ということで今後も続けていく予定です。

月例ビブリオバトル

- 日比谷図書館をベースに、月例のビブリオバトルを実施しました。  
人数は、それぞれですが、徐々に常連的にいらっしゃる方も増えてきたかと感じています。

SF イベントにおけるビブリオバトルの実施

- 2014/4/13 はるこん 2015 における、ビブリオバトルの実施  
はるこんは、関東近郊を会場に毎年行われている SF ファンによるイベントです。2013 年の続いて、2014 年もビブリオバトル、今年もはるこん参加者からの当日参加を得て、のゲームを実施しました。
- 2014/7/19 第 53 回日本 SF 大会 なつこん におけるビブリオバトルの実施  
SF 大会は、日本最大の SF ファンによるイベントです。1962 年の第 1 回から数えて、53 回目の今年は、つくばを会場に 2 日間の日程で行われました。今回は、初めての試みとして、ワークショップ形式でのビブリオバトルを行いました。多くの方の参加をいただいたものの、準備不足は否めず、この点は次回への反省点です。

着物でビブリアバトル

関東地区普及委員の雨宮智花です。

可愛くておしゃれなビブリアバトルを楽しみたいと、2013年にゆくりと始めました。  
ルールは公式ルールのままですが、ゲームはゆくり進みます。

着物でビブリアバトルは"奈良生まれ"です。「奈良きもの日和」という団体があります。  
奈良の町を着物で歩こうと、イベントを通した町づくりを提供しています。  
奈良きもの日和に集まる着物好きさんに支えられ、のんびりと奈良や京都で開催しています。

さて着物でビブリアバトルには、簡単な所作がございます。

- 1、発表者さんは着物で参加  
(自由な着物スタイルでOK)
- 2、観覧者さんは着物でなくても良い  
(着物初心者さんも大歓迎)
- 2、その土地の美味しい物をちょっと食べる  
(みんなで感想を話す楽しい時間)



2014年の開催は、12/21【第3回 着物でビブリアバトル@奈良】でした。場所はカフェにこちゃん堂。町家をイノベーションしたカフェです。「キモノお譲り会」と言うイベントの中のプログラムのひとつでビブリアバトルをしました。発表者さんは5名。普及委員のふしみの益井さん、東京から花岡さんも参加して下さいました。ありがとうございます。また観覧者は19名でした。当日はほんわかした雰囲気の中で進み、観覧者ほとんどビブリアバトルを知らない方ばかりでしたが、真剣に聞いて下さる方も多く、なかなか楽しい会になりました。

最後に...  
ビブリアバトルにお着物や浴衣で参加する方が増えたらいいなあと、ちゃっかり夢なんぞ見ております(笑。これからも楽しみながら続けていきたいです。

着物でビブリアバトル Twitter  
[http://twitter.com/kimono\\_biblio](http://twitter.com/kimono_biblio)

## 関内○四五フォーラムvol.8 Y155杯 横濱的ビブリアバトル2014.6.1関内大会

枝広昌己(関東地区)  
関内まちづくり振興会  
[jimukyoku@kannai.or.jp](mailto:jimukyoku@kannai.or.jp)



Y155セントラルタウンフィスティバル(5/29~6/1)の関内地区イベントとして開催されました。<http://www.y151-200.com/archive/y155/program/kannai.html>  
横浜の大きなイベントに組み入れてもらったので、横浜にこだわり"横濱"らしい人達をバトラーにむかえて行いました。バトラーの常連さんはもちろん、帽子職人、未来の昭和歌謡の歌姫の原石や横浜でネット放送をされている方なども参戦してもらいました。盛り上がるように、下記のように各バトラーにキャッチフレーズをつけました。

バトラー	本【テーマはフリーです】
平成に生まれた昭和歌謡の歌姫	うたの絵本 5 いつかのゆめ
横浜在住の気ままな帽子屋さん	すてきなぼうし屋さん
ハマの中小企業診断士バトラー	サッカー日本代表の育て方 子供の人生を変える新・育成論
横浜生まれの自称ホンノハシ	ひとりでいらっしやい
tOY(team Open Yokohama)の頭脳地図バトラー	
はまっコストリームの髭のオッサン	愛蔵版 モモ → チャンプ!!

開催日:平成26年6月1日(日) 16:00~

会場:横浜メディアセンター1F 横浜市中区太田町2-23

料金:カンパ制

観客人数:20人程度



☆今回のビブリアバトルは横浜が好きな人ばかりでしたが、本の種類はかぶることなかったし、歌姫は朗読ではなく、歌ってくれたりエンタテインメントなビブリアバトルになりました。次回、開催するときは、告知に時間をかけたいです。会場代をどのように工面するかがこれからの課題ではあります。

※関内○四五フォーラムとは  
今まで関内まちづくり振興会が「関内ナイトフォーラム」として、夜に飲みながら食べながら、関内発信でちょっとした知識を得られるかもしれないイベントを行っていました。(落語・サイエンスカフェ・建築関連・クラブ貸し切りで大人の遊び方・映画上映等)。前回からは昼間も行えるということで、名前を若干変更致しました。

## 大学を中心としたビブリオバトルの開催や研究活動

小野 永貴 (関東地区)

千葉大学アカデミック・リンク・センター,  
筑波大学大学院図書館情報メディア研究科



### 1. ビブリオバトルの開催・運営活動

#### 1.1 千葉大学附属図書館L棟オープニングイベントでの実施

千葉大学附属図書館は、2014年10月1日に改修工事を完了し、本館L棟をリニューアルオープンした。「黙考する図書館」をコンセプトとしたこの建物は、静かに学習が行える静寂閲覧室のほか、リラックスして読書を楽しめるラウンジも提供されている。今回、オープン記念イベントとして、学長や館長らによるセレモニーの後、このラウンジを会場にビブリオバトルを開催した。附属図書館職員のご尽力のもとで準備が進められ、小野は司会を務めた。

- 日時：2014年10月1日(水) 13:30～
- 場所：千葉大学附属図書館L棟1階ラウンジ
- テーマ：新たなL棟で千葉大生に読みふけてほしい本
- バトラー：千葉大学附属図書館職員、千葉大学生協同組合ブックセンター店長、千葉大学附属図書館学生スタッフ ALSA 学生、千葉大学読書サークル学生



図1 告知ポスター



図2 ルール説明の様子



図3 投票時の様子

#### 1.2 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科常川真央さん「博士号取得記念祝賀会」での実施

ビブリオバトルの普及活動に長く尽力されてきた常川真央氏(関東地区・地区担当)が博士号を取得し、大学院を修了されることに伴い、祝賀会が開催された。大学院における最後のバトルとなることを鑑み、祝賀会内のメインイベントとしてビブリオバトルを実施した。小野は司会を務めたほか、バトラーとしても参加した。

- 日時：2014年7月25日(金) 18:15～
- 場所：筑波大学 筑波キャンパス春日エリア 春日食堂
- テーマ：飛び立つ常川くん、もしくはこれからの研究室をつくる学生に必ず読んで欲しい本
- バトラー：常川真央氏、研究指導教員、研究室同期学生(小野)



図4 発表時の様子



図5 表彰式の様子

#### 1.3 筑波大学学園祭企画「近未来図書館これくしょん」での実施

筑波大学宇陀・松村研究室と筑波大学附属図書館は、筑波大学学園祭「雙峰祭」において、5年間にわたり企画を共同出展している。本年も、「近未来図書館これくしょん」と題して、近未来の図書館を志向した展示やイベントを多数実施し、その一環としてビブリオバトルが開催された。研究室の学生によって準備が進められ、小野は企画提案および準備助言にのみ関与した。なお、「近未来図書館これくしょん」は、筑波大学学園祭の企画コンテスト「雙峰祭グランプリ」において最優秀賞を受賞した。

- 日時：2014年11月2日(日) 16:00～
- 場所：筑波大学 中央図書館 集会室



図6 ビブリオバトル実施時の企画会場の様子

## 2. ビブリオバトルに関する学術的活動・講演活動

### 2.1 学会発表・論文執筆等

ビブリオバトルを活用した学校での実践成果について、以下の通り発表や執筆を行った。

- 「プレゼンテーション教育における『ビブリオバトル』を題材とした口頭発表の導入実習」(日本情報科教育学会 第7回全国大会), 2014年7月, 北海道
- 「ビブリオバトルを題材とした情報発信活動の総合演習」(お茶の水女子大学附属高等学校『研究紀要』No.59), p.148~155, 2014年7月

また、「ビブリオバトル・シンポジウム 2014」のパネルディスカッションにて、学校教育セッションのコーディネーターを務め、学校現場での実践状況の情報共有や課題提起を行った。

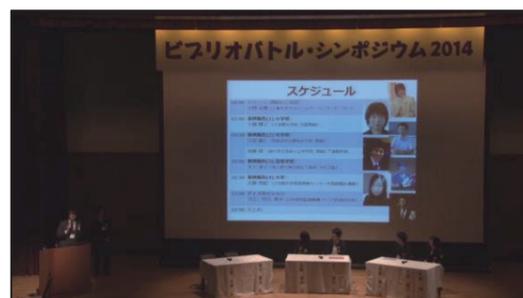


図7 学校教育セッションの様子

### 2.2 招待講演

研修等での講演依頼をうけ、以下の2回について講師を務めた。

- 「グループワーク(ビブリオバトル)の理論と実践」(独立行政法人国立青少年教育振興機構 青少年教育指導者専門研修), 2015年1月, 静岡
- 「ビブリオバトルはなぜ流行っているのか? ~孤読から協読へ、図書館と読書の革命~」(埼玉県立坂戸高等学校 学校進学力パートナーシップ推進事業講演会), 2015年2月, 埼玉



図8 坂戸高等学校での講演会の様子

### 2.3 事例報告

2014年6月14日に札幌エルプラザで開催された「ビブリオバトル春のワークショップ 2014」において、プレゼンテーションを行った。「高等学校情報科でのビブリオバトルの授業実践、および結婚式ビブリオバトルの可能性」と題し、2013年11月16日にお茶の水女子大学附属高等学校第18回公開教育研究会で行った研究授業の事例、および2014年3月30日に実施した自身の結婚披露宴での余興活用事例について、報告を行った。

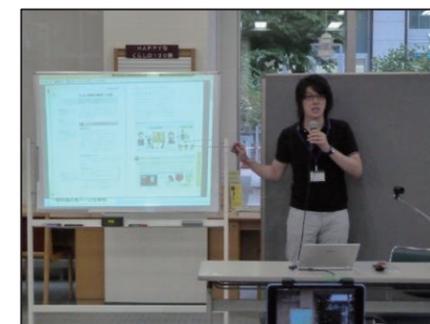


図9 事例報告の発表中の様子

## 「ビブリオバトル普及委員」名称利用申請 活動報告書

氏名 五十嵐孝浩 (関東地区)  
所属 BiblioEi8ht | ビブリオエイト  
連絡先 biblio.ei8ht@icloud.com  
URL <https://biblioEi8ht.wordpress.com/>  
<https://www.facebook.com/BiblioEi8ht>



【今回は 2014 年度分の活動報告で良いと思うのですが、初めての報告なので、活動を開始した 2013 年 6 月頃のビブリオバトルとの出会いから報告します】

私が、ビブリオバトルを知ったのは、文春新書の「ビブリオバトル」を店頭で見たとき、多分 2013 年の 5 月初め頃のことです。

その頃、面白い本を探すヒントとしてのレビューや書評が信じられなくなって、信じられる本のレビューって何だろう？ Amazon のレビューはステマかも知れないし、プロと言われる人の書評には職業人として計算があるような気がする (思い込み)。そもそも本の趣味って人それぞれなのだから、レビューする人の為人が分からなければ信じられないような気がする。だって、[趣味の合う本読みの知人] がオススメする本は信じられる。だったら、もっとそういう信じられるレビューが集まる場所は作れないものだろうか？ と一人で悶々と考えていました。

だからなのか、ビブリオバトルのルールを見たときに「これだ！」と思ったのです。

最初は、考えていた本の紹介の方法として、そして内容を読んだ後は、ゲームそのものの面白さに感動。読み終わる頃には「俺って、これをやるためにこれまで生きてきたのかもしれない」と思ったのです (汗)



そして、世間の開催情報を探す前に、大学時代の知人なら本読みが多いので乗ってくるに違いと想像し、久しぶりの同窓会にかこつけて**生まれて初めてのビブリオバトルを企画・開催・参加、そして発表した**のでした。

それが、下記の**2①2013/6/22 の新宿の居酒屋でのビブリオバトル**でした。

(今思えば、泥ビブがデビュー戦でした。一般開催でのデビュー戦は、6 月 30 日のビブリオバトル講演会で行ったワークショップ形式のものでした)

そのデビュー戦を企画してから開催する間に、普及委員会にアクセス、入会の意志を伝え、面談し、入会が認められたのが、2013 年の 6 月末のことでした。

当初は、地元小学校の PTA に深い関わりを持っていたこともあり、学校、特に小中学校で開催したい、出来れば地元である八王子の小中学校に普及させたいと思っていました。その時には PTA は引退していましたが、まだ OB として所属していた所謂オヤジの会である「オヤジの学校」の協力の下、小学校で開催を目論み、まずは大人の体験として開催したのが、**2③のビブリオバトル模擬戦**です。しかし、実際に学校で企画し、お手紙を配布し、参加者を募集しても応募はゼロ・・・知名度の問題なのか、読書量の問題なのか、原因は分かりませんが、学校はまったく盛り上がりませんでした。

これでは、イカン！とにかく普及させねば！地元で一般開催して知名度を上げ、外堀を埋めてから、学校開催に結びつけよう！と思い、始めたのが、BiblioEi8ht (ビブリオエイト)

の活動でした。

BiblioEi8ht は、小学校での開催には「オヤジの学校」があるけれども、これはあくまでも小学校のオヤジの会。当時、子どもが在学していた中学校には同じようなグループはない。そこで、中学校や一般でのビブリオバトル開催を行うグループとして、BiblioEi8ht を立ち上げたのです (当時は一人)



当初は、八王子での開催を考えていたので、こんな名称にしたのですが、その後、都心部に比べると開催の少ない東京の西部 (市部と言うか多摩地区と言うか、所謂東京都下かな) に開催を増やしていきたいと思うようになり、現在、東京西部のビブリオバトルコミュニティの連携、活性化、普及のために、もう少し活動範囲の広い BWO などという連携団体 (連絡協議会?) を作って、活動していきたい、などと考えています。

なかなか夢の実現には遠いですが、活動開始した当初よりは、かなり開催回数は増えてきていますし、BiblioEi8ht のメンバーも増えていきます (2015 年 3 月時点 5 名) ので、この勢いをもっと強くするよう、BiblioEi8ht として、BWO としてビブリオバトルを普及していきたいと思っています。

それでは、以下に活動記録を、「**1. BiblioEi8ht 主催分**」、「**2. 自主開催、開催協力分**」、「**3. 講師**」に分けて報告致します。

それぞれに印象的な内容について、コメントしています。

### 1. 活動記録 (BiblioEi8ht 主催分)

#### ①ビブリオバトル at 八王北野 vol.1 【入門講座&体験】

【日 時】2014 年 2 月 9 日 [日] 14:00~ 【場 所】北野市民センター7F カルチャールーム  
【参加者】発表 11 名+観戦 3 名=合計 14 名

【内 容】エキシビジョンバトル、ビブリオバトル入門講座、ビブリオバトル実戦

人生初の一般開催。前日に歴史的な大雪が降ってしまい、開催自体を取りやめようか悩むような状況でしたが、そんな夜に参加希望のメールが届き、やらねばならぬ！と降り積もった雪を掻き分けて会場に向かったことを忘れません。

そして、小中高校生が揃ったこと、地元小学校の司書さんがこっそり参加されていたことも、その後も自主開催を続ける原動力となりました。

#### ②ビブリオバトル at 八王北野 vol.2

【日 時】2014 年 4 月 26 日 [土] 13:30~ 【場 所】北野市民センター7F 会議室 1

【参加者】発表 11 名+観戦 8 名=合計 19 名 【内 容】通常バトル

#### ③ビブリオバトル at クリエイトホール vol.1

【日 時】2014 年 8 月 9 日 [土] 13:30~ 【場 所】クリエイイトホール第 5 学習室

【参加者】発表 12 名+観戦 11 名=合計 23 名 【内 容】通常バトル

地元を脱出して、八王子の中心部へ！場所の違いが集客や、客層の違いを産むことを実感しました。

#### ④呑んで語ってビブリオバトル at あな蔵

【日 時】2014 年 9 月 22 日 [月] 19:00~ 【場 所】個室居酒屋あな蔵

【参加者】発表 10 名+観戦 1 名=合計 11 名

【内 容】居酒屋ビブリオバトル、テーマ：あな/充実

一般開催での初の泥ビブ。日時設定が悪いとの御意見も頂く中、お店の人まで巻き込んで楽しく開催しました。

### ⑤史上初！ダブルバウト・ビブリオバトル at クリエイトホール vol.2

【日 時】2014年10月11日 [土] 13:30～【場 所】クリエイトホール第7学習室  
【参加者】発表13名+観戦9名=合計22名 【内 容】“ダブルバウト・ビブリオバトル”  
イレギュラーなルールによるビブリオバトルを開催。「2冊の発表を義務づけた」も  
のです。基本的にビブリオバトルは1冊(作品)を発表するものですが、複数の作品  
が関係し合っただけで読書がより楽しくなることを実感していましたので、実験的に開催。  
でも、予想以上の反響でとてもビックリでした。

### ⑥ビブリオバトル at ものづくりカフェ [和RK]

【日 時】2014年11月8日 [土] 16:00～【場 所】ものづくりカフェ [和RK] (ワーク)  
【参加者】発表7名+観戦5名=合計12名 【内 容】テーマ：和/西

### ⑦ビブリオバトル・チャンプ大会 at クリエイトホール vol.3

【日 時】2014年12月20日 [土] 13:10～【場 所】クリエイトホール第7学習室  
【参加者】発表13名+観戦8名=合計21名  
【内 容】チャンプ大会およびタイトルマッチ

そもそも8月から毎月開催を頑張ってきたのは、この日  
のため。チャンプ大会を行うためにはチャンプが沢山いな  
いと開催できない(参加できない方もいらっしゃるの)、  
と思ってチャンプを増やしてきたのですが、なんと蓋を開  
けてみればチャンプは全員参加！嬉しくて舞い上がりそ  
うでした。そして、更に楽しんでもらおうと、発表者の登場に合わせてテーマ曲の演  
奏、そして、チャンプバトル、グランドチャンプバトルを勝ち抜いた13名の頂点のバ  
トラーには、世界初の「チャンピオンベルト」を巻いてもらうことにしました！

4時間近い長丁場のイベントとなりましたが、参加者の皆さんには喜んで頂けたよう  
で、1年間の主催の苦勞が報われる思いでした。  
御参加頂いた皆様、ありがとうございました。



### ⑧ビブリオバトル at 八王北野 vol.3

【日 時】2015年1月31日 [土] 14:00～【場 所】北野市民センター7F 会議室1  
【参加者】発表11名+観戦4名=合計15名 【内 容】通常バトル

## 2. 活動記録 (自主開催、開催協力分)

### ①ビブリオバトル at おだいどこ新宿東口店

【日 時】2013年6月22日 [土] 18:00～【場 所】居酒屋「おだいどこ」新宿東口店  
【参加者】発表8名+観戦4名くらい 【内 容】通常バトル  
個室が取れず、普通のテーブルだったので慌ただしい感じでした。

### ②ビブリオバトル at 社内勉強会

【日 時】2013年7月11日 [木] 12:10～【場 所】某社会議室  
【参加者】発表4名+観戦4名くらい 【内 容】通常バトル  
昼休みに読書会的勉強を開催しているグループに入っていたので、そこで紹介して  
開催。なかなか好評でしたが・・・

### ③ビブリオバトル模擬戦 at 由井第一小学校

【日 時】2013年7月21日 [日] 15:30～【場 所】由井第一小学校音楽室  
【参加者】発表6名(教師1名含)+観戦6名くらい(児童含) 【内 容】通常バトル  
【主 催】由井第一小学校「オヤジの学校」  
授業で開催経験のある先生と保護者による「ビブリオバトルってどんなもの」かを  
知るためのエキシビション。ビブリオバトル解説も行いました。ここでは楽しんでも  
らえたい好評でしたが・・・難しいものですね。

### ④ビブリオバトル at 職場 (有志)

【日 時】2013年10月24日 [木] 12:10～【場 所】某社会議スペース  
【参加者】発表2名+観戦3名 【内 容】通常バトル  
2回目の職場バトル。参加者は寂しい限り・・・でも、私以外のもう一人の発表者は、  
その後BiblioEi8htに頻繁に参加、先日、普及委員会にも入会しました。

### ⑤ビブリオバトル at 八王子中央図書館

【日 時】2013年11月17日 [日] 13:00～【場 所】八王子中央図書館おはなしの部屋  
【参加者】発表7名+観戦 名くらい  
【主 催】八王子子ども文庫連絡協議会 【内 容】テーマ：子どもの本  
初めての一般開催での司会経験(なのに、某書籍に写真が・・・)  
それ以前に、図書館に開催要望をあげていたことが奏功して実現。思った以上に好  
評で、ここでの繋がりがさらに拡がりを産みました。

### ⑥ビブリオバトル at 土風炉・西新宿

【日 時】2014年6月6日 [金] 21:00～【場 所】居酒屋「土風炉」西新宿7丁目店  
【参加者】発表4名+観戦4名くらい 【内 容】通常バトル  
社内でダメなら呑みなら来るだろうと言うことで開催。当初の場所が使えず放浪する  
など、波乱はありましたが、まずまずの成功でしょうか？次回開催を構想中

### ⑦ビブリオバトル・エキシビション at 由井第一小学校

【日 時】2014年10月28日 [火] 8:00～【場 所】八王子市立由井第一小学校5年1組  
【参加者】発表3名+観戦30名くらい(児童) 【内 容】エキシビション  
【主 催】由井第一小学校司書  
BiblioEi8ht 第1回に参加して頂いた学校司書さんのご尽力で開催。先生、司書、私の  
3人でエキシビションしました。念願の学校ビブリオバトルへ繋げていきたい！

### ⑧ビブリオバトル at 八王子中央図書館

【日 時】2014年11月16日 [日] 13:00～【場 所】八王子中央図書館おはなしの部屋  
【参加者】発表8名+観戦 名くらい 【内 容】テーマ：子どもの本  
【主 催】八王子子ども文庫連絡協議会  
昨年の司会デビューに続いて2回目。図書館開催もボランティア主催ではありますが、  
このまま継続していけると嬉しいです。

## 3. 活動記録 (講師)

以下は講師してお招き頂いたものを中心に自分から説明を開催したものも入れてい  
ます。うまく出来ているのか不安ですが、何よりもその後ビブリオバトルを楽しまれ  
ている方がどのくらいいらっしゃるのか分かれると嬉しいのですが

### ①ビブリオバトル勉強会

【日時】2013年6月12日 [水] 12:10～【場所】社内勉強会  
【内容】ビブリオバトルについての解説  
2②に先だってどういうものを説明。生まれて初めてのビブリオバトルについて  
のプレゼン。この時の資料が今使っているものの原型ですが、ほとんど原型をとどめ  
ていません(汗)

### ②やってみよう！ビブリオバトル (全2回)

【日時】① 2014年6月28日 [土] ② 7月5日 [土] 10:00～【場所】松戸市文化ホール  
【内容】①ビブリオバトル入門講座とワークショップ形式の体験  
②通常バトル

③夏季研修「ビブリオバトルの実際」

【日時】2014年7月30日[水] 13:00～【場所】羽村市立羽村第三中学校

【内容】ビブリオバトルの解説と全員参加での通常バトル

④平成26年度校内研究

【日時】2014年8月29日[金] 13:30～【場所】八王子市立東浅川小学校図書室

【内容】ビブリオバトルの解説と通常バトル

※八王子子ども文庫連絡協議会さんからのご紹介

⑤ビブリオバトルを楽しもう

【日時】2015年2月8日[日] 14:00～【場所】福生市立中央図書館

【内容】ビブリオバトル入門講座とワークショップ形式の体験

※普及委員の粕谷さんとのダブル講師

4. 参加記録

主に発表者として参加したものは、大小合わせて

2013年度 18戦

2014年度 34戦 (3/14現在)

以上、52戦。

この他、観戦のみで参加したものが数回あります。

5. まとめ

以上を下表にまとめます。

種 別	2013年度	2014年度	合 計
BiblioEi8ht 主催	1	7	8
自主開催・開催協力	5	3	8
開催合計	6	10	16
講 師	1	3	4
参 加 (発表)	18	34	52

(2015年3月14日時点)

以上  
2015/3/14

小松雄也(こまつゆうや) 一般社団法人ビブリオポルトス代表理事  
関東地区担当 連絡先: biblioportus.gia@gmail.com  
公式ホームページ: <http://komatsu16yuya.wix.com/biblioportus>



◆学歴及び受賞歴等

2006年 川崎市立西中原中学校卒業。

2009年 日本大学高等学校卒業。

カナダ・バンクーバー留学。

2012年 明治大学法学部法律学科入学。

2013年 ビブリオバトル首都決戦2013 ファイナリスト。

2014年 明治大学法学部学部長表彰 学術活動優秀者。

一般社団法人ビブリオポルトスを設立し、同代表理事。

明治大学創立者記念奨学金 岸本辰雄奨学金 首席採用。

2015年 ビブリオバトル普及委員会関東地区担当者。

■実務経歴

東京都と東京都教育委員会が主催した書評の全国大会「ビブリオバトル首都決戦2013」において、三島由紀夫の著作である「葉隠入門」を紹介し、783人の参加者の中で最終5人のファイナリストとなった。

2014年には川崎市立中原図書館の後援を受け、ビブリオバトル入門&体験講座という形式で川崎市民を対象にしたイベントを開催。市民参加型のワークショップが好評を博し、川崎市の中原区・多摩区・宮前区・麻生区の市立図書館と市民館から要望を受けて実施。東京都の市立中学校をはじめ、川崎市立井田病院、川崎市岡本太郎美術館、富士通株式会社の社内プログラム・富士通アトリエプロジェクトにおいても実施した。

2014年9月、読書を通じた世代間の交流・地域活性化やプレゼンテーション教育へと本格的に取り組むため、一般社団法人ビブリオポルトスを設立。法人名はラテン語で「本の港」を意味する。

2015年に日本出版販売株式会社・アメリカ大使館アメリカンセンターJapan・明治大学地域産学連携研究センター・川崎市教育委員会等の機関と共同事業を行い、読書普及活動に力を入れている。

TARO本で語ろう! 岡本太郎美術館ビブリオバトル  
(2014年11月3日) 70人参加 共催:川崎市立多摩図書館  
主催:川崎市岡本太郎美術館 実施:一般社団法人ビブリオポルトス





「聖地」に足を踏み入れました！



和田浩二(関東地区)

03-3217-1486

080-2180-1155

#### □全国大学ビブリオバトル「京都決戦」

昨年は、ビブリオ三昧の1年でした。東京都から大学生大会「首都決戦」の主催者が、読売が主管する活字文化推進会議に移りました。2010年、第1回首都決戦の創設に携わりましたが、2～4回大会は、東京都からの要請で後援に回り、いくつかの地区決戦を主催するだけで、いわば気楽な立場でした。4年ぶりに主催者に復帰し、参加団体が大幅に増え、東京国際フォーラムで開催した第1回に比べると、大会のスケールが段違いに大きくなっていることに気づかされました。さらに「記念すべき5回目、東京都の手を離れたこともあるし、今年は発祥の地、京都大学で開催しよう」という思いつきが、自分で自分の首を絞める結果となりました。予選を開催していただいた大学、公共図書館、普及委員会の皆様には、いろいろとご迷惑をお掛けすることになってしまいましたが、皆様方のバックアップを受けて無事に開催することができたと痛感しています。今年は2年ぶりに「首都決戦」になる予定です。ちなみに読売での本業は、読売が行っている大学への寄付講座業務で、時間が余ると、ビブリオバトルの説明で強引に時間を潰しておりますが、先生方には好評です。

#### □全国高校ビブリオバトル2014

昨年から全国大会化した高校生大会については、7月から始まった9つの地区大会から1月11日によみうり大手町ホールで開催された決勝大会まで、企画、運営に携わりました。なかなか参加校が集まらず、苦心した地区もあります。大会終了後、発表者、見学の生徒、引率の先生方をお招きして、ささやかな懇親会を開催するのですが、どこの大会でも、本の話、学校の話で高校生たちの話がいつまでもつきません。「本を通じて人を知る、ビブリオバトルの威力はスゴイ！」と、痛感させられる瞬間です。もう一つ、この大会を創設したことで、ビブリオバトルが生まれた京都大学工学部の旧片井研究室を訪問する機会を得ました。大会の告知を兼ねた特集紙面を制作するにあたって、谷口代表、高校生2人、大阪女学院高校国語科教諭を囲んだ座談会を企画しました。このとき、東京から連れて行った男子高校生が「ここでビブリオバトルが生まれたんですねえ～」と感慨深げにつぶやいていたことが忘れられません。できれば、ここで高校生大会の決勝を開催できたら、というのが今の私の願望です。(20人位しか観戦できませんが)。

## 東京都練馬区立南田中図書館 2014 年度実施報告

白木 順子  
(関東地区)

1 回目:10月1日 「学校司書研修」(ビブリオバトルに挑戦)にて実施

参加者:23名(学校司書 17名・児童担当 4名) 発表者:学校司書 4名

内容:学校の授業等でも実施されるようになってきたため、発表者として観戦者としての導入として実施した。ビブリオバトルとは何か?の説明から、司会役と発表者・観戦者としての全体の流れを通して学びあった。多数が初参加だったが、若い司書パワー炸裂で紹介していたのが印象的で、大いに楽しめた。

2 回目:3月7日 「第3回青少年ビブリオバトル In みなみたなか」

参加者:23名(中学生8名・大人 15名) 発表者:中学生 4名

内容:3回目を迎えた中学生大会。今回は中学1年生が2名参加だった。自分の興味のある分野や、生き方に役立っている本を紹介しており、聴く者を魅了していた。チャンプ本も決戦のうちに決まった。今回はその後(約1時間)、歓談の時間を設けたが、予想以上の好評だった。世代の違う参加者が本を介して会話が広がり興味深かったと感想を頂いた。  
また、以前は発表者だった生徒が今回は観戦者になり、逆に緊張したと興奮気味だった。また外部から来た中学生が、次回は発表してみたいと述べてくれ、継続への第一歩になった。

\*今年度は、外部開催にもお誘いいただき参加し、研究授業(小学校)の参観もでき、学ぶことが多かった。

また、前年度はこちらでお膳立てした中学校の図書委員会でも、今年度は自主的に2回開催でき生徒力に感心したし、感謝の気持ちで一杯だ。

## 2014年度 ビブリオバトル活動報告

粕谷亮美（関東地区）  
宅配書店「サンタポスト」主宰  
E-mail:santa-biblio@outlook.jp



児童書『ビブリオバトルを楽しもう』（さ・え・ら書房 2014年3月発売）の執筆のため各地取材したことがきっかけでビブリオバトル普及委員になる。

6/15の第四回ビブリオバトル普及委員会総会にて理事就任。

### ● ビブリオバトル開催

2014年

6/14 ものづくりカフェ和R Kにて

（参加者18名・バトラー8名／2回戦）

11/24 国分寺ブックフェスティバル

（来場者 約300名 バトラー14名／3回戦）

2015年

2/22 国分寺ブックタウンプロジェクト内ビブリオバトル（参加者10名）

3/29（予定）goto.Room18%「妖怪な本屋」ビブリオバトル



### ● ビブリオバトルセミナー・イベント

2014年

5/19 トーハン主催（本社）ビブリオバトルセミナー講師

（参加者100名）

5/20 トーハン主催（船堀会場） 同 セミナー講師

（参加者20名）

6/11 江戸川区北小岩小学校5年生ビブリオバトル授業

講評（区内の教師約40名参加）

7/4 東京ブックフェア会場内ブースにてビブリオバトル 司会

8/1 新座子育てネットワーク 子どもビブリオバトル見学

8/17 静岡市立北部図書館 ビブリオバトルセミナー講師（参加者約50名）

8/25 児童書連絡協議会 ビブリオバトル講師（参加者約30名）

9/6 新座子育てネットワーク 子どもビブリオバトル報告会 講演（参加者約50名）

9/26 豊島区中央図書館 職員研修 講師（参加者37名）



9/28 東京都高校生書評合戦首都大会予選会 講評

11/12 武蔵野市立境南小学校 教師向けセミナー講師（参加者15名）

11/15 東京都高校生書評合戦首都大会決勝 講評

12/3 練馬区光が丘図書館 教師・図書館員向けセミナー（参加者15名）

2015年

1/11 全国高校生大会ビブリオバトル 予選・司会

2/8 福生市立中央図書館

ビブリオバトルワークショップ講師（参加者20名）



### ● ビブリオバトル参加

2014年

4/26 ビブリオエイト主宰ビブリオバトル（バトラー）

5/6 有隣堂主催ビブリオバトル（観戦）

6/1 ビブリオポルトス主宰ビブリオバトル（バトラー）

9/22 ビブリオエイト主宰 居酒屋ビブリオバトル（バトラー）

10/23 日比谷図書館「もっと活用したいためのセミナー」（参加）

11/29 東京駅美術館ビブリオバトル（観戦）

12/14 ビブリオバトルシンポジウム（参加）

12/15 全国大学ビブリオバトル（観戦）

12/20 ビブリオエイトチャンプ本大会（バトラー）

2015年

1/31 ビブリオエイト主宰ビブリオバトル（バトラー）

2/7 小金井図書館貫井分室ビブリオバトル（観戦）

## 図書館非常勤職員の皆様とのビブリオバトル

高田 理恵(関東地区)



2014.12.15 に、図書館の非常勤職員の方々に向けて、ビブリオバトル講座をおこないました。

参加された皆さんがビブリオバトル初体験。

さらに、半数以上がビブリオバトルというゲーム自体をご存じないということもあり、2 パターンのビブリオバトルをおこないました。

講座進行内容は、

まず 1人 1分間の自己紹介をおこない、各人緊張を解くことから始めました。

次に、ルール説明とビブリオバトルの趣旨(コミュニケーションゲームであり、勤務する図書館でビブリオバトル開催することで「何」を達成したいのか目的を持つことが大事)を説明しました。

参加者が 11名だったこともあり、1回戦目は、小人数でかつ全員がバトラー参加をおこなうコミュニティ型ビブリオバトルを開催。2回戦目に各班でのチャンプが、全員の前で発表をおこなうイベント型ビブリオバトルの2パターンのビブリオバトルをおこないました。

最後は、チャンプ本に選ばれた方と参加者数名から感想を頂きました。

<1回戦目:コミュニティ型ビブリオバトル>

参加者 11名と私を入れて計 12名。4名×3グループに分かれてビブリオバトルをおこないました。発表者は円を作り、全員が発表する形です

テーマ:みんなに紹介したい1冊 発表本/著者/出版者 ☆はチャンプ本

【Aグループ】

☆弱いロボット/岡田 美智男/医学書院

とっぴんぱらりの風太郎/万城目 学/文芸春秋

いろいろへんないろのはじまり/アーノルド・ローベル/富山房

ヒツジのおくりもの/宇土 卷子/沼野 正子/福音館書店

【Bグループ】

☆歴史を変えた火山噴火/石 弘之/刀水書房

空色勾玉/荻原 規子/徳間書店/

星に願いを/庄野 潤三/講談社

華氏451度 新訳版/レイ・ブラッドベリ/伊藤 典夫(訳)/早川書房

【Cグループ】

☆ひとりひとりの味/平松 洋子/100%ORANGE 装画・挿画/理論社

☆ぼくは「つばめ」のデザイナー/水戸岡 鋭治/講談社

希望名人ゲーテと絶望名人カフカの対話』/ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ フラン

ツ・カフカ/ 頭木 弘樹(編訳)/飛鳥新社

岡潔集 第3巻/岡 潔/学術出版会

<2回戦目:イベント型ビブリオバトル>

1回戦目で、各グループのチャンプ本発表者によるビブリオバトル。

Cグループより、チャンプ本が2冊出たので計4名による開催です。

テーマ:みんなに紹介したい1冊 発表本/著者/出版者 ☆はチャンプ本

弱いロボット/岡田 美智男/医学書院

歴史を変えた火山噴火/石 弘之/刀水書房

ひとりひとりの味/平松 洋子/100%ORANGE 装画・挿画/理論社

☆ぼくは「つばめ」のデザイナー/水戸岡 鋭治/講談社

終了後は、参加者何名かに感想を頂きました。

・バトルと聞いて、本で何を戦う?と置いていたけれど、とても楽しかった。

・初挑戦でしたが、緊張以上に楽しかった …など、全会一致で「楽しかった!」という感想でした。

私個人の感想は、皆さん発表本への想いがとても強く、本に対する思いを聞くことで発表後は初対面なのに昔からの知り合いみたいに打ち解けることができました。

願わくば、第2回の開催!

そして、図書館事業としての開催に繋がりますように。

<2014 年活動実績>

上村祐子

[y.uemura.brisalibreria@gmail.com](mailto:y.uemura.brisalibreria@gmail.com)

<活動内容>

2013年より、南青山 brisa libreria(ブックカフェ)にてビブリオバトルを開催してまいりました。関東地区亀山さんにサポートして頂き、毎回テーマを決め 1 時間ビブリオバトルについてのワークショップ+全員発表者形式のビブリオバトルを開催しています。

2015 年は、開催できておりませんが新たな形で企画していきたいと思っております。

<2014 年の活動実績>

- 2014 年 1 月 18 日 テーマ「生きる」
  - 2014 年 3 月 1 日 テーマ「出逢い」
  - 2014 年 4 月 12 日 テーマ「成長」
  - 2014 年 6 月 14 日 テーマ「学び」
  - 2014 年 7 月 6 日 テーマ「初恋」
  - 2014 年 9 月 6 日 テーマ「家族」
  - 2014 年 10 月 4 日 テーマ「仕事」
- 各回 4 名～15 名で、開催いたしました。

<http://brisa-plus.com/libreriaaoyama/event/category/bibliobattle>

以上

ビブリオバトル普及委員 活動報告書

坂本純子(関東地区)

〒352-0017 埼玉県新座市菅沢 1-4-5-2F

NPO 法人新座子育てネットワーク

office@ccn01.mygbiz.com TEL0418-482-5732

<http://www.ccn.niiza-ksdt.com/>



普及委員としての活動

●「本と遊ぼう子どもビブリオバトル応援団」事業 主催



埼玉県新座市における子どもの読書の推進活動としてのビブリオバトルの地域普及を目指し、NPO 法人新座子育てネットワークが事業計画を 2014 年に立案。推進に向け、国立青少年教育振興機構「子ども夢基金助成活動」助成申請を行い採択され、教育委員会・中央図書館の後援・協力を得て、



市内児童センター2 館、子育て支援センター、つどいの広場、親子のフリースペース等で、広くビブリオバトルを開催した。

ビブリオバトルの実施に先立ち、図書館職員や読み聞かせボランティア、地元大学教員など読書推進に関わる立場の者を対象にフォーラムを開催し、ビブリオバトルについて体験学習する機会を設け、開催計画を立案するワークショップなども行った。このほか、新座市教育委員会校長会議や図書主任研修会、図書館ボランティア・子どもの読書応援サポーター全体会議などにも出向き、ビブリオバトルを解説する機会を設けた。



7・8 月の 2 ヶ月間で、新座市内において児童と乳幼児親子が参加するビブリオバトルを 10 回主催。その模様は、ブログ



<http://www.niizabibliobattle.blogspot.jp/> で随時発信するとともに、広報紙を発行し、市内教育機関/図書館/公民館等に配布した。

一連の事業報告会を 9 月に開催し、地域におけるビブリオバトルの普及と定着を図った。



ビブリオバトルへの参加

●2013年11月30日 新座市中央公民館主催ビブリオバトル初のビブリオバトル体験。パトラー参加。紹介本:「絶叫委員会」穂村弘(ちくま文庫)  
※NPO 法人新座子育てネットワークの若手スタッフ5名とともにパトラーとして参加。

●2014年1月15日、ハンガアウトでビブリオバトル#2インターネットのビデオ通話、Google ハンガアウトを使ったビブリオバトル。その後、参加を重ねる。  
パトラー参加。紹介本:「三匹のおっさん」:有川浩(文藝春秋)



●2014年9月2日ビブリオバトル@HUG〜サングリアを飲みながら乳幼児親子のフリースペースHUGで開催されたサングリアを飲みながらのビブリオバトルに、パトラー参加。紹介本:「フェルメールの食卓 暮らしとレシピ」林綾野(講談社)

●ビブリオバトルシンポジウム2014 参加

「本と遊ぼう子どもビブリオバトル応援団」事業についてポスター発表

●埼玉県社会教育委員会・新座市社会教育委員会・新座市図書館協議会

委員を務める上記委員会において、ビブリオバトルを紹介するとともに、「本と遊ぼう子どもビブリオバトル応援団」事業について情報提供し、埼玉県内におけるビブリオバトルの普及を提案。

ビブリオバトル活動報告書  
～東京ビブリオバトル・バイリンガル、Yokohama Book Cafe～ビブリオバトルxワールドカフェ～

大嶋友秀（関東地区）  
tommy@speaking-essay.com  
090-1255-6064



1. 東京ビブリオバトル・バイリンガル

この活動は、はじめ英語のビブリオバトルを実施することで、6月にはじめた。4回目から、日本語と英語の両言語を実施するバイリンガル方式で開催している。それぞれ1試合、合計2試合を実施している。

※印は、チャンプ本を示す。

●第1回ビブリオバトル・イン・イングリッシュ

日時：2014年6月26日19:30 - 21:00

【英語】

- ※『アドルフに告ぐ』手塚治虫作、文藝春秋
- 『ソウル・オブ・マネー』牧野内大史、ヒカルランド
- “OUT” Natsuno Kirino, Vintage

参加者：10人

場所：スピーキングエッセイミーティングオフィス（神保町）

●第2回ビブリオバトル・イン・イングリッシュ

日時：2014年7月3日19:30 - 21:00

【英語】

- 『99%ありがとう』藤田正裕著、ポプラ社
- 『スティーブ・ジョブズ』ヤマザキマリ作、講談社
- ※『飛ぶ教室』エーリッヒ＝ケストナー作、山口四郎訳、滝平加根絵、講談社青い鳥文庫
- 『アウトプット速読法』小田全宏著、ソフトバンククリエイティブ
- 『佐藤可士和のクリエイティブシンキング』佐藤可士和著、日本経済新聞出版社

参加者：7名参加

発表者：5名

場所：スピーキングエッセイミーティングオフィス（神保町）

●第3回台風のために開催できず！

●第4回東京ビブリオバトル・バイリンガル（名称決定）

日時：2014年7月25日19:00 - 21:00

【英語】

- “Calling The Circle” Christina Baldwin, Bantam New Age Books
- ※“Red Planet” Robert Heinlein, Del Rey
- “Physical Chess” Billy Robinson, ECW Press
- “Pride and Prejudice” Jane Austen,
- 『「幸せをお金で買う」5つの授業』エリザベス・タン/マイケル・ノートン著、中経出版

【日本語】

- 『流星ひとつ』沢木耕太郎著、新潮社
- 『野火』大岡昇平著、新潮文庫
- 『絵はがきにされた少年』藤原 章生著、集英社文庫
- ※『高校生の現代思想 ちくま論評選』岩間 輝生（編集）、佐藤 和夫（編集）、坂口 浩一（編集）、筑摩書房

参加者：12名

発表者：9名

場所：慶應MCC（丸の内シティキャンパス）

●第5回東京ビブリオバトル・バイリンガル

日時：2014年8月27日19:00 - 21:00

【英語】

- “Hooker”
- ※“Fortunately, the Milk” Neil Gaiman, HarperCollins
- 『きことわ』朝吹真理子著、新潮文庫
- 『嫌われる勇氣』岸見一郎、古賀史健著、ダイヤモンド社
- 『あなたが世界を変える日』セヴァン・カリス＝スズキ著、筑摩書房

【日本語】

- 『誘惑論・実践編』大浦康介著、晃洋書房
- ※『なせ宇宙人は地球に来ないのか』松尾貴史著、PHP新書
- 『鉄人ルー・テース自伝』講談社+α文庫
- “The 4-Hour Cheff” Timothy Ferriss, Amazon Publishing

参加者：8名

発表者：7名

場所：慶應MCC

●第6回東京ビブリオバトル・バイリンガル

日時：2014年10月10日19:00 - 21:00

【英語】

- “The Art of Matrix” Wachowski, Newmarket Press
- ※“National Geographic ~Archive Books”
- 【日本語】
- 『おきやく、おことわり？』ポニー・ベッカー（文）、ケイディ・マクドナルド：デントン（絵）横山和江（訳）、岩崎書店
- 『地球の宝石』B・Tグリーヴx岩合光昭、竹書房
- ※『哲学ディベート～<倫理>を<論理>する』高橋昌一郎著、Kindle
- 『もうすぐ絶滅するという紙の書物について』ウンベルト・エーコ、ジョン＝クロード・カリエール著、工藤妙子訳、阪急コミュニケーションズ

参加者：7名  
発表者：6名  
場所：慶應MCC（丸の内シティキャンパス）

●第7回東京ビブリオバトル・バイリンガル

日時：2014年12月2日19:00 - 21:00

【英語】

※“Star Wars 英和辞典”学研辞書編集部、学研

『売れるデザインのしくみ』ウジトモコ著、ビーエヌエヌ新社

“Rippling” Beverly Schwartz, Jossey-Bass

『自分の小さな箱から脱出する方法』アービンジャー インスティテュート（著）、金森 重樹（訳）、富永 星（訳）、大和書房

“the Can of the Cave Bear”

【日本語】

『聖の青春』大崎喜生著、講談社文庫

『人に強くなる極意』佐藤優著、青春出版社

『江戸切絵図散歩』池波正太郎著、新潮文庫

※『京都花街の経営学』西尾久美子著、東洋経済新報社

『U理論入門』中土井僚著、PHP研究所

参加者：17名

発表者：9名

場所：慶應MCC（丸の内シティキャンパス）

●第8回東京ビブリオバトル・バイリンガル

日時：2015年1月22日19:00 - 21:00

【英語】

『ダイアローグ』デヴィッド・ボーム著、金井真弓訳、英治出版

※『演技者へ』マイケル・チェーホフ著、ゼン・ヒラノ訳、晩成書房

『隠蔽捜査』今野敏著、新潮文庫

【日本語】

『紙の月』角田光代著、角川文庫

※『犯行現場の作り方』安井俊夫著、メディアファクトリー

『反社会学』バオロ・マツァリーノ著、イーストプレス

参加者：7名

発表者：6名

場所：慶應MCC（丸の内シティキャンパス）

●第9回東京ビブリオバトル・バイリンガル

日時：2015年2月25日19:00 - 21:00

【英語】

『赤毛のレドメイン家』E・フィルボッツ著、安藤由紀子訳、集英社文庫

※『日本の色』

“a smart girl's guide to knowing what to say~finding the words to fit any situation”

AmericanGirl

【日本語】

※『赤毛のレドメイン家』E・フィルボッツ著、安藤由紀子訳、集英社文庫

『ゲーミフィケーション』井上明人著、NHK出版

『妻恋坂』北原亞以子著、文春文庫

『ヒトラー演説』高田博行著、中公新書

参加者：4名

発表者：4名

場所：スピーキングエッセイミーティングオフィス（神保町）

●第10回東京ビブリオバトル・バイリンガル

日時：2015年3月26日19:00 - 21:00（予定）

参加者：10名ほど（予測）

場所：慶應MCC（丸の内シティキャンパス）

## 2. Yokohama Book Cafe, ビブリオバトル x ワールドカフェ

これは、横浜で月1回開催してきている読書会（Yokohama Book Cafe）と関連づけてビブリオバトルを実施している。もともとは、単体として実施していたが、4回目にあたる時分から、Yokohama Book Cafeの中にビブリオバトルを入れて、第一部ビブリオバトル、第二部ワールドカフェという方式にしている。テーマは、統一テーマにしている。

※は、チャンプ本。

●第1回横浜ビブリオバトル@Yokohama Book Cafe

日時：2014年9月23日10:00 - 12:00

【日本語】

※『先生！』池上彰著、岩波新書

『わたしのマトカ』片桐はいり著、幻冬舎文庫

参加者：5名

発表者：2名

場所：横浜市技能文化会館

●第2回横浜ビブリオバトル@Yokohama Book Cafe

日時：2014年11月29日10:00 - 12:00

参加者ゼロで中止。

●第3回横浜ビブリオバトル@Yokohama Book Cafe

～テーマ「ブルー」～

日時：2014年12月21日10:30 - 12:00

【日本語】

“extraordinary swimming for every body” Terry Laughlin, Total Immersion, Inc.

※“Accuracy of Death” Kotaro Isaka,

『星のふる夜に』

参加者：3名

発表者：3名

●第65回Yokohama Book Cafe “日本文化”を考えよう！

～ビブリオバトルxワールドカフェで！

日時：2015年2月8日13:15 - 16:30

【日本語】

- 『「若作りうつ」社会』熊代亨著、講談社現代新書
- 『「朦朧」の時代』佐藤志乃著、人文書院
- 『\_禅シンプル生活のすすめ』枅野俊明著、知的生き方文庫
- ※『英語でよむ万葉集』リービ英雄著、岩波新書
- 『風姿花伝』世阿弥、岩波文庫

参加者：7名  
 発表者：5名  
 場所：横浜市技能文化会館



2015年2月8日のYokohama Book Cafe、第一部のビブリオバトルの様子

- 第66回Yokohama Book Cafe “資本主義と格差”について考えよう！  
 ～ビブリオバトルxワールドカフェで語ろう！～  
 日時：2015年3月22日12:30 - 16:30（予定）  
 発表者：10名ほど  
 場所：横浜市技能文化会館

以上

## 本と遊ぼう！こどもビブリオバトル応援団 活動報告

NPO 法人新座子育てネットワーク/福祉の里児童センター  
 福田祐里（関東地区・埼玉県新座市）

連絡先（福祉の里児童センター）：[fukushi.j@ccn01.mygbiz.com](mailto:fukushi.j@ccn01.mygbiz.com)

新座子育てネットワークHP：<https://sites.google.com/a/ccn.niiza-ksdt.com/ccn-top/>

ビブリオバトル活動ブログ：<http://www.niizabibliobattle.blogspot.jp/>

### 1. 概要

当事業は、ビブリオバトルを埼玉県新座市の子どものための新たな読書活動と位置づけ、子どもの読書活動の推進を図ること、また、地域に広くビブリオバトルを普及することで、地域全体の読書活動を活発にすることを目指し、実施したものである。

### 2. 内容

#### 1) フォーラム「子どもビブリオバトルを応援しよう！」

実施日：2014年4月27日（日）

対象：読書やビブリオバトルに関心のある、小学3年生以上の市民

参加人数：26人（図書館職員、読書ボランティア、大学教員など）

ビブリオバトルを知り、体験する機会を地域の読書推進に関わる人々に提供すること、ビブリオバトル推進の核となる人材を育成することを目的として実施した。当日は、図書館職員や大学教員など、幅広い方面から26人が参加した。

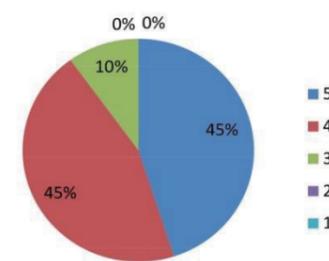


普及委員による指導、デモンストレーション、グループでの体験と、段階を踏んでの進行は、ビブリオバトル体験の機会として効果的だった。また、ビブリオバトルの開催プランを建てるワークショップを行い、参加者から具体的なアイデアが多数出された。その中のいくつかは、後日実際に開催に至ったという報告もあった。

終了後のアンケートでは、参加者の満足度が高かったことが示され、自由記述の感想も肯定的だった。ビブリオバトルの魅力を伝えるために、実際に体験する機会を設けることの有効性を示すような記述もみられた。

#### 【アンケート結果（抜粋）】

1. 本日の事業の満足度を、5～1で表わすと、何点ですか？



#### 【自由記述より】

- ・実際にしゃべってみて、考えているよりやってみることが大事だと感じた。
- ・本当に楽しく、読んでみたい本が増えた。
- ・ビブリオつながりの仲間ができたらいいなと思った。
- ・いろんなテーマで開催してみたい。

## 2) 児童センターでの実施「お試しか！子どもビブリオバトルin 児セン」

実施日：2014年7月3日（木）～8月20日（水）の期間 全9回開催

対象：市内または近隣在住の小学生以上

会場：新座市児童センター・福祉の里児童センター

参加人数：のべ129人（内、小学2年生～中学生25人がバトルを経験）

子どもたちに、ビブリオバトルの体験を通して読書の楽しさを発見する機会を提供することを目的として実施した。地域の身近な遊び場である児童センターを会場とし、多くの子どもたちに気軽に参加してもらうことを目指した。新座市には児童センターが2館あり、実施に当たっては、担当者がそれぞれの館にあったやり方を考えて行った。



どちらの館も、初めに職員や実習生など、大人がバトルとなるデモンストレーションを行った。大人の発表を聞いて投票する、ということが子どもたちの興味をひき、参加者も多く、ビブリオバトルを知る機会として効果的であった。バトル中には、自分の投票した本がチャンプ本になったときに歓声があがったり、発表後すぐに、その本を読み始めるなどの反応が見られ、終了後には多くの子が「おもしろかった」と口にしていった。中には、「発表するならこの本かな」と考え始める子どももいた。

次の段階では、作戦会議と称して、子どもたちと普段読む本について話したり、ビブリオバトルを楽しむためにどんな方法があるかなどについて話しあい、その後の開催の参考にした。「発表時間は、3分以上5分以内がいい」「チャンプ本以外の得票数は発表しないでほしい」といった意見や、「参加賞があれば、発表してもいい」という声もあった。



子どもがバトルとなる「子どもビブリオバトル」の開催時には、参加者を集めるのに大変苦心した。子どもたちへの話題提供や声掛けを工夫して、なんとか参加者を集めることができた。また、当日はバトルの前にアイスブレイクとしてゲームをしたり、参加賞を用意して楽しさを演出したほか、参加のハードルを下げる工夫として、「発表内容のヒントを伝える」「3分か5分か、発表時間を選べる」「時間が余ったときは、司会役が手助けする」といったことも行い、ビブリオバトルが楽しい遊びである、という雰囲気を作らないよう心がけた。

バトルを経験した子どもの数は述べ25人で、参加した子どもの感想は肯定的だった。「きんちょうした」「思ったより楽しかった」という声のほか、「いろいろな本があって楽しかった」「〇〇くんの発表が良かった」など、ビブリオバトルの魅力が伝わったことがうかがえる感想もあった。発表された本をすぐに図書館で借りてきたり、友だちと貸し借りをするといった子どもたちの様子からは、ビブリオバトルの体験が次の読書体験につながったことがうかがえた。

## 3) 児童センター以外の施設での実施

実施日：2014年7月14日（月）～9月1日（月）の期間 全4回開催

対象：市内または近隣在住のどなたでも

会場：親子のフリースペースHug

つどいのひろばセサミ・

栄保育園地域子育て支援センターるーえん

参加人数：のべ32人

（内、乳幼児の母親・新座子育てネットワークスタッフ21人がバトルを経験）

子どもたちだけでなく、保護者にもビブリオバトルを広め、読書習慣づくりにつなげるため、地域子育て支援施設でも、ビブリオバトルを開催した。バトルを経験したのは、乳幼児を子育て中の母親等、のべ21人だった。

発表された本は、子どもと一緒に楽しむ絵本が多く、母親ならではの意見や、どんな時にその本を読んでいるかなど、子育て期の過ごし方のヒントになる情報も語られた。終了後の感想も肯定的で、母親にとっても、ビブリオバトルの楽しさを実感したり、子どもの読書について考えたりする機会になったようだ。



## 4) 報告会「本と遊ぼう！子どもビブリオバトル応援団」

実施日：2014年9月6日（土）

対象：市内または近隣在住の方

参加人数：50人

（フォーラム参加者・ビブリオバトル普及委員など）

地域への取り組みの周知と、今後の活動促進のための意見交換の場づくりを目的として実施した。参加者は、フォーラム参加者やビブリオバトル普及委員等50人であった。

当団体の取り組み報告の後、ビブリオバトル普及委員による講演と、パネルディスカッションを行った。

講演では、ビブリオバトルのルールの根拠や、子どもビブリオバトルの事例が紹介されたほか、子どもたちがビブリオバトルをする意義についても語られた。また、パネルディスカッションでは、児童センター職員、図書館職員がパネリスト、ビブリオバトル普及委員がコメンテーターとなり、ビブリオバトルについてそれぞれの立場からの話題が提供された。会場からも質問が出る等、子どもと読書、ビブリオバトルについてそれぞれが考える、有意義な機会となった。以下に、それぞれの内容を抜粋する。

### 【講演より 子どもたちとビブリオバトルを行う意義】

- ①本を紹介するとき、好きな本について改めて考えることが、自分を見つめなおす機会となり、心の成長にもつながる。
- ②他の人の発表を聞くことで、新しい本や、発表者の新たな一面を知ることができる。双方向のコミュニケーションも深まり、子どもたちの人間関係も広がる。
- ③地域でビブリオバトルを行うことで、子ども主体の活動の発展が期待できる。



#### 【パネルディスカッションより】

- 子どもたちの集客が大変難しい。読書がつまらないものになっている現状を変えるために、まずは大人が楽しんでいる姿を見せることが大切。また、今後ビブリオバトルを継続するため、小さなグループでの開催を繰り返し、身近なものにしていきたい。(児童センター職員)
- (今後の図書館の取り組みとして) 図書館から一方向に提供する取り組みだけでなく、子ども同士が情報を発信し合い、やりとりをするような活動が必要。(図書館職員)
- (評価の目線が気になるという、会場からの質問に対して)「本に対する投票」と繰り返し伝えることが重要。チャンプ本を決めるだけでなく、その後のコミュニケーションも大事にしたい。(ビブリオバトル普及委員、ほか)

### 3. 地域との連携・広報活動

当事業は、「平成26年度 独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成活動」として助成を受け、実施した。事業を進めるにあたっては、教育委員会からの後援、図書館からのパネリスト派遣や広報のサポートなど、関係団体からの協力を得た。

また、計4回のチラシ配布、ホームページやFacebook ページ、専用ブログなどでのネット発信、校長会や教員の研修会へ出向いての宣伝など、広報活動を幅広くおこなった。報告会実施時には、それまでの活動をまとめた広報誌を作成し、参加者に配布を行った。

### 4. 成果と課題 報告会までを振り返って

フォーラムから報告会までを実施した成果は、ビブリオバトルの魅力を広く参加者に伝えることができたこと、次の読書体験につながるような感想・行動を引き出したことである。一方で課題は、バトラーとしての参加までのハードルの高さや、ビブリオバトル自体の知名度の低さである。今後、大人も子どもも気軽に参加できるような工夫をしつつ、継続してビブリオバトルを開催することで、課題を解決し、さらなる普及に努めたい。

### 5. その後の活動 新座市福祉の里児童センターでの「里のビブリオバトル」

実施日：2014年11月22日(土)・2015年2月21日

対象：市内または近隣在住のどなたでも

参加のべ人数：子ども：23人 大人：7人(うち、バトラー：子ども8人 大人4人)

新座市福祉の里児童センターでは、「本と遊ぼう！子どもビブリオバトル応援団」終了後も継続して、ビブリオバトルを隔月1回実施している。これまでの課題を踏まえ、大人も子どもも気軽に参加してもらえよう、対象を限らずに実施している。そのため、発表時間は5分としているが、これまでと同じように、時間が余ったら司会者が手助けを



したり、その日に本を持っていなくても参加できるなど、子どもたちが気軽にバトラーにチャレンジできるように工夫をしている。

子どものバトラーはほとんどが小学生だが、幼稚園年長の子もが、父親と一緒に絵本を紹介する回もあった。あらすじや好きなシーン・登場人物について自分で考えて順に話



す子や、始めから司会者とやりとりをしながら発表する子など、様子はさまざまである。5分間、一人で話しきれず子どもはまだ現れないが、いかに時間を使い切るか、それぞれに一生懸命考える様子がうかがえる。発表後には、「発表も意外に、おもしろい」、「話したいことを話せて、ちょっとすっきりした」という肯定的な感想が聞かれた。

また、観戦者として参加した子どもたちは、メモをとりながら発表を聞き、「その本、知ってる」とつぶやいたり、質問も少しずつではあるが、出されるようになっている。「〇〇の本が面白そうだった」という感想も多く見られるようになった。

さらに、大人も子どもも一緒にビブリオバトルならではの良さも見られる。大人のバトラーが絵本を紹介する姿を見て、子どもたちが意外そうにしていたり、質問や、バトル後のおしゃべりなどで、お互いのコミュニケーションが生まれていることから、地域の大人と子どもの関係の広がりにも期待が持てる。ビブリオバトルを通して、大人がどんな本を読んでいるか、どのように読書を楽しんでいるかが伝わることで、子どもが読書に興味を持つきっかけにもなると考えている。

開催を重ねるごとに、ビブリオバトルを知っている子どもが増え、参加する子どもは、初めよりも本への興味を持って参加しているようだ。バトラーとしての参加のハードルはまだまだ高いが、今後も地域の皆が楽しく、気軽に参加できるような工夫を続けていきたい。

★活動の様子の詳細や、これまでに紹介された本、チャンプ本は、ブログに掲載していません。ぜひ、ご覧ください。

## 活動報告書

### 「高校生のビブリオバトルが益々普及するために」



読売新聞東京本社  
活字文化推進会議事務局  
中村卓哉(関東地区)  
nkmr7056@yomiuri.com



高校生の大会を担当して丸3年になります。

2012年度の首都圏高校生大会を皮切りに、2013年度の関東大会・関西大会と開催して

2014年度は、初の全国大会を計画し、全国9ブロック予選と沖縄県大会、さらに決勝大会と開催してきました。競技型ならでの課題もありますが、大会に参加した生徒さんが学校の図書館などで自主的に取り組んでいただけたら幸いです。そのために、これまでの大会から蓄積された資料などを駆使してお手伝いして参ります。

#### 【研修会講師】

- ・福井県高等学校教育研究会学校図書館部会 研修会(6月・10月)
- ・石川県学校図書館協議会 総会研修(7月)
- ・栃木県高等学校教育研究会図書館部会 研修(9月)
- ・第28回山梨県図書館大会 分科会(11月)
- ・宮崎県高等学校教育研究会図書館部会 秋季大会(11月)
- ・さいたま市学校図書館専門部会 研修会(2月)

## 2014年度活動報告

高見京子(関東地区)

開催日	内容	主催	形態	活動
5月19日	優良図書展示会 セミナー	(株)トーハン		受講・観戦
6月17日	東京学芸大学 司書教諭科目授業		ワーク ショップ	指導
6月24日	東京学芸大学 司書教諭科目授業		ワーク ショップ	指導
7月2日	昭島市公立小学校教育研究会	昭島市	ワーク ショップ	指導
7月4日	東京国際ブックフェア(TIBF)2014 こども広場イベント	さ・え・ら書房	講習会	講習・バトラー
7月5日	学校図書館司書教諭のための連続講座	東京学芸大学デジ読評価プロジェクト	ワーク ショップ	指導
8月21日	江東区中学校図書館部会夏の研修会	江東区中学校図書館部会	ワーク ショップ	指導
9月2日	武蔵野大学 司書教諭科目授業 集中講義		ワーク ショップ	指導
9月28日	平成26年度高校生書評合戦東京都大会	公益財団法人文字・活字文化推進機構	大会	講評
10月4日	彩の国2014高校生ビブリオバトル	埼玉県教育委員会	大会	観戦
10月7日	あきる野市子ども読書推進学校図書館関係者連絡会	あきる野市図書館	ワーク ショップ	指導
11月22日	東京学芸大学げんきフォーラム	東京学芸大学・生協読書マラソン委員会	セミナー	指導
12月10日	鳥取県高校図書館部会	鳥取県立図書館	ワーク ショップ	指導
12月13日	ビブリオバトル in 相模大野	NPO 法人らいぶらいぶ	ワーク ショップ	講習・バトラー
1月11日	全国高等学校ビブリオバトル2014 決戦大会	21世紀 活字文化プロジェクト	大会	観戦
2月7日	ビブリオバトル	小金井市貫井北分室	イベント	バトラー

## 学校でのビブリオバトルの活用推進を行っています！

木下通子（関東地区）  
埼玉県立春日部女子高校主任司書  
Tel048-752-3591（勤務先代表）



### 1 学校司書の立場で校内でのビブリオバトルを推進中

埼玉県立春日部女子高校は、校内で積極的にビブリオバトルを行っています。4月入学と同時に行われる一年生ビブリオバトルを皮切りに、6月には図書委員会主催、9月には文化祭のイベントとして、年間を通して活動しています。ビブリオバトルを通しての市内の高校との交流、各大会への出場などを行い、「読書」の幅を広げ自分の言葉で語れる子どもを育てています。

### 2 ビブリオバトルを導入する学校の支援をしています。

- 学校でのビブリオバトルは社会人のビブリオバトルとどこが違うの？
- ビブリオバトルの指導ってどうすればいいの？

学校だからこそ悩んでしまうことってありますよね。ビブリオバトルを多くの学校で楽しんでいただけるように、ワークショップを中心とした普及活動を行っています。実際にビブリオバトルを体験していただくことでビブリオバトルの楽しさを感じてもらい春日部女子高校での事例をご紹介しながら、導入のアドバイスをさせていただきます。

2014年度は

- 群馬県の高校図書館研究会
- 長野市の小・中学校司書研修会
- 静岡県立高校の職員研修 に伺いました。

学校図書館は、子どもたちに読む楽しさとわかる喜びを伝える場所です。ビブリオバトルはそんな学校図書館にぴったりの活動です！ビブリオバトルを通して、子どもたちが本と出会い、本について語ることで、自分と向き合ってもらえたら。

2015年度も、普及委員として、ビブリオバトルの楽しさを伝える活動を行っていきたいと思います。

## ビブリオバトル普及委員 活動報告書



関根夕希子（関東地区）  
yukkodesuyo@gmail.com

関東地区 東京都墨田区の普及委員 関根夕希子です。

2014年度カフェを中心にビブリオバトルを開催致しました。皆さんの身近な場所で初めての方も参加しやすい雰囲気作りを心がけております。

### 【2014年 開催実績】

- 1月 26日（日）第5回ビブリオバトルin根津みのりcafé
- 2月 16日（日）第6回ビブリオバトルin根津みのりcafé
- 2月 22日（土）第1回ビブリオバトルin京島カフェトブカブ
- 2月 25日（火）第2回ビブリオバトルin池袋住み開きスペース
- 3月 9日（日）第7回ビブリオバトルin根津みのりcafé
- 3月 24日（月）第3回ビブリオバトルin池袋住み開きスペース
- 4月 14日（月）第4回ビブリオバトルin池袋住み開きスペース
- 4月 20日（日）第8回ビブリオバトルin根津みのりcafé
- 5月 11日（日）第9回ビブリオバトルin根津みのりcafé
- 6月 1日（日）第10回ビブリオバトルin根津みのりcafé
- 6月 13日（金）ビブリオバトルin蔵前

### 【活動例】

5月 11日（日） 10:30～12:00 みのりcafé（東京都文京区根津 1-22-10）にて第9回ビブリオバトルin根津みのりcaféを開催しました。

参加者 10名（発表者9名、聴衆1名）でした。

紹介された本は、

1. オトナ語の謎（著：糸井重里）
2. マンフレッド（著：バイロン）
3. ヘンな間取り（著：ヘンな間取り研究会）
4. 学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話（著：坪田信貴）
5. 第三の銃弾（著：スティーブン・ハンター）

- 6.乙女座の君へ (著: 鏡リュウジ)
  - 7.チャーリー・ブラウンなぜなんだい? (著: チャールズ・M・シュルツ)
  - 8.夜中の薔薇 (著: 向田邦子)
  - 9.東京の合唱 (著: 小西康陽)
- チャンプ本は、『第三の銃弾 (著: スティーブン・ハンター)』でした。



以上

## 鷺沼 Book 倶楽部 2014 年度活動報告

氏名: 坂本那香子 (関東地区)  
 連絡先: nakakos2006@gmail.com  
 団体 URL: <http://saginuma-book-club.jimdo.com/>



顔写真:

活動報告:

「鷺沼でビブリオバトル! 鷺沼 Book 倶楽部」は、2015年8月に開設されたまだ新しい倶楽部です。開設以来、毎月第4水曜日に、田園都市線鷺沼駅近辺の飲食店で会を重ねてきました。現在までに計6回が開催され、参加人数も述べ20人を超えました。

鷺沼 Book 倶楽部の特徴は下記5点です。

1. 毎回「選択」「温故知新」「わが街」などのテーマが設定されていること。
2. 飲食店でお食事やお酒を楽しみながら開催され、ビブリオバトルが初めての方でも気軽に参加できる会であること。実際に、参加者の8割はビブリオバトル初参戦の方々です。
3. 鷺沼駅近くのローカルなレストランでの開催にこだわっていること。
4. リピーター率が非常に高く、これまでの参加者はほぼ全員2回、3回とお越し下さること。
5. 老若男女に偏りがなく、参加者のプロフィールが幅広いこと。

ビブリオバトルってなんだかちょっと怖そう…というイメージを払しょくし、初心者でも寛ぎつつ好きな本について語り合える場を今後も提供し続けたいと思います。

## 埼玉県東部（埼玉葛地方）

### 東武スカイツリーライン沿線にビブリオバトルの風を！

武田 利一（関東地区）

連絡先：090-4816-3453

E-mail：[TozTakeda@gmail.com](mailto:TozTakeda@gmail.com)



#### 【2014 年度活動報告】

##### ① 「ビブリオバトル in ぼんとん」

- 第1回（ 1 / 26 ） 11名参加（発表8名） 2013年度
- 第2回（ 3 / 2 ） 12名参加（発表9名） 2013年度
- 第3回（ 4 / 6 ） 6名参加（発表5名）
- 第4回（ 5 / 25 ） 7名参加（発表6名）
- 第5回（ 6 / 22 ） 7名参加（発表7名）
- 第6回（ 7 / 6 ） 8名参加（発表8名）
- 第7回（ 8 / 17 ） 8名参加（発表8名）
- 第8回（ 9 / 23 ） 6名参加（発表6名）
- 第9回（ 11 / 2 ） 5名参加（発表5名）
- 第10回（ 12 / 7 ） 7名参加（発表6名）
- 第11回（ 1 / 18 ） 7名参加（発表7名）
- 第12回（ 2 / 15 ） 5名参加（発表4名）
- 第13回（ 3 / 8 ） 実施予定



古本屋兼集会所「ぼんとん」にて開催

（杉戸高野台駅西口より徒歩5分）

毎月1回の予定で開催しています。宣伝は、「ぼんとん」掲示板のみなので、周辺の方7～8名の読書好きの方が口コミで参加しています。

##### 「ビブリオバトル in 越谷」

- 第1回（ 8 / 30 ） 6名参加（発表4名）
- 第2回（ 9 / 27 ） 6名参加（発表6名）
- 第3回（ 11 / 15 ） 8名参加（発表6名）
- 第4回（ 1 / 31 ） 8名参加（発表6名）
- 第5回（ 3 / 28 ） 実施予定



会社（第1回～第4回）にて開催

（越谷駅東口より徒歩3分）

越谷駅前ツインシティ Bシティ（左）5階

越谷市市民活動支援センター活動室

（越谷駅東口より徒歩1分）

会社で開催していましたが、一般市民にも参加を呼びかけようということで、越谷市市民活動支援センターの登録団体として申請中。2月末に登

されれば、第5回を開催する予定です。宣伝としては、越谷市内の図書館や本屋さんの示板に掲示をお願いする予定です。

また、高校の司書グループ（春日部女子高校内に事務局）や隣接する吉川市の図書館で催されているビブリオバトルとも共催していくように働きかける予定です。

#### 2015年度活動計画】

##### 「ビブリオバトル in ぼんとん」

昨年度と同様に、月1回のペースで開催される予定なので、それを支援していく予定です。具体的には、ホームページ (<http://www.tozsun.com/dokusvo/biblio-bonton.html>) に実施報告を掲載し、次回の日時を連絡をしていく。

##### 「ビブリオバトル in 越谷」

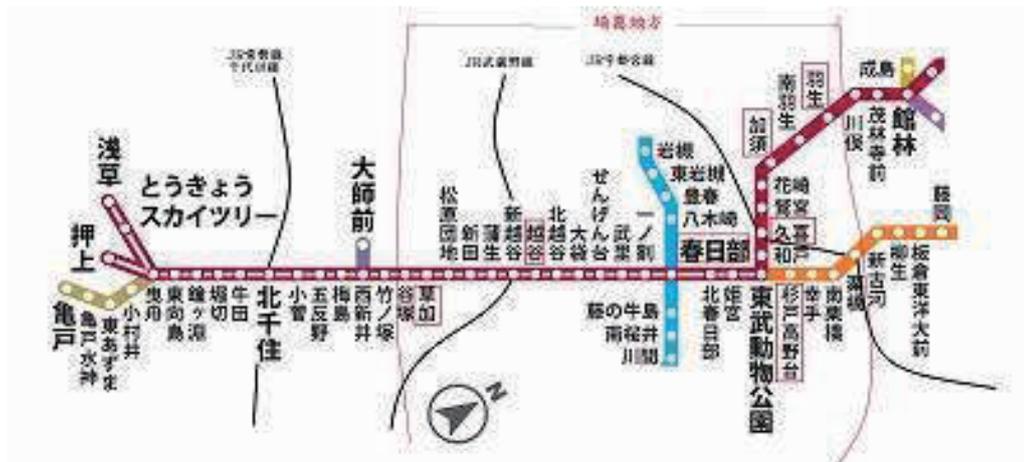
4月から5月にかけて行われる越谷市市民活動支援センター登録月間に参加して、2015年度の登録団体となり、6月から活動室の利用（午後使用、30人規模、1000円）が出来るようにする。また、月1度ある登録団体責任者会議に参加し、横とのつながりも模索して、他の団体との共催でビブリオバトルが開催できるようにする。

また、会員になるように呼びかけ、開催日のお知らせを、Eメールや電話やチラシやホームページ (<http://www.tozsun.com/dokusvo/biblio-koshigava.html>) などで行う。越谷市内の図書館や本屋さんへの掲示もお願いしていく予定です。

今までとは違って、多人数になる可能性もあるので、東京都の本郷図書館で実施されている方法を参考にしながら工夫するつもりです。

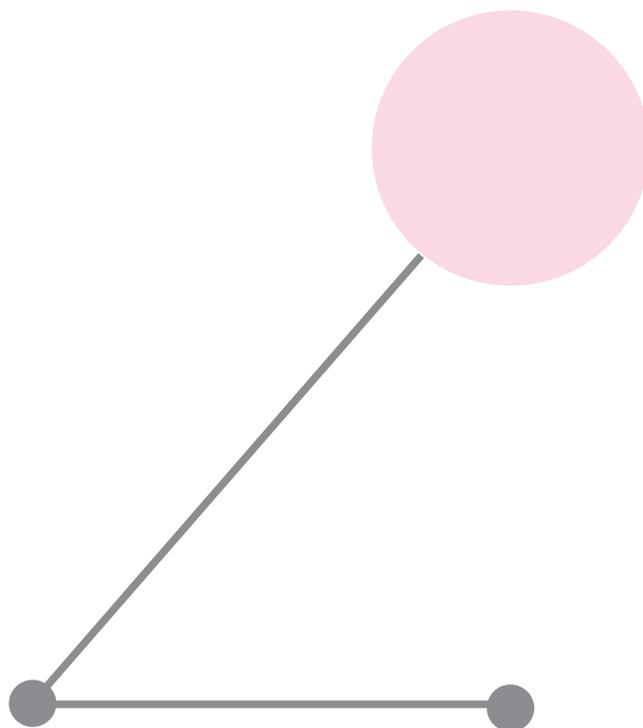
【今後の計画】

埼葛地方（東武スカイツリーライン沿線）の各都市に開催地を作り、可能な範囲で開催していきたい。



計画では、上図の赤色で囲った駅（左から順に、草加、越谷、春日部、杉戸高野台、久喜、加須、羽生）の全てで開催する夢を持っている。実は、高校教員として過去に勤務した学校（3校+再任用として4校）のある場所なので、卒業生や同僚（定年退職して読書三昧の方も多）がたくさんいるのが、開催の足掛かりになるからだ。

# 中部内陸地区



●主な活動団体（普及委員会関係）

・ビブリオバトル信州

# 東海地区



## 岡野裕行

東海地区代表

## 坂本牧葉 横山晃嗣

副代表

### ●主な活動団体（普及委員会関係）

- ・ビブリオバトル 名大
- ・皇學館大学ビブリオバトルサークル ビブロフィリア
- ・岐阜市立女子短期大学図書サークル Love Rary
- ・ビブリオバトルしぞーか
- ・知的活動推進協議会 よみかたり浜松
- ・中部学院大学

## 名古屋市を中心としたビブリオバトルの普及活動

氏名：飯島玲生  
連絡先：ijimaleo[at]gmail.com



### ■2014年度の活動内容

#### (1) 全国大学ビブリオバトル2014～京都決戦～

名古屋大学のビブリオバトル関係者（図書館職員の皆様、学生団体 Hontomo）と共同で、「ビブリオバトル名大」の実行委員会を立ち上げて、愛知・岐阜地区の地区予選・地区決戦の運営を行った。

##### 【全国大学ビブリオバトル2014～京都決戦～ 地区予選@名古屋大学】

日時：2014年10月30日(木) 18:30～20:00

会場：名古屋大学中央図書館2階ディスカバリスクエア

備考：発表者数6名、観覧者数19名

##### 【全国大学ビブリオバトル2014～京都決戦～ 地区決戦@名古屋大学】

日時：2014年11月29日(土) 13:30～16:00

会場：名古屋大学中央図書館2階ディスカバリスクエア

備考：発表者数9名、観覧者数57名

#### (2) 栄中日文化センターの『ビブリオバトル入門』講座

栄中日文化センター連続講座「ビブリオバトル入門」で、2回の連続講座の講師を行った。受講生の中に読書会や地域活動を実施している方が多く、受講後にビブリオバトルを行うという方が多かった。

##### (秋の連続講座)

日時：2014年10月25日(土)、11月22日(土)、12月27日(土) 13:00～15:00

受講生：23名

##### (冬の連続講座)

日時：2015年1月24日(土)、2月28日(土)、3月28日(土) 13:00～15:00

受講生：9名

## 岐阜のビブリオバトル実践報告

坂本 牧葉（東海地区）

mail: s.makiba@gmail.com, tel.: 058-296-4176



### 岐阜での普及活動

著者は教員として在席している岐阜市立女子短期大学を中心に、岐阜近郊のビブリオバトルの普及に取り組んでいる。2014年度の活動を1.短大のサークル活動、2.岐阜県内で担当した講習会講師・開催協力、3.全国大学ビブリオバトル・シンポジウムへの参加・協力の3点を通して報告する。

### 岐阜市立女子短期大学、 図書サークル Love♡Rary での活動

岐阜市立女子短期大学の図書サークル Love♡Rary では活動の一環としてビブリオバトルに取り組んでいる。サークルは2011年に発足し、著者が顧問を務めはじめた2012年度より本学附属図書館にて、職員の協力を得ながらビブリオバトルを実施してきた。これまで毎年、新入生サークルの歓迎や本学の夏祭りや大学祭でのイ

ベントとして開催している。サークルでの開催の様子を図1に示す。

今年は例年開催しているものに加え、岐阜市広報テレビ番組「あなたの街から一岐阜市一」市長のテレビコラム（岐阜放送）の企画として、岐阜市市長を交えたビブリオバトルを開催した。発表者は本学の学生1名、名古屋大学の大学院生1名、東海学院大学の学生1名、岐阜市長、著者の5名であった。本学以外の学生発表者は、普及委員会のメーリングリストを通して近隣から募集した。聴衆は本学学生と教職員を募った。番組は10月10日に放映された他、岐阜市のYouTubeチャンネルで公開されている。図2に番組の様子を示す。

この企画によって、岐阜市内の視聴者にビブリオバトルと本学での活動の両方に興味を持つきっかけができたのではないかと



図1. 図書サークルでのビブリオバトル開催の様子



図2. 岐阜市長を交えたビブリオバトル開催の様子

[https://www.youtube.com/watch?v=k\\_ZR9mW2NtU&list=WL](https://www.youtube.com/watch?v=k_ZR9mW2NtU&list=WL)

期待している。

Love♡Rary の活動は部員のおすすめ図書の展示や、季節に応じた図書館の飾り付けなど、ビブリオバトルに限ったものではない。しかしながら、ビブリオバトルに取り組みを始めたことによって、部員以外への活動をアピールしたり、他大学との交流の機会を持つことができるようになった。その結果、今年度、読書を通じた他大学との交流活動に積極的に携わり、本学の名声を高め他の学生の模範となったとして、本学の桃林賞※1（団体賞）を受賞することができた。

### 岐阜県内での普及活動

岐阜県内ではビブリオバトルが Library of the Year 2012 で大賞を受賞した後、公立図書館などからの講師依頼や開催協力依頼が増加した。2014 年度は表 1 に示す研修会・ワークショップの講師を務めたり、開催協力を行ったりした。講習は可能な限り講義と実践の二部構成とし、参加者本人に本を紹介してもらうようにした。いずれの講習会・開催でもビブリオバトルの

表 1. 2014 年度に協力した主な講習会・イベント

講習会・イベント名	会場	開催日
平成 26 年度学校図書館主任教諭・町図書館職員連絡協議会研修会	揖斐川図書館	8月6日
各務原市夏季教職員研修講座	各務原市役所	8月18日
公立短期大学図書館協議会中部地区研究会	岐阜市立女子短期大学	9月2日
ビブリオバトル in 三洋堂書店みのかも店	三洋堂書店みのかも店	9月21日
瑞穂市図書館ビブリオバトル研修	瑞穂市図書館本館	9月30日
第 33 回文学ライブ「つながる読書 ～体いきいき、心わくわく～」	岐阜市立図書館分館	11月25日

経験がある人はいないか、ごく少数で発表者は緊張した面持ちであった。しかしながら、実際に発表してもらうと、徐々に本の紹介を集中し、他者の発表を楽しむ様子が見られた。図 3 は講習で用いたスライド資料の一部である。各地での開催事例を紹介したり、実践後に面白さを図解するなどの工夫を試みた。



図 4. 全国大学ビブリオバトル・ビブリオバトルシンポジウム用リーフレットデザイン (A4 サイズ)

### 全国大学ビブリオバトルおよびシンポジウムへの協力

全国大学ビブリオバトルバトル 2014 へは、広告デザインの協力と愛知・岐阜ブロックの地区予選、地区決戦へ参加した。

広告デザインの協力では、全国大学ビブリオバトルバトル 2014 およびシンポジウム公式サイトへのヘッダー画像を提供した。さらに告知用リーフレットの裏面・表面のデザインを制作した。リーフレットデザインを図 4 に示す。キャラクターを用いたイラストレーションで、ビブリオバトルの発表の楽しさや、交流がうまれる様子を表現し、親しみやすいデザインを目指した。

地区予選・地区決戦へは、10月18日に中部学院大学で開催された地区予選へ図書サークルから参加希望があり、学生とともに参加した。続いて11月29日に名古屋大学図書館で開催された愛知・岐阜ブロック



の地区決戦に、当日の司会者として参加した。地区予選・地区決戦ではいずれも東海地区の普及委員や運営協力者、学生との交流を深めることができた。

### 【おわりに】

著者は所属する岐阜市立女子短大を中心に岐阜近郊の普及活動に携わった。岐阜周辺ではいくつかの講習会で講師なども務めた。しかしながら、それから継続的に開催する団体はいまだに少ない。そのために、岐阜周辺で活動を発信・共有は今後の課題ではないかと認識している。また著者は視覚デザインを専門にしているため、それを活かしながら今後も普及活動に携わり、地域と大学間の交流や地域住民同士の交流にビブリオバトルを通して貢献していきたいと考えている。



図 3. 研修会・ワークショップで使用したスライド (一部抜粋)

※1 在学中の成績優秀者や学生の模範となる活動に貢献した個人・団体に与えられる賞

## 皇學館大学ビブリオバトルサークル「ビブロフィリア」顧問 および

### ビブリオバトル普及委員会理事兼東海地区代表としての活動報告



岡野 裕行 (東海地区)

メー ル : h-okano@kogakkan-u.ac.jp

ツイッター : @hiroyukiokano

皇學館大学ビブリオバトルサークル「ビブロフィリア」

公式ブログ : <http://bibliophilia-ku.blogspot.jp/>

メー ル : bibliophilia.ku@gmail.com

ツイッター : @Bibliophilia\_KU

#### 1. 講演会・研修会講師

ビブリオバトルについての講演会や研修会の講師を務めた。

- ①「平成26年度静岡県私学教育振興会学校図書館専門部会研修会」(2014年6月18日)  
※会場は日本大学三島中学高等学校(静岡県三島市)  
【演題】中学校・高等学校におけるビブリオバトルの活用について：  
学校図書館や授業での導入方法と実践体験
- ②「私立大学図書館協会西地区部会2014年度図書館実務担当者研修会」  
(2014年9月11日) ※会場は名古屋学院大学(愛知県名古屋市)  
【演題】大学図書館におけるビブリオバトルの導入と展開：  
“伝える力”を鍛えるビブリオバトル体験
- ③「おおぶ文化交流の杜図書館：秋の図書館まつり」(2014年11月15日)  
※会場はおおぶ文化交流の杜図書館(愛知県大府市)  
【演題】ビブリオバトルが創出するコミュニティ
- ④「ビブリオバトル@東京ステーションギャラリー」(2014年11月29日)  
※会場は東京ステーションギャラリー(東京都千代田区・東京駅)  
【演題】美術館でビブリオバトルをしてみたらどうなった？
- ⑤「ビブリオバトル・シンポジウム2014」パネルディスカッションのコーディネーター  
(2014年12月13日) ※会場は立命館大学(京都府京都市)  
【演題】図書館はビブリオバトルとどのように歩んできたか：  
図書館への導入・普及とこれからの可能性
- ⑥「愛知県学校図書館研究会高等学校部会知多地区学校図書館研究会 第3回研究会」  
(2015年2月3日) ※会場は愛知県立阿久比高等学校(愛知県阿久比町)  
【演題】学校図書館でビブリオバトルをしてみたらどうなった？
- ⑦「志摩市学校図書館教育に係る研修会」(2015年2月19日)  
※会場は志摩市立志摩中学校(三重県志摩市)  
【演題】本と人を知るために：ビブリオバトルのすすめ

#### 2. 開催支援①(大学生大会・大学教職員大会)

皇學館大学を会場として、ビブリオバトルの大学生大会および大学教職員大会を開催した。

- ①皇學館大学倉陵祭「教職員ビブリオバトル」  
(2014年11月1日)
- ②皇學館大学倉陵祭「倉陵祭ビブリオバトル」  
(2014年11月2日)
- ③「全国大学ビブリオバトル2014～京都決戦～」  
三重ブロック第1回予選会(2014年11月13日)
- ④「全国大学ビブリオバトル2014～京都決戦～」  
三重ブロック第2回予選会(2014年11月19日)
- ⑤「全国大学ビブリオバトル2014～京都決戦～」  
三重ブロック第3回予選会(2014年11月27日)
- ⑥「全国大学ビブリオバトル2014～京都決戦～」  
三重ブロック地区決戦(2014年11月30日)

#### 3. 開催支援②(高校生大会)

三重県教育委員会と連携協力し、三重県内の高校生を対象としたビブリオバトル大会の運営と司会進行役を務めた。

- ①みえの学力向上県民運動「松阪地区高校生ビブリオバトル：赤壁の戦い」  
(2014年7月31日) ※会場は三重県立松阪工業高校(三重県松阪市)  
< <http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/2014070087.htm> >
- ②みえの学力向上県民運動「南勢志摩地域高校生ビブリオバトル：倉田山決戦2014」  
(2014年11月16日) ※会場は皇學館大学(三重県伊勢市)  
< <http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/2014100370.htm> >
- ③みえの学力向上県民運動「東紀州地域高校生の書評合戦！：高校生ビブリオバトル熊野古道決戦」  
(2014年11月23日) ※会場は三重県熊野庁舎(三重県熊野市)  
< <http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/2014100374.htm> >
- ④みえの学力向上県民運動「伊賀地域高校生ビブリオバトル2014：師走の名張決戦」  
(2014年12月13日) ※会場は三重県立名張高等学校(三重県名張市)  
< <http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/2014110329.htm> >
- ⑤みえの学力向上県民運動「中勢地域高校生の書評合戦！：高校生ビブリオバトル京都決戦2014」  
(2014年12月21日) ※会場は三重県立図書館(三重県津市)  
< <http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/2014110333.htm> >
- ⑥みえの学力向上県民運動「北勢地域高校生の書評合戦！：高校生ビブリオバトル四日市決戦」  
(2015年1月10日) ※会場は三重県四日市庁舎(三重県四日市市)  
< <http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/2014120274.htm> >
- ⑦みえの学力向上県民運動「高校生ビブリオバトル三重決戦2014」(2015年2月8日)  
※会場は皇學館大学(三重県伊勢市)  
< <http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/2015010033.htm> >



図①：高校生ビブリオバトル  
松阪地区大会の様子



図②：高校生ビブリオバトル  
中勢地域大会の様子



## 協力したもの

### ◆2014/08/17 ビブリオバトルを楽しもう！ーゲームで広がる読書の輪ー

(@静岡市立北部図書館)

静岡市内の公共図書館では、御幸町図書館に続いて2館目。「ビブリオバトルを楽しもう」(さ・え・ら書房,2014年)の著者、粕谷亮美さんによる講演も行われました。

### ◆2014/10/25 ビブリオバトル中高生大会 in 沼津 (@沼津市立図書館)

県内東部の公共図書館では2館目。学校図書館司書の有志の皆さんが中心となって開催されました。



### ◆2014/11/09 ビブリオバトルふち (@常葉大学短期大学部之山文庫)



紹介された本 (☆→ チャンプ本)

- ① ガラスの大エレベーター / ロアルド・ダール 著
- ② 晴れた日は図書館へいこう / 緑川聖司 著
- ③ さむがりやのサンタ / レイモンド・ブリッグズ 著
- ☆ つきよのかいじゅう / 長新太 著
- ⑤ 二分間の冒険 / 岡田淳 著

常葉短大では過去2回の開催実績あり。

この日は西奈小学校との共催ということで、「ミニ・ビブリオバトル」形式での開催となりました。

### ◆2015/02/15 大人のたしなみセミナー (@静岡県立中央図書館)

県立図書館では初の開催でした。テーマは「ほっかほか」ということで、心が温まるような本を紹介したバトラーさんが多かったです。

## その他、県内で開催を確認しているもの

### ◆2014/07/20 Nocturne will (メイド&執事カフェ)

### ◆2014/08/30 掛川市立中央図書館 (リベラルアーツかけがわ 主催)

### ◆2014/09/23 YA ビブリオ☆バトル in 中央図書館 (静岡市立中央図書館 主催)

### ◆2014/11/29 ビブリオバトル IN プレ葉ウォーク浜北 (よみかたり浜松 主催)

## 研修会

### ◆2014/06/18 静岡県私学教育振興会 学校図書館専門部会研修会

日本大学三島高等学校にて、岡野先生(ビブリオバトル普及委員会理事・東海地区代表)とともに事例報告を行いました。

静岡県内のビブリオバトル情報は、こちらで発信中です！

[facebook] <https://www.facebook.com/bibshizuoka>

[twitter] <http://twitter.com/bibshizuoka>

[blog] <http://bibshizuoka.eshizuoka.jp/>



知的活動推進協議会  
よみかたり浜松

<http://www.chitekiai.jp/>

氏名:大野晴己  
(東海地区)  
連絡先:info@chitekiai.jp



## ホームページの開設



## 2014年度 1年間の活動報告 テーマ:知的BOOKs ~30年後の人に繋げたい一冊~

1、ホームページの開設

2、ブックガイド(冊子) 5,000冊作成

3、イベント ビブリオバトルの開催

# ブックガイド(冊子) 5,000冊 作成



**雪は天からの手紙**  
中谷宇吉郎エッセイ集

◆著者 著者・イラスト:中谷 宇吉郎 編集:池内了  
◆出版社 岩波書店  
◆発行日 2002年6月18日

これから科学を学ぶ若い人  
**本への想い**

本書は雪の結晶の美しさに魅せられて、その研究に人生を捧げた中谷宇吉郎博士が科学の面白さや科学者との交流を綴ったエッセイ21編をまとめたものです。  
私が中谷博士のエッセイに出会ったのは、私がまだ学生だった頃ですが、いま読んで色褪せることはありません。自然体で美しい文書の中に、自然や人に対する真摯で温かい気持ちが込められています。  
だからこそ、80年も前に書かれたにも関わらず、古さを感じません。これから科学を学ぶ若い人に読んでほしい素晴らしい一冊です。

**雪は天からの手紙**  
中谷宇吉郎エッセイ集

◆著者 著者・イラスト:中谷 宇吉郎 編集:池内了  
◆出版社 岩波書店  
◆発行日 2002年6月18日

紹介者プロフィール  
静岡大学 副学長  
木村 雅和さん  
■業 種 サービス業 ■職 種 大学教員

---

**重力とは何か**  
大栗博司

◆著者 大栗 博司  
◆出版社 幻冬舎新書  
◆発行日 2012年5月30日

中学生、高校生、重力とは何かを  
知らない大人(文系の人も可)  
**本への想い**

本書は、「重力とは何か」を説明するために、ニュートン力学、電磁気学、これらの子弟を説明した特殊相対論、重力現象を説明した一般相対論、ミクロの世界を扱う量子力学について、実験や論争に触れながら、順を追って、わかりやすく、やさしく、読みやすく説明している。  
中学生の頃から「空間」や「時間」の本を読んでは、「？」で一杯でもやっていた私の頭が、この本でみごとに「すっきり」した。本質を考え抜く楽しさ一杯の本である。

**重力とは何か**  
大栗博司

◆著者 大栗 博司  
◆出版社 幻冬舎新書  
◆発行日 2012年5月30日

紹介者プロフィール  
静岡理科大学  
企画室室長  
山下 博通さん  
■業 種 サービス業 ■職 種 大学教員

# イベント開催



## ビブリオバトル 11月29日(土)

プレ葉ウォーク浜北  
・2部門 学生部門・一般部門  
・参加者:高校生・大学生6名、  
一般16名  
計22名出場

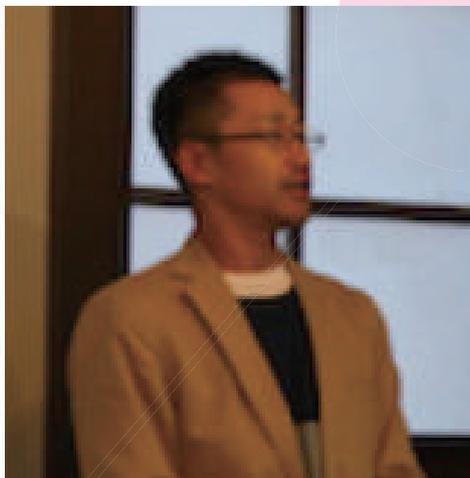


県下初のイベント  
不特定多数の場での開催  
参加者:約200名





# 北陸地区



## 本吉達郎

北陸地区代表

### ●主な活動団体（普及委員会関係）

- ・北陸ビブリオバトル
- ・石川県立図書館
- ・石川県立大学
- ・金沢大学
- ・新潟ビブリオバトル部

## 北陸ビブリオバトル（富山） 活動報告書



本吉 達郎(北陸地区-富山県)

E-mail: motoyosh@pu-toyama.ac.jp

北陸ビブリオバトル（富山県）では下記のビブリオバトル開催のサポートをいたしました。

### 全国大学ビブリオバトル 2014～京都決戦～ 地区予選（富山）

・地区予選 in 富山県立図書館

主催：北陸ビブリオバトル

日時：2014年9月24日 13時30分

場所：富山県立図書館

出場者数：6名

チャンプ本：鹿島田 真希：来たれ、野球部

#### 本／出場者一覧

著者	タイトル	氏名	所属
鹿島田 真希	来たれ、野球部	荒井 健次	富山県立大工学部4年
東野 圭吾	天空の蜂	淵上 朋也	富山県立大工学部4年
森見 登美彦	太陽の塔	関野 静香	富山県立大工学部3年
柳田 理科雄	空想科学読本1	小牧 泰斗	富山県立大工学部4年
氏家 秀太	なぜかいつも満席の居酒屋のおやじがやっている「つかみ方」	黒澤 進太郎	富山県立大学院工学研究科1年
サイモン・シン	暗号解読	八島 悠貴	富山県立大工学部4年

・地区予選 in 富山県立大学

主催：北陸ビブリオバトル

日時：2014年10月16日 18時00分

場所：富山県立大学 A307 教室

出場者数：4名

チャンプ本：森見 登美彦：太陽の塔

#### 本／出場者一覧

著者	タイトル	氏名	所属
森見 登美彦	太陽の塔	関野 静香	富山県立大工学部3年
千田 琢磨	ボクのインプット！アウトプット法	山内 智晶	富山県立大工学部4年
ジョージ・オーウェル	動物農場	横井 聡	富山県立大工学部4年
大今 良時	聲の形	浅井 康平	富山県立大工学部3年

### 全国大学ビブリオバトル 2014～京都決戦～ 北陸地区決勝（福井・石川・富山）

・地区決勝

主催：北陸ビブリオバトル

日時：2014年10月19日 13時30分

場所：石川四高記念文化交流館

出場者数：7名（準決勝7名，決勝4名）

チャンプ本：鹿島田 真希：来たれ、野球部

#### 本／出場者一覧（準決勝）

著者	タイトル	氏名	所属
穂村 弘	もしもし、運命の人ですか	荒井 健次	富山県立大工学部4年
ハワード S. ベッカー	アウトサイダーズ	渡辺 健太郎	金沢大学人文学部3年
森山 晋平	名作アニメの風景50	甲野 真莉子	石川県立大学生物資源環境学部2年
小泉 武夫	不味い	長内 藍	金沢大学法学部3年
シェル・シルヴァスタイン	The Giving Tree - 大きな木	内藤 真八郎	福井大学工学部1年
森見 登美彦	四畳半神話体系	関野 静香	富山県立大工学部3年
米原万里	旅行者の朝食	森岡 春香	金沢大学人文学部1年

## 本/出場者一覧 (決勝)

著者	タイトル	氏名	所属
小泉 武夫	不味い	長内 藍	金沢大学 法学類3年
森山 晋平	名作アニメの風景50	甲野 真莉子	石川県立大学 生物資源環境学部 2年
鹿島田 真希	来たれ 野球部	荒井 健次	富山県立大 工学部4年
谷岡 一郎	「社会調査」のウソ -リサーチ・リテラシーのすすめ-	渡辺 健太郎	金沢大学 人文学類3年

### カターレ富山の選手と大学生のビブリオバトル

主催：富山県自主研究グループ「ブックコミュニケーショングループ」

日時：2015年3月5日 15時00分

場所：MAG.net 富山まちなか研究室

出場者数：12名

準決勝8名(大学生)、決勝6名(うち大学生4名、カターレ富山選手4名)

チャンプ本：森見 登美彦：恋文の技術

※ 本/出場者一覧は割愛いたします。



出場者のみなさま

## 「ビブリオバトル普及委員」名称利用申請

上田 敬太郎 (北陸地区)

石川県立図書館所属

連絡先【[kei2@muh.biglobe.ne.jp](mailto:kei2@muh.biglobe.ne.jp)】



### 1. はじめに

私は石川県立図書館に所属しているが、平成24年度に石川県内公共図書館初としてビブリオバトルを開催した。平成24年度に3回、25年度に5回ビブリオバトルを開催した。

### 2. 平成26年度の活動

平成26年度石川県立図書館でビブリオバトルを4回開催した。

4月26日(土)「目からうろこの図書館サービス ～石川県立図書館展」に合わせて石川県庁19階展望ロビーで「ビブリオバトル in 石川県庁19階展望ロビー」を開催し、司会をした。テーマは「大人も楽しめる子どもの本」で発表者は4名、参加者は43名だった。チャンプ本には『ルドルフとイッパイアッテナ』(斉藤洋/作)が選ばれた。

8月22日(金)夜「真夏の夜のビブリオバトル」を開催し、司会をした。テーマは「こわい本」で、蝋燭の灯りのもとで6名の発表者が発表した。参加者は50名。チャンプ本には『怪談24の恐怖』(三浦正雄/編)が選ばれた。

12月21日(日)「第11回ビブリオバトル」を「心があたたまる本」というテーマで開催し、運営に携わった。発表者は6名、参加者は38名だった。参加者6名のうち5名が高校生で、フレッシュな発表となった。スペシャル・ゲストとして高校生大会の代表による発表もあった。チャンプ本には『頭のうちどころが悪かった熊の話』(安東みきえ/作 下和田サチヨ/絵)が選ばれた。

1月21日(水)七尾市立図書館で七尾市立小中学校の司書を対象にビブリオバトルの研修会の講師をした。ビブリオバトルの説明をし、参加者によるミニビブリオバトル体験を開催した。ビブリオバトルの楽しさを知ってもらえたと思う。

3月15日(日)「第12回ビブリオバトル」高校生大会を開催し司会をした。発表者は5名、参加者は24名だった。チャンプ本には『孤独な散歩者の夢想』(ルソー/著 永田千奈/訳)が選ばれた。高校生によるビブリオバトルはとても好評である。

上記以外に個人として金沢ミステリ倶楽部で年1回開催しており、今年で3回目になるビブリオバトルを3月14日(土)に開催した。参加者10人で5人ずつ2回戦を行い、『推理小説雑学事典』(中村勝彦/監修)、『悪女について』(有吉佐和子/著)、『僕のメジャー Spoon』(辻村深月/著)、『虹の歯ブラシ』(早坂吝/著)の4冊がチャンプ本に選ばれ

た。

### 3. 今後について

平成 27 年度も石川県立図書館においてビブリオバトル数回開催する予定である。夏の夜のビブリオバトルが好評だったので、来年度もやってみたい。金沢ミステリ倶楽部のビブリオバトルも恒例になっているので、年度末に開催する。

## 中学生とおとなでビブリオバトル！～2014 年度の取り組み～

東 雅宏（北陸地区）



PTA として関わっています白山市立松任中学校で、「中学生とおとなでビブリオバトル！」を行っています。中学生が日頃から考えていることや思いをおとなとして共有していきたいという、PTA の思いから 2013 年度にスタートし、2 年目となりました。

生徒会の組織改選に合わせて年度の前半と後半に 1 回ずつの開催ですが、生徒やおとなが自分の思いを伝え合い、生徒同士や生徒とおとな間で「顔の見える関係」を作っていくことが徐々にできてきているように感じます。また、中学校内でも、学校図書館での本の紹介や生徒主催のミニ・ビブリオバトル開催も行われ、関心が高まっています。



2014 年度 1 回目開催の様子



2014 年度 2 回目開催の様子



生徒主催の「ミニ・ビブリオバトル」開催



学校図書館でも随時紹介

2014 年度のビブリオバトル結果	
開催日	2014 年 5 月 23 日(金)
参加者	約 60 人
発表者	5 人(中学生 3 人、おとな 2 人)
チャンプ本	『英雄の書』(宮部みゆき)
開催日	2014 年 10 月 23 日(木)
参加者	約 60 人
発表者	6 人(中学生 3 人、おとな 3 人)
チャンプ本	『マイ国家』(星新一)

松任中学校の概要  
 生徒数 856人  
 PTA会員数 837人  
 (うち、教職員数51人)

## 石川県立大学 2014 年度活動のまとめ

新村 知子 (北陸地区)  
shimmura@ishikawa-pu.ac.jp

石川県立大学では、前期にポケットゼミ (単位に関係のない授業) として 6 名のメンバーで 3 回、ビブリオバトルを開催し、後期には、参加人数を増やして、以下のように実施しました。

### 1回目 10月6日 (月) 参加 13名

今年度の初めての公開ビブリオバトルはマンガと本の2つの部門に分けて実施され、マンガ部門では6名、本部門では7名のバトラーが参加しました。投票の結果、マンガの部門では『式の前日』、本の部門では『名作アニメの風景 50』がチャンプ本になりました。そして、本の部門でチャンプ本を得た学生が 10 月 19 日 (日) に四高記念文化交流館で行われた全国大学ビブリオバトル北陸ブロック地区決戦へ出場することになりました。



### 2回目 10月19日 (土) 本学からの参加 8名

全国大学ビブリオバトル 2014 北陸ブロック地区決戦 (石川四高記念文化交流館) に上記の予選で決まった本学代表 1 名が参加し、応援に本学から 7 名が参加しました。北陸ブロックの各県内予選を勝ち抜いた 7 名がバトラーとして参加しましたが、残念ながら本学の学生はチャンプ本を逃しました。

### 3回目 10月25日 (土) 参加 22名 (学外含む)

響緑祭 (大学祭) のイベントとして公開ビブリオバトルを開催しました。6 名のバトラーがプレゼンをし、地元の図書館職員など学内外から多くの参加者がありました。この時

のチャンプ本は『いのちをいただく』になりました。熱心な学外の方からのコメントや質問も多く、たくさんの刺激をもらいました。

### 4回目 12月20日 (土) 本学からの参加 9名

金沢大学との合同ビブリオバトル・両大学学生交流会を金沢大学中央図書館にて開催しました。本学からはバトラー 4 名が参加し、金大の学生とのビブリオバトルを行い、本学の学生が『蜘蛛女のキス』でチャンプ本を得ました。その後、両大学の学生と一緒に学食で昼食を取り、金大のキャンパスを見学しました。参加者アンケートなどによれば、本学の学生たちはこの交流活動に強い印象を受け、とても充実した活動だったと述べています。

### 5回目 1月15日 (土) 参加 15名

今年度最後のビブリオバトルには、バトラーが 6 名参加しました。ビブリオバトルを初めて観るといふ学生が 3 名参加しました。この時のチャンプ本は、『Batman Mad Love』になりました。最後に、全員が今年度続けて参加してきたビブリオバトルの活動についてコメントしました。以下の通りです。

- ・何回かやってみて、緊張しないで話せるようになったので、話す練習になったと思う。
- ・何回やっても慣れないけれど、ビブリオバトルを見に来るだけで、なぜこの本を選んだのかとか、話し方とか、いろいろ参考になる。
- ・普段は本を読まないけれど、ここに来ると本を読みたいという気持ちになる。
- ・マンガの紹介を聞いて、自分では読まない新しいジャンルの本を読みたいと思った。
- ・人前で話すのが苦手だったが、やってみてよかった。金大でやったのは特に良かった。
- ・今までマンガしか紹介していないが、次回機会があれば、活字の本を紹介したい。
- ・自分の紹介したい本を語る機会がないので、とても良い。自分が読まないジャンルの本について話を聞くのがおもしろい。
- ・何回か参加してコツがわかってきたので、次はチャンプ本をゲットして賞品をねらいたい。
- ・前回うまく行かなかったので、次回リベンジしたい。

学生たちはビブリオバトルに何回も参加することで、自分の話し方や視点の変化や仲間の成長などに気づいたようです。多面的な学びや知的好奇心の広がり期待して、来年度も継続してビブリオバトルを開催していきたいと考えています。



## 吉野英知

関西地区代表

## 中津壮人

副代表

### ●主な活動団体（普及委員会関係）

- ・天満橋ビブリオバトル
- ・奈良県立図書情報館
- ・コーヒーショップ凡句来
- ・関西学院大学
- ・立命館大学
- ・英語でビブリオバトル
- ・橿原ビブリオバトル部
- ・三洋堂書店橿原神宮店
- ・生駒ビブリオ倶楽部
- ・ビブリオバトルふしみ
- ・夜カツ
- ・堺図書館ビブリオバトル倶楽部
- ・伊丹市立図書館ことば蔵ビブリオバトル部
- ・ビブリオバトル in にしのみや
- ・ビブリオバトル in なわて
- ・大和郡山ビブリオ
- ・ビブリオバトル in 同志社

## 活動報告

吉野 英知 (関西地区)

[yoshinohidetomo@gmail.com](mailto:yoshinohidetomo@gmail.com)



### 2014 年度活動内容

#### 1. 天満橋ビブリオバトル (主宰) の運営

- 毎月第3水曜 夜 19:30~21:00 に開催、2015年3月開催分が第53回。中津壮人委員、池内祥見委員とともに主宰。
- 大阪市内の各会場で社会人を中心として毎回25名程度がコンスタントに参加。夜開催、会費制、会場を転々とする、事前に発表者の確保を行わないなど、特徴的な運営。  
(\*14年は大阪府立中央公会堂、グランフロント大阪ナレッジキャピタル、紀伊国屋書店グランフロント大阪店等で開催)
- 関西地区で活動する人たちが集まるハブとしての機能も担う。

#### 2. 普及にかかる主たる講演・執筆活動

- 川西市教育委員会 講演 (2014/8/29)
- 大阪府立図書館 司書セミナー 講演 (2014/10/29)
- 国立国会図書館 カレントアウェアネス CA1830 新しい本の楽しみ方「ビブリオバトル」の多方面への展開動向 / <http://current.ndl.go.jp/ca1830>
- 計測自動制御学会 先端融合システムズアプローチ創出委員会 不利益システム研究会 (第11回)「知的書評合戦ビブリオバトル・不利益の流れを組む一大プロジェクト」

#### 3. 大規模なビブリオバトルイベントの支援

- ひょうご子ども読書活動推進フォーラム (2014/10~12) 全6回
- 全国大学ビブリオバトル2014 (2014/12/14)

以上

## 活動報告書

～ビブリオバトルの魅力伝えるメディア活用の模索7年を振り返って～



氏名：中津 壮人  
活動エリア：関西地区  
連絡先：nakatsutakehito@gmail.com  
活動先：■ 天満橋ビブリオバトル (2010年11月より開催)  
<https://www.facebook.com/bibliobattle>  
■ 図書館情報館ビブリオバトル (2011年3月より開催)  
<http://www.library.pref.nara.jp/event>

## 2014 REPORT

### 2014年の取り組み

現在、私は主に大阪市内でビブリオバトルを開催している「天満橋ビブリオバトル」と奈良県立図書館でのビブリオバトルを開催している「図書館情報館ビブリオバトル部」へ関わっています。それぞれ、毎月1回のペースでビブリオバトルを開催しており、地域の人を本で結ぶということをやっています。2014年度はこれら2つの開催継続を中心に活動してきました。2015年1月時点でどちらも50回を超える開催となりました。



#42 (4月)の様子  
(まちライブラリー @大阪府立大学)



#43 (5月)の様子  
(北浜 Links ギャラリーにて)



#44 (6月)の様子  
(グランフロント大阪 ナレッジサロンにて)

### 「天満橋ビブリオバトルの会場履歴」



#46 (8月)の様子  
(谷町空庭にて)



#49 (11月)の様子  
(紀伊国屋書店グランフロント大阪店)



図書情報館ビブリオバトルのフライヤー1年分（1月～3月は中津作成）

2014年の活動の特徴として、天満橋ビブリオバトルでは場所と転々と移しながら開催されたこと（前ページ図参照）と、天満橋ビブリオバトルの「招待状」を用意し広報に活用しました。図書情報館ビブリオバトルでは、3ヶ月まとめて計画を立て広報を実施していた（上図）ことが2014年の特徴です（広報面では奈良県立図書情報館の大きなサポートがありました）。

2015年は引き続き、場を継続していきますが、そこでのつながりの中からビブリオバトル以外の動きに発展していければよいと思います。

## HISTORY

### ビブリオバトル普及へのこれまでの関わり

普及委員がこういった関わり方をしてきたかを共有するのも、この活動報告の意図だと思いましたが、昔話も書かせていただきます。

そもそもの私のビブリオバトル普及への関わりは、大阪大学在籍時にサイエンスルーという学生団体で活動する中でビブリオバトルに出会ったことが始まりです。サイエンスルーは科学コミュニケーションにまつわる活動をしている団体で「あなたとわたしの問題意識を共有し、育てる」という理念でもって、様々な学問バックグラウンドを持つ学生により運営されていました。そんな「分野を超える」という団体にとって、様々な本や人と出会うことができるビブリオバトルは非常に面白い仕組みとして映っていたなと思います。1度メンバーで集まってビブリオバトルをやった時、これはすごくいい、と感じました。それが2009年6月でした。以後ビブリオバトルに関わっていくこととなります。



サイエンスルーでの第1回開催



ビブリオバトル動画を編集していた



絵をつくることから始めた  
紹介動画

その後、ビブリオバトル考案者の谷口さんらとサイエンスルーとして接点を持つことになり、普及委員会の発足にも関わるようになっていきました。そして、初期の普及委員会に参加する中で、私個人はビブリオバトル参加レベルを表す「ビブリオバトルバッジ」や「ビブリオバトル紹介動画」といった”普及ツール”の作成をしていきました。

一方、普及委員会が動き出した裏では、サイエンスルーはビブリオバトルをイベント型として開催する試行錯誤を進めていました。最初は閉じた会議室で開催していましたが、いろんな人が参加できるようにというところから、図書館のラーニングコモンズという開かれた場所で開催したり、スチューデントコモンズという開かれたスペースで開催するようになりました。このような開催の様子を残すために、動画の撮影、編集、アップロードという作業を私が受け持っていました。

そんな中で、紀伊國屋書店の方がサイエンスルーでのビブリオバトルに参加することがありました。そしてそれがキッカケで、紀伊國屋書店本町店でのビブリオバトル開催へとつながっていきます。まだビブリオバトルが認知されていない中での開催だったので、普及委員会とも連携して様々な工夫を重ねました。ひとつの仕掛けとして過去の発表の様子をまとめた動画を用意することになり、その動画の編集を私が担当することになりました。この本町店でのビブリオバトルは「街の人通りの多いところで開かれた」「初の書店開催」となり、読売新聞にも取り上げられ、のちの首都決戦開催へのひとつの足がかりとなりました。

その後大学を卒業して就職した私は、人のつながりがリセットされたような中で「会社だけで人脈が閉じるのはイヤだ」と考えていました。そこで思い出されたがビ

ブリオバトルでした。ビブリオバトルであれば人との接点をつなぐことができる、というある程度の確信がここまでの経験で固まっていました。

そして様々な縁が重なって、天満橋ビブリオバトルと奈良県立図書情報館でのビブリオバトルの立ち上げをすることになります。広報ツールとして、ビブリオバトルのためだけのホームページや各回雰囲気を変えたフライヤーを用意して、認知されていなかったビブリオバトルに触れてもらおうと動きました。また「ビブリオバトルx○○○」という、他の試みとの重ねあわせでビブリオバトルがより楽しくなるのではという試行錯誤を周りの協力のもと進めたりもしました。特に反響が大きかったものは、浴衣でビブリオバトルするというものと、R-18 なキワドイ本を持ち寄る番外企画の「オトナのビブリオバトル」でした。

また開催を続けていると「自分でも開催してみたい」という声を聞く機会も出てきました。そして、堺市図書館や明石図書館、生駒市図書館での初開催のお手伝いで動いたりしました。

活動報告ということで振り返ってみると、様々な人が関わってビブリオバトルがここまで続いてきているんだなと思います。今後も、ビブリオバトルの楽しさ・良さを広げる活動に私も微力ながら関わっていきたいと思います。



天満橋ビブリオバトルの様子



## 活動報告書



新谷 安文 ・関西地区  
奈良県吉野郡吉野町檜井495-1  
コーヒーショップ凡句来  
0746-32-818187 e-mail : bonkura.ny@gmail.com

奈良県吉野で2013年より当店(コーヒーショップ凡句来)で、ビブリオバトル(The cafe ビブリオバトル in 凡句来)を開催している新谷です。昨年度、は2014、7月、10月・2015、1月と計3回の開催を実施し、基本的には年4回の定期開催を定着させつつあります。各開催とも、4冊~5冊の本が紹介され、参加人数は約10名程度に落ち着き、毎回初参加の方もおられますが、結構雰囲気もよく有意義な開催となって、それぞれに楽しんでもらっているかな、と感じています。地域で「ビブリオバトル部」というような組織をつくり組織的な活動はしていないので、なかなか地域への浸透は時間がかかるかとは思っていますが、参加していただいた方の口コミにより今まで開催も続けてこられました。次回開催でようやく10回目の開催を迎え、また新たな思考等を考えながらより親しみのある、カフェならではのそして、奈良・吉野のビブリオバトルと地域の皆様はじめ広く親しんでいただけるようなものに造りあげていきたいと思っています。幸い、町内の学校の先生の中にも積極参加していただいている方もおられますので今後は少しずつ学校・教育関係者のほうへと啓発し理解を深めていただく努力をしていきたいと考えてます。

また、近隣市の桜井市の桜井市立図書館でも開催のお願いなどを行い、昨年度は数回開催をしていただいております。こちらの方は図書館主催で基本的にすべてお任せをして開催をしていただいておりますが、近隣高等学校への参加依頼などをしていただき高校生を中心にまた違った雰囲気の中で世代を超えたコミュニケーションを図り交流を深めているような状況です。どちらの開催も、開催報告はブログ等において事務局のほうに発信させていただいていることと思います。一番最近の開催の報告を添付しておきます。  
<http://ameblo.jp/3405644/entry-11981405197.html>

最後に今後も、微力ですが、皆様の仲間の末席において普及活動を続けていきたいと思っておりますのでよろしくご指導のほどをお願いいたします。

## ビブリオバトル普及委員 2014 年度活動報告書



満田弘樹（関西地区）

[hirokimitsuda@gmail.com](mailto:hirokimitsuda@gmail.com)

### 【年間活動概要】

職場の関西学院大学生協キャリア・書籍事業部の事業の一環として実施し、私が司会をしています。発表本はPOPなどつけて大学内書店に陳列販売しています。

日時を指定しての発表者募集では上手く集まらないため、先に発表者を募集してから、応募者の都合の合う日時で開催する流れにしています。しかし学生も忙しく、日程調整に苦労しています。

2014 年度は体調不良による休職が長かったため、自主開催 1 回、共催 1 回の計 2 回のみでした。

伊丹市立図書館「ことば蔵」のビブリオバトル部としても活動していましたが、双子の出産による育児のため、2014 年 5 月より活動を休止しました。

### 【2015 年度方針】

発表者の応募よりも観戦者集客が上手くいっていませんが、2015 年度も引き続き開催予定です。大学生協の書籍事業として業務時間内に行っていますが収益性はなく仕事の繁忙期には行えないため、春学期 2 回、秋学期 1～2 回程度の開催を予定しています。

また、これまで普及委員の名称を有効活用する機会はありませんでしたが、今後、ホンシェルジュ(<http://honcierge.jp/>)という書評・読書推進サイトに定期的に記事を寄稿する予定で、執筆者プロフィールに、ビブリオバトル普及委員の名称を使用予定です。

### 【2014 年度 開催内容】

①2014 年 5 月 29 日(木)

「第 4 回ビブリオバトル in 関学生協(<http://kgcoopbook.blogspot.jp/2014/05/in.html>)」

発表者：2 名（発表応募は 4 名あったが、日程が合うのがこの日時で 2 名のみだった）

参加者(発表者含む)：7 名

発表本；☆がチャンプ本

☆1. 宮内悠介『盤上の夜』（創元 SF 文庫）

2. 川上未映子『わたくし率、イン歯一、または世界』（講談社文庫）



©2014年10月19日(日)

「ビブリオバトル京都決戦 関西A, B地区 予選会」

(<https://www.facebook.com/kgaclibrary/photos/a.192087947644424.1073741828.190919227761296/301649566688261/?type=1&theater>)

大学公式の学生団体「関西学院大学三田キャンパス アカデミックコモンズ本棚プロジェクト Bibly」([http://www.kwansei.ac.jp/kgac/kgac\\_006842.html](http://www.kwansei.ac.jp/kgac/kgac_006842.html))との共催で予選会を行いました。宣伝は共同で行い、ポスター作成は学生、発表申込システムの提供・会場提供・司会を私が務めました。他大学からの参加が2名ありました。(大阪大学・甲南大学)

発表者：6名

参加者(発表者含む)：9名

発表本：☆がチャンプ本

- ☆1. 古田靖『アホウドリの糞でできた国』(アスペクト)
2. 桜井章一『雀鬼流。』(三五館)
3. 西角けい子『やる気0の子が全国1位になった上手なほめ方、叱り方』(PHP 研究所)
4. 森山徹『ダンゴムシに心はあるのか』(PHP 研究所)
5. 中島義道『私の嫌いな10の言葉』(新潮社)
6. 麻生香太郎『誰がJ-POPを救えるか?』(朝日新聞出版)



## 2014年度ビブリオバトル普及委員活動報告書

木村修平

立命館大学生命科学部生命情報学科准教授

[kimuras@fc.ritsumei.ac.jp](mailto:kimuras@fc.ritsumei.ac.jp)

### 2014年度の総括

2014年度は、立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)で開催された「くさつビブリオバトル2014@BKC」と立命館大学朱雀キャンパスで開催された「ビブリオバトル・シンポジウム2014」という2つの大きなビブリオバトル関連イベントで実行委員長をつとめた。

### くさつビブリオバトル2014@BKC

くさつビブリオバトル2014@BKCは、立命館大学BKC開設20周年記念事業および草津市市制60周年連携事業の一環として2014年11月15日(土)に開催された。立命館大学BKC事務局、草津市教育委員会、立命館守山中学・高等学校の関係者らが実行委員会を組織し、後援にビブリオバトル普及委員会、滋賀県、滋賀県教育委員会を、協賛に立命館生活協同組合、大垣書店に加わっていただいた。小学生・中学生・高校生・大学生・一般の部、そして英語でビブリオバトルという6部構成で行った。大学生の部は「全国大学ビブリオバトル2014—京都決戦—」の地区決戦(関西Dブロック)として行われた。のべ250名の参加者で賑わう大会となった。



### 【関連情報】

「くさつビブリオバトル2014@BKC」を開催

[http://www.ritsumei.jp/pickup/detail\\_j/topics/13163/date/11/year/2014](http://www.ritsumei.jp/pickup/detail_j/topics/13163/date/11/year/2014)

## ビブリオバトル・シンポジウム 2014

ビブリオバトル・シンポジウムは、ビブリオバトルについての実践や研究に関する意見交換、情報交換を行う場を創設するという構想からスタートし、2014年12月13日（土）に立命館大学朱雀キャンパスで開催された。ビブリオバトル普及委員会を中心に実行委員会を組織し、後援には文部科学省をはじめ数多くの図書館、教育委員会に加わっていただいた。また、協賛にはアカデミック・リソース・ガイド株式会社、株式会社さ・え・ら書房、立命館生活協同組合、日本出版販売株式会社、株式会社紀伊國屋書店が加わって下さった。「全国大学ビブリオバトル2014—京都決戦—」の前日に据えたこともあり、シンポジウムには194名の参加者を数え、初めての試みとしてはまずまずの集客となった。終了後に回収したアンケート結果をみると次回の開催を望む声が多く、ビブリオバトルに関する知見や情報を交換する場の需要の高さを伺わせた。



## 「英語でビブリオバトル」活動報告



近藤雪絵（関西地区）  
立命館大学 講師（英語）  
kondoyu@fc.ritsumei.ac.jp

近藤雪絵は京都・滋賀で「英語でビブリオバトル」の企画・開催を中心に活動している。2014年度は9月に他大学の教員と共同し、「英語でビブリオバトル大学生大会」を実施した。11月には、「くさつビブリオバトル2014@BKC」の実行委員として、「英語部門」の実施に協力した。また、8月に2013年度の取り組みの成果と考察を、全国英語教育学会徳島研究会にて発表した。「英語でビブリオバトル」はまだ競技人口が発展途上であるため、英語話者への参加を呼びかけやすくするため、ルール説明の動画（英語）をYouTubeで公開した。

### ビブリオバトル開催

名称	英語でビブリオバトル 大学生大会
日時	2014年9月6日
開催地	キャンパスプラザ京都
参加者	7名（大学生）
チャンプ本	『黒猫』（エドガー・アラン・ポー 著）
参考URL	<a href="https://www.facebook.com/events/316039131880774">https://www.facebook.com/events/316039131880774</a>
備考	京都産業大学、近畿大学の教員との共同開催。

### ビブリオバトル実施協力

名称	くさつビブリオバトル2014@BKC 英語部門
日時	2014年11月6日
開催地	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
参加者	5名（大学生、一般）
チャンプ本	『胡蝶の夢』（司馬遼太郎 著）
参考URL	<a href="http://www.ritsumei.jp/pickup/detail_j/topics/13163/date/11/year/2014">http://www.ritsumei.jp/pickup/detail_j/topics/13163/date/11/year/2014</a>
動画URL	<a href="https://www.youtube.com/playlist?list=PLDM7XChcNkbDLVc1guE_SIWzgtzm4QE_1">https://www.youtube.com/playlist?list=PLDM7XChcNkbDLVc1guE_SIWzgtzm4QE_1</a>
備考	実行委員として実施に協力。

## 口頭発表

1. 「立命館大学・京都産業大学・近畿大学合同『英語でビブリオバトル大学生大会』の実践報告」近藤雪絵, 大賀まゆみ, 全国英語教育学会, 第40回全国英語教育学会徳島研究大会, 2014年8月9日, 於 徳島大学

2. ビブリオバトル・シンポジウム2014, 2014年12月12日, 於 立命館大学 朱雀キャンパス

※ パネルディスカッション (学校教育)、ポスター発表に参加。

## その他

「英語でビブリオバトル」ルール説明の動画作成・公開



[http://youtu.be/\\_Vje3a7b8xY](http://youtu.be/_Vje3a7b8xY)

## メッセージ

「英語でビブリオバトル」の仲間を募集中です！

## ビブリオバトルの楽しみ

川西 香子 (関西地区)

toko.ohanashi@gmail.com

奈良県橿原市にて活動をしています。

橿原ビブリオバトル部に所属し、部の立ち上げから関わってきました。現在、部の代表をしています。月に一度、基本的には第一日曜日に、午前中は読書会、午後はビブリオバトル、といった形で活動しています。徐々にメンバーも増え、仲間とともに和気あいあいと楽しんでいます。読書会はメンバーからの提案で始めました。ビブリオバトル部の読書会なので、特色を持たせるため、ビブリオバトルでチャンプになった本を対象にしています。また、橿原市立図書館や三洋堂書店橿原神宮店のみなさまとも一緒に活動しています。

ビブリオバトルを通して年齢や職業をこえたつながりができ、回を重ねるたびに、新しい発見や驚きがあります。また、メンバーそれぞれのつながりから、さらに仲間の輪が広がっています。これからも、本を通してたくさんの人と出会っていけたら嬉しいです。そして、この楽しみをたくさんの方々に伝えていきたいと思っています。

今後ともどうぞよろしくお願いします。

### 【2014度 橿原ビブリオバトル部 活動報告】

2014年 5月3日 読書会 vol.1 米原万里「嘘つきアーニャの真っ赤な真実」

ビブリオバトル#3 テーマ「こども」2部制

6月1日 読書会 vol.2 ジェームズ・クラベル「23分間の奇跡」

三洋堂書店橿原神宮店 vol.9 テーマ「紫」2部制

7月6日 部会読書会 vol.3 宮沢賢治「銀河鉄道の夜」

ビブリオバトル#4 テーマ「星」2部制

8月3日 三洋堂書店橿原神宮店 vol.10 テーマ「ホラー」

9月7日 第一回いちにちまるごと札の辻！

午前 読書会 vol.4 サン・テグジュペリ「夜間飛行」

午後 ビブリオバトル#5 テーマ「逢瀬」2部制

10月5日 読書会 vol.5 梨木香歩「西の魔女が死んだ」

三洋堂書店橿原神宮店 vol.11 テーマ「行楽」

11月3日 第2回橿原市立図書館ビブリオバトル テーマ「秋」

12月7日 読書会 vol.6 三浦しをん「風が強く吹いている」

三洋堂書店橿原神宮店 vol.12 テーマ「プレゼント」

2015年 2月1日 部会読書会 vol.7 灰谷健次郎「太陽の子」

三洋堂書店橿原神宮店 vol.13 テーマ「鬼」

3月1日 第2回いちにちまるごと札の辻！

午前 読書会 vol.8 川端康成「伊豆の踊子」  
午後 ビブリオバトル#6 3部制 ジャンルしぼり  
ジャンル「文豪」  
ジャンル「ライトノベル」  
ジャンル「ノンフィクション」

榎原ビブリオバトル部の活動の様子は、Facebook およびホームページにてご覧いただけます。

Facebook <http://www.facebook.com/kashihara.biblio>  
ホームページ <http://kashiharabiblio.jimdo.com/>  
連絡先 [kashihara.biblio@gmail.com](mailto:kashihara.biblio@gmail.com)



## ビブリオバトル普及委員活動報告書

明石 友貴 (関西地区)



ホームページ <http://ikomabiblio.jimdo.com/>  
フェイスブック <https://www.facebook.com/ikomabiblio>  
ツイッター @ikomabiblioclub  
ブックログ <http://booklog.jp/users/ikomabiblio>

【活動の概要】 ビブリオバトル普及委員としての各種活動を行った。

### 1) 主催者としての活動

生駒ビブリオ倶楽部員として定期的開催  
奈良県立図書情報館ビブリオバトル部員として定期的開催  
榎原ビブリオバトル部の顧問として活動 等

### 2) 発表者としての活動

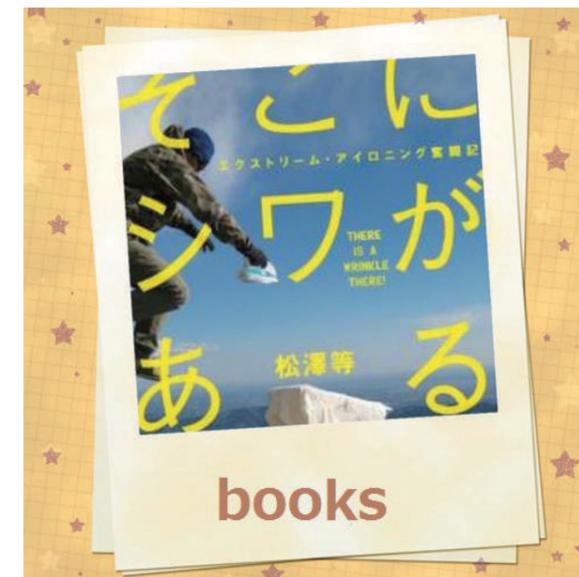
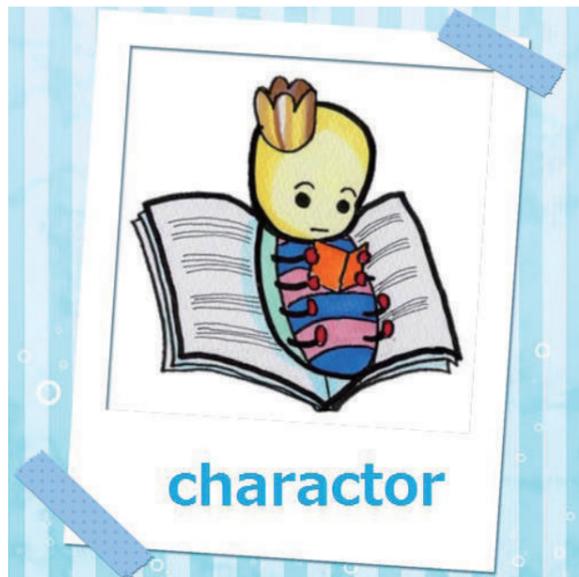
天満橋ビブリオバトル、紀伊國屋書店ビブリオバトルで発表 等

### 3) 観戦者としての活動

天満橋ビブリオバトル、ビブリオバトルふしみ 等

### 4) その他の活動

ビブリオバトル春のワークショップで事例発表  
ビブリオバトル体験講習会の開催  
ビブリオバトルシンポジウムでポスター発表、司会 等



2014年		内容
発		1月13日 ビブリオバトルin立誠
発		1月16日 天満橋ビブリオバトル遠征回#39 inグランフロント大阪ナレッジサロン
発		1月25日 ウィンター・スター・フェスティバル@明石市立西武市民会館
主	観	1月26日 第13回ビブリオバトルinいこま テーマ「和」
	観	2月1日 ビブリオバトル@紀伊國屋書店新宿南店 第1ゲーム
発		2月1日 ビブリオバトル@紀伊國屋書店新宿南店 第2ゲーム
	観	2月1日 ビブリオバトル@紀伊國屋書店新宿南店 第3ゲーム
主	発	2月2日 第1回ビブリオバトルinなわて テーマ「大人も楽しい!子どもの本」
	観	2月19日 天満橋ビブリオバトル #40in谷町空庭
	観	2月22日 ビブリオバトルin紀伊國屋書店グランフロント大阪店 第1ゲーム
発		2月22日 ビブリオバトルin紀伊國屋書店グランフロント大阪店 第2ゲーム
	観	3月9日 第2回「ビブリオバトル in ゆいぴあ」
主	観	3月15日 第39回奈良県立図書情報館ビブリオバトル
発		3月16日 第9回伊丹市立図書館ことば蔵ビブリオバトル
発		3月19日 天満橋ビブリオバトル#41 in グランフロント大阪ナレッジサロン
発		3月22日 第2回ビブリオバトル@三田市立図書館
主	観	3月23日 ビブリオバトル関西大会inいこま
	観	3月29日 第3回ビブリオバトルin伏見 第1ゲーム
発		3月29日 第3回ビブリオバトルin伏見 第2ゲーム
発		4月6日 和東茶カフェ at 運潮寺
	観	4月16日 天満橋ビブリオバトル#42 in なんばまちライブラリー
主	発	4月19日 第40回奈良県立図書情報館ビブリオバトル
	観	4月20日 ビブリオバトル in さかい #15

2014年		内容
主	発	4月27日 第14回ビブリオバトルinいこま テーマ「応援」
主	発	5月4日 ビブリオバトル@アースデイ神戸2014
	発	5月10日 ビブリオバトル@紀伊国屋書店グランフロント大阪店 ゲーム
主	観	5月18日 第15回ビブリオバトルinいこま テーマ「出会い」@ 駅前図書室
	発	6月14日 ビブリオバトル春のワークショップ2014
	他	6月15日 ビブリオバトル春のワークショップ2014
	発	6月18日 天満橋ビブリオバトル#44 in グランフロント大阪北 レジキャピタル
主	観	6月22日 第16回ビブリオバトルinいこま テーマ「犬。猫。」
主	発	7月6日 榎原ビブリオバトル #4 @榎原ナビプラザ
	発	7月12日 第7回ビブリオバトルin伏見
	発	7月12日 ビブリオバトルinいながわ (atカフェ・プーランク)
	発	7月16日 天満橋ビブリオバトル #45 in 大阪市中央公会堂
主	観	7月19日 第43回奈良県立図書館ビブリオバトル
	発	7月25日 ビブリオバトル体験講座
主		7月27日 第17回ビブリオバトルinいこま「海・山」
主	観	8月19日 暁天ビブリオバトル feat. 大安寺 (第44回奈良県立 報館ビブリオバトル)
	発	8月20日 天満橋ビブリオバトル夏休みスペシャル #46 in 谷町
	発	8月20日 R-18 オトナのビブリオバトル
主	発	8月24日 第18回ビブリオバトルinいこま「祭り」
	発	9月13日 第2回「知的書評合戦ビブリオバトル 一般の部」@ 市立中央図書館
	発	9月17日 天満橋ビブリオバトル #47 @北浜Links
主	発	9月20日 第46回奈良県立図書館ビブリオバトル

2014年		内容
主	発	9月23日 読まなきゃ！2014@神戸市勤労会館
	発	9月28日 第19回ビブリオバトルinいこま「友」
主	観	10月5日 ビブリオバトルvol.11 in 三洋堂書店榎原神宮店
	発	10月12日 <戦国ビブリオバトル> @伊丹市立図書館ことば蔵
主	発	10月18日 第47回奈良県立図書館ビブリオバトル
主	観	10月19日 大学生大会京都決戦2014の生駒地区予選
主	観	10月19日 第20回ビブリオバトルinいこま「顔」
	発	10月25日 スイッチ読書会@JamesTaylorイオンモール和歌山店
主	発	11月2日 和東ビブリオバトル#4 in茶源郷まつり
	発	11月3日 第2回ビブリオバトル-知的書評合戦-@榎原市立図
	発	11月12日 天満橋ビブリオバトル#49 紀伊国屋書店グランフ 大阪店
主	発	11月15日 第48回奈良県立図書館ビブリオバトル
	観	11月22日 第1回ビブリオバトルin大和郡山@ジャパンプックス
	他	11月29日 第一回八尾図書館ビブリオバトル
主	観	11月30日 大学生大会京都決戦2014の奈良地区決戦
主	観	11月30日 第21回ビブリオバトルinいこま「味」
	他	12月14日 ビブリオバトルシンポジウム2014
	発	12月17日 天満橋ビブリオバトル第50回@心齋橋 Afu
主	発	12月20日 第48回奈良県立図書館ビブリオバトル
主	発	12月21日 第22回ビブリオバトルinいこま「今年1番わたしの め」
	発	12月29日 ビブリオバトルin紀伊国屋書店新宿南店/年末恒例! れ☆オールスター2014

# ビブリオバトル普及委員

## 2014年度活動報告

益井 博史 (関西地区)

ビブリオバトルふしみ 代表



アイコンは代表が  
折り紙好きだから

### ビブリオバトルふしみ

月に一度京都伏見のどこかでビブリオバトルを開催。

設立：2013年9月

開催回数：のべ15回

メンバー：19名 (2015年3月14日現在)

FB : <https://www.facebook.com/bibliobattle.fushimi>

Twitter : @BiblioB\_Fushimi

Mail : bibliobattle\_fushimi@yahoo.co.jp

### 実施活動

※自身の他団体への出場・観戦の開催は除く



**9月**

**メディア**

9/19(金) リビング京都  
本が生み出す“人とのつながり”  


**開催**

9/20(土) 第9回ビブリオバトルin伏見  
場所：龍谷大学深草町家キャンパス  
テーマ：あの頃  
バトラー：5名  
観戦者：10名  
**1周年**  


**メディア**

9/20(土) 京都新聞夕刊  
「土曜フォーカス2014」  


**開催**

9/25(木) J:COMチャンネル  
「関西TODAY」  


**メディア**

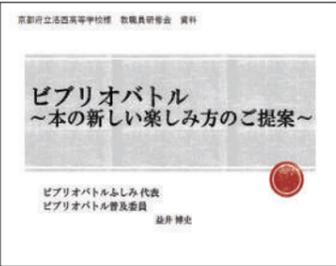
9/30(火) KBS京都ラジオ  
「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」  
“嘶の朝ごはん” コーナー出演  


**10月**

**開催**

10/25(土) 第10回ビブリオバトルin伏見  
場所：伏見青少年活動センター  
第1部「京都決戦関西Cブロック予選会」  
バトラー：5名  
観戦者：7名  


**講演**

11/12(木) 洛西高等学校教職員研修  


**11月**

**開催**

第2部「いつものビブリオバトル」  
テーマ：実り  
バトラー：5名  
観戦者：8名  


**12月**

**開催**

11/23(日) 第11回ビブリオバトルin伏見  
場所：伏見青少年活動センター  
第1部「京都決戦関西Cブロック地区決戦」  
バトラー：4名  
観戦者：25名  


**開催**

第2部「ビブリオバトル with 桃レシピコンテスト」  
テーマ：桃  
バトラー：5名  
観戦者：10名  
チャンプ本を獲得すると、桃レシピコンテスト受賞作品が食べられる特典付き。  


**運営補助**

12/14(日) 全国大会ビブリオバトル2014  
～京都決戦～  


準決勝⑤司会

**メディア**

12/1(月) 京都伏見の魅力発信！  
『UTTOCO』Web版  


**講演**

12/4(木) 和高教学校司書部研究会  


**パネラー**

12/13(土) ビブリオバトル・シンポジウム2014  
パネルディスカッション③図書館  


事例紹介  
「図書館利用者としてのビブリオバトル」

**開催**

12/19(金) 第12回ビブリオバトルin伏見  
場所：びあびあ  
テーマ：2014年  
バトラー：5名  
観戦者：10名  


「ポットラック忘年会」

**2015年1月**

**開催**

1/24(土) 第13回ビブリオバトルin伏見  
場所：伏見青少年活動センター  
テーマ：初  
バトラー：6名  
観戦者：5名  


## 活動報告書

池内 祥見 (関西地区)  
ikeuchi[at]arch.eng.osaka-u.ac.jp  
([ at ]を@に変更ください)



### ●基本的な活動

大阪の天満橋を中心に活動をしている「天満橋ビブリオバトル」を2010年11月より開始し、毎月開催して2015年3月で53回を数えます。主催は関西地区の地区代表である吉野と、(副)地区代表の中津と私の3名で行っています。

天満橋ビブリオバトルは、「大人の社交場」、「大阪市内で楽しむ紳士・淑女による社会人サークル」を標榜し、毎月第3種曜日19時半スタートを基本として活動しています。社会人を中心に、学生から年配の方まで毎回幅広い世代の方にご参加いただいております。

2013年後半からは元の開催場所だった天満橋の飲食店を離れ、グランフロント大阪や大阪府立大学のサテライトキャンパス内など、開催場所を転々としながら、大阪市内の複数の場所においてビブリオバトルを開催しております。私は主に開催場所の手配・交渉、ならびに当日の実施(たまに司会)・運営を行っています。

- ・天満橋ビブリオバトルのHP(facebook ページ) <https://www.facebook.com/bibliobattle>  
※詳細、開催風景等はHPをご覧ください。

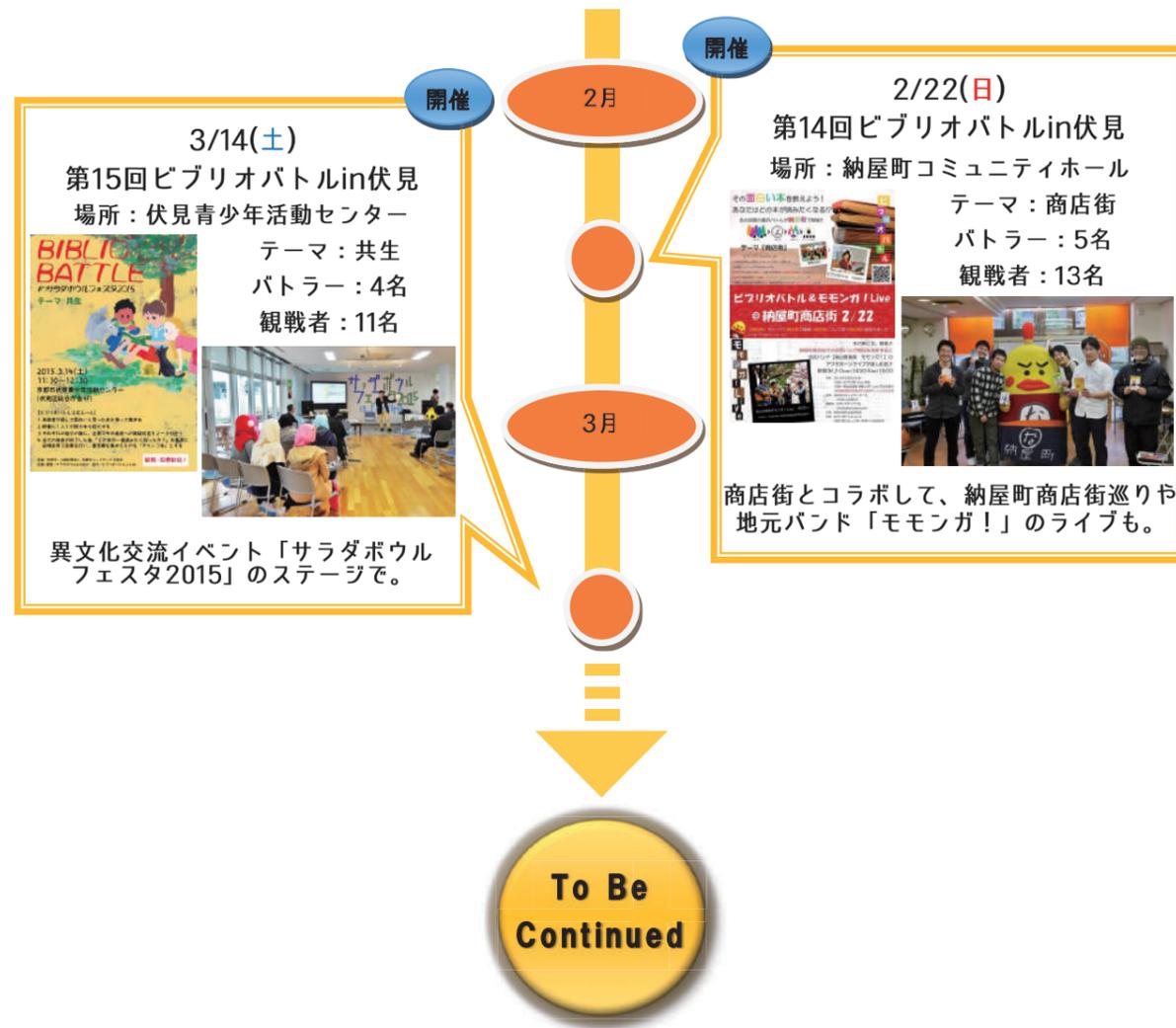
### ●その他周辺の活動

天満橋ビブリオバトルは、関西周辺でビブリオバトルを新しく始められる際の相談・サポート窓口として機能している面もあります。開催を考えておられる主催者の方や図書館の司書さんが天満橋ビブリオバトルに参加されて運営の参考にしていただくこともあります。過去には伊丹ことば蔵、堺市立図書館、西宮市立北口図書館などの立ち上げのお手伝いに関わり、発表者を務めさせていただいたりしています。

昨年11月には天満橋ビブリオバトルに普段参加いただいている方の活動から発展して、八尾図書館での第一回ビブリオバトルが行われました。この時も発表者の調整役などで簡単なお手伝いさせていただきました。

その他、時々になりますが、奈良県立図書館情報館のビブリオバトルへ部員として参加したり、水都大阪や地域のお祭りなど毎月の通常実施とは異なる形でのイベントの実施や他団体との連携なども行っており、その辺りの交渉・調整も担当しております。

主催者の方や図書館関係の方で、新規開催を検討されていてお困りの場合はお気軽にご相談ください。開催場所についての提案(「ここでやって欲しい!」)も喜んで受け付けます。



### 2014年度活動報告

開催回数：12回 (WSは除く)	開催会場数：6か所
総ゲーム数：14回 (WSは除く)	講演回数：4回 (シンポジウム含む)
総バトラー数：のべ69人	メディアで取り上げられた数：7回
総観戦者数：のべ147人	新しく出会った本と人：数え切れず

ご覧いただきありがとうございました。

ビブふし製

「チャンプのしおり」→



## 37歳のおっさん、ビブリオバトルで友達ができました。

江上 昇（関西地区）  
連絡先：facebook「江上昇」  
団 体：「夜カツ」

(URL) <https://www.facebook.com/amagasaki.yorukatsu>



尼崎市でビブリオバトルに取り組んでいる江上です。  
職場の若手職員が集まる勉強会「夜カツ」にて、毎回テーマを替えて様々なイベントを実施してきたのですが、試しにビブリオバトルをやってみたらとんでもなく盛り上がり、見事にハマってしまって、現在に至ります。

始めは仲間内で楽しんでやっていただけだったのが、そのうち図書館やショッピングモールで、公開で開催するようになり、昨年12月には、教育委員会の協力を得て、地元のNPOと共催で実施するまでになりました。

ある会をご覧になられた市の教育委員さんと意気投合し、今は、尼崎市内の各学校での導入を目指し、活動を続けています。

取り組んでいて感じるのは、本当に「本を通して人を知る」ことができるということ。その人の価値観や生き様を、ビブリオバトルを通じて知ること、「同じ会社で一緒に勉強している人たち」という距離感だったメンバー達のが、なんだかずっと昔からの知り合いのように思えてきて、今では「仲間」とか「戦友」みたいに感じています。一緒にバカな企画をやったり、合宿したり、そんなことができる新しい友達が、この年齢で得られるとは、なんて幸せな人生なのだろう、と思ったりしていますが、少々大げさでしょうか。

また、かつては読書の虫で、大学も文学部に進んだのですが、働き出してから多忙にかまけて、ひどい年には、年に10冊も読まないときも。それがビブリオバトルに出会ってからは、「みんなに紹介したい本を開拓しよう」というよこしまな気持ちもあり、暇を見つけては多ジャンルの本を手取るようになりました。その中で、自分の人生に大きな影響をもたらしたり、感動とモチベーションを与えてくれる本に出会ったり、新たな喜びを見つけ出しています。ビブリオバトルがなければそれらの本に出会わなかったか、それとも人生のもっと後で会うことになったかもしれない、と思い、本当にビブリオバトルとの出会いに感謝しています。

〈開催実績〉

第8回「夜カツ！ビブリオバトル in AKカフェ」  
テーマ「神さま」 2014年5月12日

第9回「夜カツ！ビブリオバトル in 教育総合センター」  
テーマ「闇」 2014年6月30日

第10回「夜カツ！ビブリオバトル in あまがさきキューズモール」  
テーマ「夏休み」 2014年7月20日

第11回「夜カツ！ビブリオバトル in AKカフェ」  
テーマ「漫画ビブリオ」 2014年9月25日

第12回「夜カツ！ビブリオバトル in 教育総合センター」  
テーマ「欲」 2014年10月6日

「みんなでビブリオバトル in ピッコロシアター」 2014年12月20日

第1部「お母さんビブリオ」  
テーマ「子どもにも読んで欲しい本」

第2部「夜カツ！ビブリオバトル年間チャンピオン大会」  
テーマ「今年一番読んで欲しい本」

## ビブリオバトル活動報告書

志賀 さな恵（関西地区）



「本は読まない。時間もないし…漫画の方が気楽。」

この手のコメントは私の周りでよく聞かれるセリフで、確かに仕事や読書以外の趣味を謳歌している人には読書の時間というのは少し手間のかかる行為だと思います。私自身は、というと、「本は読むけど、話題書ばかり。しかも恒常的に読むというよりは『活字が読みたい！！』という欲求が生まれた時にしか読まない。」という正直このビブリオバトル普及委員を名乗って良いものか首をひねる人間です。ただ、欲求に突き動かされて本を読み始めるので、読み始めるときには無駄にテンションが高く、読後は小説であれば物語の続きを妄想し、自己啓発本であれば今の自分を振り返る。ノンフィクションの場合は胸を痛めたり、自分に置き換えて号泣する…と傍から見たら騒がしい読者です。でも、冒頭のセリフをよく耳にする私としては、急に「昨日読んだ本がね、」と話し始めてもあまり話が進むとは言えません。「読書」というものは孤独に楽しむ趣味でありました。

そんな中ビブリオバトルと出会いました。そこから「読書」という行為が単に一人で楽しむものではなく、みんなで楽しめるものになりました。

元々私は職場の自主研修グループに所属しており、「新しいものを面白く」をモットーに活動しています。ビブリオバトルもメンバーの一人が「面白そうだからやってみよう」というところから始まりました。グループの所属メンバーは前向きで一生懸命な人たちですが、「読書は全くしない。」という人も半分くらいいました。嫌がるメンバーも無理やり参加させた第一回目。テーマは「ほかのメンバーにおすすめしたい本」という、あまり本を限定しないようにしました。

色んな本に、色んなプレゼン。それぞれのメンバーの個性が浮き彫りになり、今まで知らない一面も垣間見ることが出来ました。また、2～3分のディスカッションタイムは緊張であり質問が出ませんでした。終わった後の飲み会では感想の言い合いで大盛り上がり。「その本貸して！」という声も聞こえてきました。

それからというもの、グループ内だけに留まらず、ほかの職員にも声をかけ、多いときは10名ほどの発表者の中で開催しました。出場者は回数を重ねるごとに発表内容が深くなり、勝負本も書店で平積みされている本よりもコアはジャンルが増えてきています。みんな、勝負、となると色々考えて来るのもすごく面白いです。(もちろん、「オススメ本」を用意する、という大原則は曲げていません。)

「ビブリオバトルは面白い。もっと広めたい。」と思ってからは、様々な方の協力を経て、大型ショッピングモール「キューズモール尼崎」の中で開催しました。出場者はお客さんが買い物されている横で5分間公开发表する、というなかなか度胸のいることをやったのけました。私も発表したのですが、なかなか恥ずかしいものです。人の足を止めることはとても難しかったです。数名が座り込んで聞いてくださり、また終わった後詳しくビブリオバトルについて聞いてくださる方もいらっしゃいました。配布したチラシもきちんと持って帰ってくださったようでした。

その後は、ビブリオバトルについて関心を持ったNPOの方々が「子どもの読書離れ対策に良いのではないか。」ということで、子ども向けのイベントを共同で企画しました。ただ、企画時間が思うように取れなかったため、子ども向け、というよりは小学生のお子さんを持つお母さんと一緒に開催させていただきました。お母さん方はビブリオバトルというものは知らなかったようですが、5分間、しっかり話をしてくださり、初心者とは思えない発表をしていただき、観覧に来られていたお母さん方もとても感心しておられました。また、「次はもっと練習してきます！」と次を楽しみにしてくださる感想もいただきました。

今後は職場内で開催することは続けつつ、子どもたちだけの開催を夏に予定しております。まだまだ子どもたちの普及には時間がかかりますが、少しずつ進めていけたらと思っています。そして、読書のまた新たな楽しみ方も多くの人に知って欲しいと思っています。

# 中国地区



## 谷口忠大

中国地区代表

### ●主な活動団体（普及委員会関係）

- ・ビブリオバトル岡山
- ・ビブリオバトル山口
- ・島大 Spirits!
- ・鳥取環境大学
- ・広島県立図書館
- ・尾道市立大学

## ビブリオバトル岡山活動報告書

澤根哲郎

[sawane@sawane.com](mailto:sawane@sawane.com)

ビブリオバトル岡山では、2014年に第5回から第8回までの4回、2015年に第9回を実施しました。引き続き第10回を4月18日に実施します。

第5回：2014年1月18日

参加者9名、プレゼンター5名、懇親会参加者8名

プレゼン本（プレゼン順）

- ・『弓道士魂 完全版 [ <http://goo.gl/42gVE3> ]』  
平田 弘史（著） 星雲社（2006/1/11）
  - ・『信長公記 [ <http://goo.gl/SvtH3d> ]』  
太田 牛一（著） 新人物往来社；新訂版（1997/04）
  - ・『民間防衛 [ <http://goo.gl/bdUr5D> ]』  
スイス政府 原書房（1995/02）
  - ・『内向型人間の時代 [ <http://goo.gl/G4VghB> ]』 ☆シ  
スーザン・ケイン（著） 講談社（2013/5/14）
  - ・『地球でデート！ [ <http://goo.gl/mRwULY> ]』  
出版社: A-Works（2011/6/27）
- 』でした !!



第6回：2014年5月31日

参加者13名、プレゼンター6名、懇親会参加者9名

プレゼン本は以下の通り（プレゼン順）

- 1『ロルカ詩集』ガルシーア ロルカ（著）、García Lorca（原著）、小海 永二（翻訳）
- 2『NEW CROWN ENGLISH SERIES 1』高橋貞雄（著）
- 3『経済は世界史から学べ!』茂木 誠（著）
- 4『四畳半神話大系』森見 登美彦（著）
- 5『リビング・デリバレイトリー—自分が決める人生の生き方』ハリー・パルマー（著）、山名 貴美子（翻訳）
- 6『東方見便録—「もの出す人々」から見たアジア考現学』斉藤 政喜（著）、内澤 句子（イラスト）

チャンプ本は、3『経済は世界史から学べ!』茂木 誠（著）でした。

開催地: さむらいスクエア



第7回 2014年8月30日

参加者 13名、プレゼンター6名、懇親会参加者不明

【プレゼンされた本】プレゼン順

- 1.サルなりに思い出す事など —— 神経科学者がヒヒと暮らした奇天烈な日々 ロバート・M・サポルスキー (2014/5/23)
- 2.地震イツモノート (ポプラ文庫) 地震イツモプロジェクト (2010/12/7)
- 3.すぐに役立つ 366 日記念日事典[改訂増補版] 加瀬 清志 (2013/12/19)
- 4.作家になれる人、なれない人—自分の本を書きたいと思ったとき読む本 本田健 (2014/6/11)
- 5.さよならは言わないで(上・下) (扶桑社ミステリー) ロバート ゴダード (1994/10)
- 6.ライフトラベラー 人生の旅人 喜多川 泰 (2013/8/13)

【チャンプ本】

- 6.ライフトラベラー 人生の旅人 喜多川 泰 (2013/8/13) 4票



第8回：2014年11月29日土曜日、17時開始、18時半頃終了

参加者 12名、プレゼンター7名、懇親会参加者不明

チャンプ本は、『モーティブ』でした。『神は死んだ』と決戦投票の結果、1票差で選ばれました。

『スロージョギングで人生が変わる』田中宏暁

『神は死んだ』ロン・カーリー・ジュニア

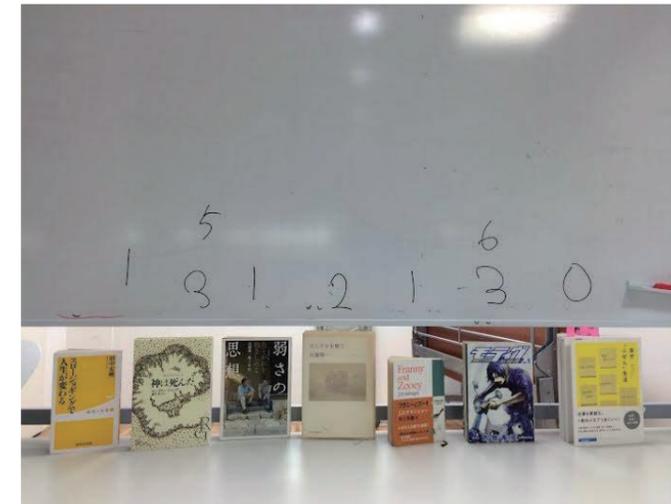
『弱さの思想』高橋源一郎・辻信一

『カエサルを撃て』佐藤賢一

『フラニーとズーイ』J・D・サリンジャー

『モーティブ』一色登希彦

『幸せ"ふせん"生活』芳原信／著 アート・サプライ／編



第9回：2015年2月14日

参加者 17名、プレゼンター7名、懇親会参加者不明

発表本を掲載させていただきます。

1『ええ、会議が楽しいですが、なにか?』林 俊克著 海文堂出版

2『ザ・サークル』デイヴ エガーズ 著 早川書房

3『21世紀の資本論の問題点』苫米地 英人 著 サイゾー

4『イスラーム国の衝撃』池内 恵 著 文芸春秋

5『患者様は外国人』山本ルミ 著, 世鳥アスカ 著 CCCメディアハウス

6『二週間で小説を書く』清水 良典 著 幻冬舎

7『ビジネス版 悪魔の辞典』山田 英夫 著 日本経済新聞社

チャンプ本は、5『患者様は外国人』山本ルミ 著でした♪



## ビブリオバトル山口活動報告書

NPO 萩みんなの図書館（佐伯 弘子、宇佐川 瞳、中野 祐美子）  
中国地区

〒758-0041

山口県萩市大字江向 552 番地 2 萩図書館内

TEL 0838-25-6355

宇佐川 瞳 usagawa@npohagimint.net

中野 祐美子 nakanoyu@npohagimint.net

### <活動内容>

2014 年より、萩図書館にてビブリオバトルを開催。  
2014 年は、スタッフの研修を含む 3 回実施。

2014 年 9 月 11 日 スタッフの研修として  
2014 年 10 月 26 日 バトラー 5 名 観戦者 34 名  
2015 年 1 月 17 日 バトラー 5 名 観戦者 14 名

次回予定) 2015 年 5 月 10 日  
年 3 回の実施を目指している。

山口の萩の地では、まだまだビブリオバトルという名称の普及率が低い。  
萩図書館では、関連本を展示したり、過去のバトルの様子を展示したりして普及に努めている。

# 四国地区



**西村浩子**

四国区代表

**和田浩二**

副代表

● 主な活動団体（普及委員会関係）

- ・ 高知大学
- ・ 松山東雲女子大学
- ・ 阿波ビブリオバトルサポーター

## のろい普及がもたらす爆発力に期待！！

高知大学人文学部

中道 一心（四国地区）

[nakamichi.kazushi@gmail.com](mailto:nakamichi.kazushi@gmail.com)



### 1. わたしのビブリオバトルとの出会い

2010年ころ、1年生（大学では初年次と呼ぶ）教育を考える役回りになってしまった。大学生は自由に学び、遊び倒し、激しい恋愛を謳歌すれば良いと心底思っているが、仕事だから仕方がない。どんな問題があったのか？ 同僚たちの嘆きは、卒論執筆時に学生が伸び悩むことだった。その原因を調査手法の習得不足、論理展開する力、文献検索する力、文献読解力などに求めることができる。

わたしが所属する高知大学人文学部社会経済学科では、初年次は文献読解に焦点を当て、読書習慣の定着を促そうと取り組んでいる。いわゆる「フィールドワーク」はすっかり定着しているが、これまでの学者や評論家が何を明らかにしているのかを整理したうえで、自分が出かけたフィールドからどんな“something new”を発見したのかを提示できる学生が少ない（シャレにならんけど多くの研究者も！？）。そこで、初年次では読書への耐性づくりを目標にしている。読書習慣の定着をいかに図るのか？ 教育手法に明るい同僚の塩崎俊彦さんに面白い取り組みがないかを尋ねたら、ビブリオバトルを紹介してくれた。そこで、厚かましくも突然、谷口先生に連絡をとり、学部のFD（ファカルティ・ディベロップメント）でビブリオバトルについて講演いただいた。

ところで、読書習慣の定着のために何をしたのか？ 結局、わたしたちは1年生1学期（前期）に学生が3冊の新書を読むことにしている。ビブリオバトルを導入して、チャンプ本をみんなで読む方法もあったが、多様な教員が在籍する資源豊かな学科なので、教員が選んだ新書を学生が読んでいる。ザァーっと読む3冊ではなく、レポートも必須なので学生にとってはハードだが、「鉄は熱いうちに打て」を実践したのである。

その一方で、大学生の全国大会であるビブリオバトル首都決戦（今年から京都決戦）の予選会を2012年から高知大学で開催している。ここで出会った学生は、わたしが多分仲良くなならない、一見暗そう（なんだけど、実は僕なんかよりはっちゃけてる？いや、教育者としての表現は真面目）な学生たちだが、彼らが本を紹介し、懇親会で語っているときはニコニコと明るい！！これがなんとイイ！

しかし、こういう良さを知ったにもかかわらず、実は普及は遅々として進んでいなかった。2012年、13年の首都決戦の予選会を開いたり、ゼミでビブリオバトルをやった

り、少数の同僚が授業で取り入れてくれたりとホントに細々と活動していた程度であった。無理せず身の丈に合ったと言えば、聞こえはいいが、実際のところはなんにもしていないのに等しかったのではないかと反省する。

### 2. 好転する2014年

そんなのんびりとした普及活動に大きなうねりをもたらしてくれたのが高知県教育委員会からのビブリオバトル実演の打診だった。彼らは以下のような講習会を企画していた。

*子どもと本をつなぐ方々が多様な読書活動の手法を学び、各地域で協働し、多様な読書活動を推進するとともに、子どもの読書活動の基盤となる家庭における読書が、自主的・日常的な活動となることの重要性を県民に啓発するため、「高知県子ども読書活動推進ネットワークフォーラム」を開催するにあたり、具体的な取組の一つとして、新しい読書活動である知的書評合戦『ビブリオバトル』を周知するために実演・紹介を行うこととしており、その出演者を選出するための講習会とする。*

この講習会では、まずわたしがルールやもたらされている効果を説明し、その後、大学生4名がバトラーとなり、そのバトルに対して、中学生、高校生、引率者が投票まで行う。そして、中学生・高校生がバトラーとなり、実際にミニ・ビブリオバトルを行い、チャンプ本を決定するまでを体験してみるというものであった。チャンプ本に選ばれたバトラーは、11月に開催される「高知県子ども読書活動推進ネットワークフォーラム」で200名を超える聴衆を前にバトルを繰り広げるところまでレールがひかれており、第1回高知県中学・高校ビブリオバトル大会の予選会であったわけである。

これ以外にも、小学校の図書館司書の方々が地道に普及を広げてくださっている。わたしは会ったことも話したこともないはずなのに、なぜか着々と浸透させてくださっていて、ビブリオバトルが持つ魅力の大きさに感嘆している。また、商業ベースのもくろみもありそうだが、高知県内の「TSUTAYA」でも月に1度「本夜会」と題した定例会がスタートしている。

わたしは県内唯一の普及委員であるにもかかわらず、この体たらく。しかし、ひとりでガムシャラにやっても長続きしないことは目に見えていて、ビブリオバトルの魅力に吸い寄せられた方々のサポート役でもいいのかな。あわよくばあとから加わってくださった方にいろんなことをお任せしてけん引してほしいなと思っています。みんなが好きな感じにゆる〜く楽しんでやれる普及のモデルをつくれたらいいなあと夢想しています。

### 3. 2014年の活動記録

(1)「ビブリオバトル講習会」のサポート

主催：高知県教育委員会

日付：2014年8月30日

場所：高知県教育センター分館 大講義室 他

参加者：バトラー13名（中学生2名、高校生11名）

聴衆19名（高校生3名、引率者16名）

実演者4名（高知大学学生）

講師1名（中道：高知大学）

(2)「全国大学ビブリオバトル2014～京都決戦～高知予選会」の主催

主催：高知ビブリオバトル

日付：2014年11月12日

場所：高知大学朝倉キャンパス

参加者：発表者数8名（1回目3名、2回目5名）

観戦者数28名（1回目13名、2回目15名）

(3)「全国大学ビブリオバトル2014～京都決戦～愛媛・高知地区ブロック代表決定戦」

のサポート

主催：ビブリオバトル愛媛・高知ブロック実行委員会

日付：2014年11月22日

場所：松山東雲女子大学

(4)「高知県子ども読書活動推進ネットワークフォーラム」のサポート

主催：高知県教育委員会

日付：2014年11月24日

場所：高知会館

主旨：読書関係者等のネットワークが地域を越えてつながり、県全域に広がることでネットワークの活性化を図る。あわせて読書関係者等が多様な読書活動の手法を体験し学ぶことにより、子どもの多様な読書活動を推進する。また、子どもの読書の意義や読書活動の基盤となる家庭における読書活動の重要性を県民に周知し、子どもの自主的な読書活動を推進する。

4. その他（活動の記録）

高知県香美市の香長小学校と舟入小学校でビブリオバトルへの取り組みが地元紙『高知新聞』に2014年12月18日に掲載されました。こども高知新聞欄での扱いでしたので、今後教育現場で徐々に普及していくのではないかと思います。記者とのやり取りのなかで変に教育の側面が強調されることによって、ビブリオバトルの「楽しさ」が失われることがないようにいつもはしない(!?)ポーズで出演しておきました。



出所：『高知新聞』2014年12月18日付を借用。

## 活動報告書

佐々木 奈三江 (四国地区)  
徳島大学附属図書館

<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>



私は、徳島大学附属図書館で司書をしています。サービス部門を担当しており、授業補助やイベントを手掛ける中でビブリオバトルと出会い、現在は授業での活用と徳島県下でのビブリオバトル普及に向けて活動をしています。今年は次のような活動を行いました。

### ①「阿波ビブリオバトルサポーター」のサポーター

徳島大学の学生を中心とした団体「阿波ビブリオバトルサポーター」(以下阿波ビブリオ)のサポートをしています。阿波ビブリオは、毎月定例の団体内ビブリオバトルの他、大きなイベントとして「ビブリオバトル in 徳島 社会人×大学生」(徳島県立文学書道館と共催)「全国大学ビブリオバトル 2014～京都決戦」の地区予選(3回)、地区決戦の開催などを行いました。また、徳島市立図書館のYAボランティアに対するビブリオバトルのデモンストレーションや他の大学でのデモンストレーションなど、学外への普及活動も行っています。

私の仕事は各種事務手続きや広報のサポート、運営方法への助言などですが、学生の自主性を尊重しつつ、学生に遊んでもらいながら活動しています。



ビブリオバトル in 徳島 社会人×大学生



全国大学ビブリオバトル 2014～京都決戦～  
地区決戦

### ②大学で授業開講

ビブリオバトルは読書のきっかけになるほか、本を読み解く力やプレゼンテーション能力の向上、イベント企画による社会人基礎力養成、など、様々な教育的効果があります。それを大学の授業として活かさないかということで、以前から共同で授業を行っていた先生方とともに、ビブリオバトルを取り上げた授業を設計したところ、2014年度から大学の正式なカリキュラムとして開講することができました。それが、大学1～2年生向けの授業「読書コミュニケーションへのいざない」です。授業のねらいは「大学生活の中に読書活動を習慣化し、読書を通じた人との出会いによって読書のコミュニケーションを構築していくこと、多様な本との出会いにより教養を深め、多様な価値観にふれること」です。

この授業の特徴は「ビブリオバトル」というアウトプットのみではなく、インプットである「読書」に深く切り込んでいったことです。異分野の複数の先生が、講師となり、それぞれの専門を生かして、「本を読むこと」「本の読み方」を解説していきました。そしてもう一つの特徴は、講師陣が一番授業を楽しんでいる、ということ。その楽しい気持ちが伝染するのか、もともとの受講生の資質なのか、受講生は教員とも活発に交流し、個人的な本の貸し借りなんかもあったようです。

なお、この授業にはもう一つ、「徳島大学でのビブリオバトル普及」という狙いもありました。ということで、阿波ビブリオに授業でビブリオバトルのデモンストレーションをしてもらい、学生とも協働しながら授業をすすめました。すると、受講生が全国大学ビブリオバトル 2014の予選に出場したり、阿波ビブリオのメンバーに入ったり・・・、ということが起こり、目論み通り、じわじわと徳島大学にビブリオバトルを浸透させることに成功しつつあります。来年度以降も開講予定です。

詳しくは、徳島大学附属図書館のメルマガ「すだち」をご覧ください。パソコンやモバイルでも見ることはできますが、配信登録もお待ちしております！

<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/m-mag/>



平成 27 年 2 月 4 日 (水)  
授業の総括イベントとして、  
図書館内で1日限定のブック  
カフェ「B&C」をオープン。  
ビブリオバトルや茶話会など  
のイベントを行った。

### ③上記授業について発表

上記授業について、下記のとおり発表させていただきました。いずれの発表においても、授業方法やビブリオバトルの実施方法などについて活発な意見交換がありました。

### 活動報告書

#### ●第55回中国四国地区大学図書館研究集会 研究発表・実情報告

日時：平成26年10月9日（木）

場所：香川大学オーブスクエア多目的ホール

発表タイトル：教員連携・学生協働で創る授業～「読書コミュニケーションへのいざない」報告～

#### ●ビブリオバトルシンポジウム2014 ポスター発表

日時：平成26年12月13日（土）

場所：立命館大学・朱雀キャンパスホール

発表タイトル：ビブリオバトルの授業を創ろう！～徳島大学附属図書館の事例～

#### ●懇談会「徳島における若者読書文化の形成」～徳島大学総合科学部・地域交流プロジェクト「徳島における若者読書文化形成プロジェクトー地域と他大学連携によるビブリオバトル（知的書評合戦）の実践からー」の報告より～

日時：平成27年2月23日（月）

場所：徳島大学総合科学部一号館第一会議室

発表タイトル：大学図書館における読書啓発の取り組み

西村浩子（四国地区）  
松山東雲女子大学  
[hiro@shinonome.ac.jp](mailto:hiro@shinonome.ac.jp)



私は現在、松山東雲女子大学人文科学部心理子ども学科子ども専攻の教員をしています。専門は日本語史ですが、現代日本語や留学生の日本語教育にも関わっています。

ビブリオバトル歴は、まだ2年。2013年に愛媛県内で大学として初の予選会を松山東雲女子大学・短期大学図書館で開催。また、愛媛・高知ブロックとして、高知大学の中道一心先生とご一緒にブロック代表決定戦を開催しました（於松山東雲女子大学・短期大学図書館）。（このとき、ブロック代表決定戦でチャンプになった学生は、本学の学生だったのですが、「自分が直接質問に答えられる場でこそ、本の魅力を語りたい」と全国大会の切符を2位の方に譲りました。）

#### ●2014年度の活動

##### （1）講演「ビブリオバトルの贈り物」（西村浩子）

2014年5月13日「愛媛県高等学校教育研究会図書部会」にて講演。

前半は、ビブリオバトルについて、2014年までの状況と公式ルールの説明および、2013年にビブリオバトルを体験した学生（4年生）の体験談を披露。後半は、参加者が4人グループに分かれ、各グループでビブリオバトルを体験。各グループのチャンプを決定し、代表者数名にチャンプ本の紹介と体験した感想を披露していただいた。

参加された先生方は、ビブリオバトルの終了後、笑顔が会場いっぱいになり、目が輝いていた。学校でもやってみたいという感想をいただいた。また、副会長の先生の最後のご挨拶では、「ビブリオバトルの贈り物」という題名の中にある「贈る」とは、「気持ちのこもったものを相手に贈るときに使う言葉」であり、「ビブリオバトルは、『気持ちのこもった書評』である」という、素晴らしいまとめをいただいた。

##### （2）「全国高等学校ビブリオバトル2014四国大会」の会場校として、運営を担当

2014年7月26日（土） 松山東雲女子大学

四国初の高校生のビブリオバトルとなった今回の大会には愛媛県・香川県の16名の本好きな高校生が参加し、愛媛県の新田青雲中等教育学校の北尾奈央さんが紹介し

た『恋文の技術』がチャンプ本に選ばれた。北尾さんは2015年1月11日(日)に東京のよみうり大手町ホールで開催された「決勝大会(全国大会)」で、3位に輝いた。

大会の運営は、ゼミ活動の一環として、活字文化推進会議事務局の方々と一緒に、3年生・4年生計13名が、受付・案内・司会等を担当した。高校生の素晴らしい発表を聞<sup>く</sup>くことや運営スタッフとして働くことで、新たな学びや自分自身の振り返りのる大変良い機会となった。



学生が作った、四国大会の  
マスコットキャラクター：ビブリン



大会の様子



4名の決勝戦バトルー (右から2番目が代表に輝いた北尾奈央子さん)

(3) 「全国大学ビブリオバトル2014」の愛媛・高知ブロック代表決定戦を開催

2014年11月22日(土) 松山東雲女子大学・短期大学図書館  
高知大学から2名、愛媛大学から2名、松山東雲女子大学から2名、計6名で開催。

チャンプ本は、愛媛大学法文学部の <sup>あゆみ</sup>山根麻友美さんが紹介した『向日葵の咲かない夏』が選ばれ、京都決戦に出場した。

大会運営は、高校生大会に引き続き、ゼミ活動の一環で3年生が担当した。今回の参加者の中に赤ちゃんを連れた人がおり、託児場所・託児者の準備も今後必要である。

(4) 「ビブリオバトル・シンポジウム2014」でのポスター発表

2014年12月13日(土) 立命館大学・朱雀キャンパス

2013年度からゼミ活動の一環として、県内予選会やブロック代表決定戦の大会運営について、よりよい運営の仕方を「課題」として取り組んできたが、その成果を「ビブリオバトルを活用した課題解決型学習」と題して、ポスター発表を行った。

# 九州地区



## 元野明

九州区代表

### ●主な活動団体（普及委員会関係）

- ・ビブリオ バトルかごしま
- ・古民家×ビブリオバトル
- ・りぶりオバトル

## 2014年度 活動報告書

元野 明 (九州地区・鹿児島)  
ビブリオバトル普及委員会九州地区代表  
080-6416-9180  
bbkagoshima@gmail.com  
<http://bb-kagoshima.jimdo.com/>



2011年に「ビブリオバトルかごしま」を結成。鹿児島国際大学を拠点に県内でビブリオバトルを開催。月に1度のビブリオバトルを開きながら、首都決戦地区予選の運営と県内外の公共図書館・高校・大学等へのビブリオバトル指導・開催支援を行った。2012、2013年度は鹿児島国際大学の教養科目「教養特講I」でビブリオバトルを用いたイベント開催ノウハウを教えた。

### ◆ 2014年度の活動

- 4/26 「ビブリオバトル in 石橋記念公園」開催
- 6/21 「つゆびぶりお in ミスト」開催
- 8/23 「のみかいびぶりお」開催
- 9/6 「ミニビブリオバトル in 龍門祭」参加・開催支援
- 10/25 「第2回谷山北公民館ビブリオバトル」参加・開催支援
- 11/3 「第3回ビブリオバトル in 始良私立中央図書館」参加・開催支援
- 12/20 「忘年会びぶりお」開催
- 3/7 「第3回南日本文学賞公開選考会ビブリオバトル」開催
- 3/22 「はるびぶりお」開催予定



## 活動報告書

元野 巖(九州地区)  
連絡先 鹿児島市立清和小学校  
[motonoiwao@gmail.com](mailto:motonoiwao@gmail.com)



### ● 2013年6月27日(水) 第1回清和小学校読書クラブ ミニビブリオバトル大会開催

(詳細) facebook より抜粋

清和小の読書クラブは、総勢26名です。1学期の最初から

「ビブリオバトルって面白いよ～ やってみたいか～」

と、言い続けてきました。

「遊びなんだから、気楽に自分が読んで面白かった本を友達に紹介すればいいんだよ。」

「先生も、大人のビブリオバトルに行くようになって、読んだことなかった本をいっぱい知ったよ。」

読書クラブに来て子どもたちだから、みんな本は好きです。でも、みんなの前で話をするのが、「敷居が高い」のです。だから、「気楽に～」とか「遊びなんだよ～」とか、いっぱい話しました。そして、妻の手書きの毛筆の『賞状』も準備しました。チャンプ本の賞状だけでなく、「参加賞」も作り、モチベーションを上げました。

先週のクラブでは、私が「巖窟王」を使って、ビブリオのお手本？をやってみました。それで、やっと3人のバトルが現れました。初めてにしては上等だと思っています。

4年生の女の子が、じゃんけんで勝って1番を取りました。明るくて元気な子です。紹介本は「4年1組ミラクル教室シリーズ～大きくなったら何になる～」でした。

「俳句好きのおじいちゃんの孫が主人公で、4年1組のみんなが将来の夢を文章に書いて、いろいろな事件が起こるんです。」

まで言って、詰まってしまいました。私が、「どんな事件？」「何が面白かったの？」と、助け舟を出したところ、

「おじいちゃんが死んじゃったり、…」

やっと、口が滑らかに動き出しました。発表時間の3分をなんとか使い切りました。子どもたちの感想には、

「私は事件が好きなので、たくさん事件があって面白そうなので1番にしました。」「みんなが大きくなって、何になりたいか知りたい。」「どんな事件が起こるのか、気になる。」などがありました。

2番は、5年生の女の子で、本当に授業中はほとんどしゃべらず、声も「蚊の鳴くように」小さい子でした。本は「マジックツリーハウスシリーズ～愛と友情のゴリラ～」。何と、本はすでに返却して

いて手元にないということで、司書補がパソコンで探してくれたのですが、貸し出し中。初めてなのに「エアビブリオ」になってしまいました。それなのに彼女は、この本のあらすじを、大きな声でどんどん話し始めました。引っ掛かった時は、私が助け舟を出しました。子どもたちの感想は、「マジックツリーハウスの中にある本を開いて、ここに行きたいと言うだけで、どこでも行けるのはすごい！」「ピラミッドに行って、いろんな仕掛けがあったり、幽霊が出てきたりと言ったところが面白そうで、読みたい。」「本がないのに、ちゃんと説明できていた。」「とても読みたくなった。」などでした。

3番の子も5年生で、ほとんどしゃべらないおとなしい子でした。

本は「不思議の国のアリス」。この子も、大きな声で、一生懸命に本の面白さを話し始めました。またまた、びっくりしました。子どもたちの感想は、「トゲを持ったうさぎ？ クッキーを食べるとアリスが大きくなる？ 小石を食べたらアリスが元に戻った？ 不思議！」「もっと知りたい。」「読んだことがあったけど、面白そうだった。改めて読みたくなった。」などでした。

チャンプ本は、2番の子でした。15票獲得。賞状をもらって、うれしそうでした。

私がうれしかった感想がたくさんありました。「読んでみたい！」「読んでみたい！」がたくさん！そして「2学期にもあるなら、私も出てみたいです。」が一人。この子も、すごくおとなしい子です。ミニビブリオバトルを開催して、とてもよかったです。私が1年間、算数を教えてきた中では決して見ることの出来ない、子供達の新しい「顔」を見ることが出来ました。



● 2014年6月18日(水) 第2回清和小学校読書クラブ ミニビブリオバトル大会開催  
(詳細) facebook より抜粋

参加者は、

- 1番、元野教諭「三国志」
- 2番、5年男子「ピリカ お母さんへの旅」
- 3番、4年男子「黒魔女さんシリーズ0巻」

小学生用のルールに則り、3分間のプレゼンと2分間の質問タイムとしました。元野教諭は、3分間の短さに困惑しながら、孔明の格好良さを語りました。5年男子は、サケのピリカの一生を描いた絵本を、初めて知ったことや感動したことを交えて、一生懸命紹介しました。4年男子は、黒魔

● 2015年2月23日(月) 第1回清和小学校図書委員会 ミニビブリオバトル大会開催  
(詳細) facebook より抜粋

清和小学校では、読書クラブで昨年度から学期1回ミニビブリオバトルを行ってきました。図書委員会主催での実施は初めての挑戦でしたが、司書補が頑張って企画し、子どもたちと話し合って計画を立て、役割分担などを決めて取り組んでくださいました。広報のポスター作り、投票用紙作成、集計、賞状準備などは子どもたちで分担しましたが、ある程度の慣れが必要な司会は、元野がやりました。

場所は、図書室だと机がたくさんあり、バトラーと聴衆の距離ができてしまうので、図書委員会担当の先生の教室を使い、机や椅子を横に寄せ、聴衆は床に座った形で実施することにしました。図書委員会担当の先生の娘さんの中学校ではビブリオバトルに取り組んでおり、娘さんも大好きなのだそうです。

バトラーは4名でした。図書委員会から3名、読書クラブから1名です。読書クラブから参戦した子どもは、今回で3度目のミニビブリオバトルですが、他の3名のバトラーは初めての経験ですので、一番緊張するトップバッターは読書クラブの子どもが引き受けてくれました。後はじゃんけんで順番を決めました。

紹介された本は以下の通りです。

- 1 5年男子  
「モンスターホテルでプレーボール」作: 柏葉幸子 絵: 高島純
- 2 5年女子  
「パンダのポンポン クッキーオーケストラ」作: 野中柊
- 3 5年女子  
「怪談レストラン ナビ魔」作: 松谷みよ子
- 4 5年女子  
「ルルとララのカップケーキ」作: あんびるやすこ

6年生も紹介したがっていたのですが、残念なことにこの日はキャリア教育が計画されており、外部講師が来ていたので早めに集合しなければならず、紹介できませんでした。

どのバトラーも、緊張した中で精一杯プレゼンしてくれました。3分間の持ち時間を全部使い切り、一生懸命語ってくれました。2分間の質問タイムでは、特に低学年からたくさん質問が出ました。シリーズ物の本がほとんどだったので、そのシリーズの他の本はどのようにおもしろいのか、図書室にはあるか、なぜその本を読もうと思ったのか、どの場面が一番好きか、などの質問が出ました。

投票結果は割れました。1番～14票、2番～16票、3番～11票、4番～17票、で、チャンプ本には、4番の「ルルとララのカップケーキ」が選ばれました。子どもたち手作りの賞状を受け取って、4番の子はとてもうれしそうでした。残念ながら負けてしまった子たちは、異口同音に「くやしかった。また出たい。次は勝ちたい。」と言っていました。

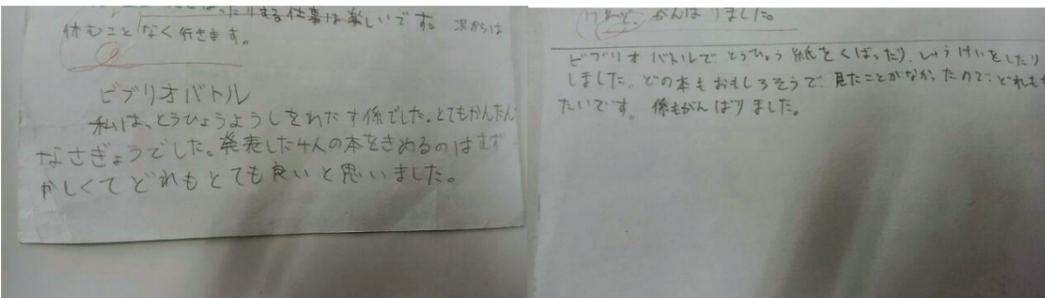
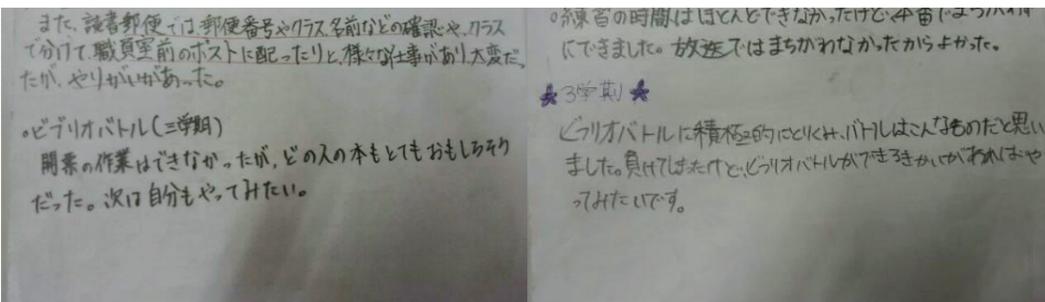
## 平成26年度ビブリオバトル普及委員活動報告

図書委員会の子どもたちも、反省に「自分も出なかった。」「楽しかった。」など書いてくれました。その日の放課後、さっそく低学年の子どもたちが図書室に来て「今日のビブリオバトルで出た本はありませんか。」と尋ね、借りていっていました。

鹿児島県の小学校の教職員の間では、ビブリオバトルという言葉自体の知名度はまだ低いです。しかし、2年続けて初任校研修の中でビブリオバトルが取り上げられるなど、少しずつ広がろうとしているところだと思います。

これまで、読書クラブという、ある意味「閉じた空間」の中でのビブリオバトルでしたが、今回は「図書委員会のイベント」だったので、ポスターなどの広報活動の結果、興味を持った先生方も数名参加して下さっていました。先生方も初めてのビブリオバトル体験で、「発表者の子どもたちは、よく3分間原稿も見ずに話していましたね。」「聞いていた子供たちもとても楽しそうで、たくさん質問が出ましたね。」などの感想を寄せて下さいました。

これからもまた、少しずつ実践を繰り返していきたいと思います。



赤峰 稔朗 あかみね としあき  
九州北部地区  
kominkabiblio@gmail.com



- 2014年2月 福智町図書室「ふくちでビブリオ」スタートアップ支援
- 2014年2月 ライブラリーフェスティバル長崎県大会 研修講師
- 2014年8月 筑豊教育事務所 平成26年度筑豊地区読書活動推進セミナー講師
- 2014年8月 長崎県立波佐見高等学校 文芸部 ビブリオバトルの講演とワークショップ
- 2014年12月 ビブリオバトルシンポジウム パネルディスカッション  
地域コミュニティ パネラー参加
- 2015年2月 福岡県・文科省主催 図書館地区別研修(九州・沖縄地区)  
利用者参加型のイベント～ビブリオバトルを中心に～講師
- 2015年3月 第10回 古民家xビブリオバトルin 河伯洞  
後援：北九州市教育委員会



## 2014 年度活動報告書

氏名 : 林鉄郎 (九州地区福岡)

連絡先 (090-9471-8576)

主な活動場所

書齋リーぶる

<http://shosai-livre.com/>

古民家イノベーションプロジェクト



2014年5月24日リーぶるで開催するビブリオバトル「りぶりオバトル」主催

2014年7月19日リーぶるで開催するビブリオバトル「りぶりオバトル」主催

2014年8月30日小郡市中学生読書活動サポーター養成講座 (第一回)

ビブリオバトル講師

2014年9月6日リーぶるで開催するビブリオバトル「りぶりオバトル」主催

2014年9月9日小郡市中学生読書活動サポーター養成講座 (第二回)

ビブリオバトル講師

2014年11月3日天神イムズとなりの本棚展 ビブリオバトル主催

2014年11月15日リーぶるで開催するビブリオバトル「りぶりオバトル」主催

2014年12月13日ビブリオバトルシンポジウム 地域コミュニティパネリスト参加

2015年1月13日リーぶるで開催するビブリオバトル「りぶりオバトル」主催

2015年2月4日久留米市学校図書協議会ビブリオバトル講習講師

2015年2月17日福岡県立図書館「本の楽しさおとどけ便」ビブリオバトル講習講師

2015年3月1日第10回古民家 × ビブリオバトル 開催サポート

2015年3月21日リーぶるで開催するビブリオバトル「りぶりオバトル」主催予定